

# Monthly Report

Vol.35 広報室

平成21年4月22日発行

## 第43回体育学部並びに第12回大学院入学式

### 目次:

平成21年度入学式	1
カーニ応用科学大学短期留学	2
IS!M外部評価委員会 仙台市教育委員会	3
留学生歓迎会 新施設・設備	4
お弁当を学生が考案 全国地域ネットフォーラム	5
バスケットボールワーク ショップ	6
漕艇部の活躍	7
柔道部・陸上競技部・ 体操競技部	8

学生の活躍や、取組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

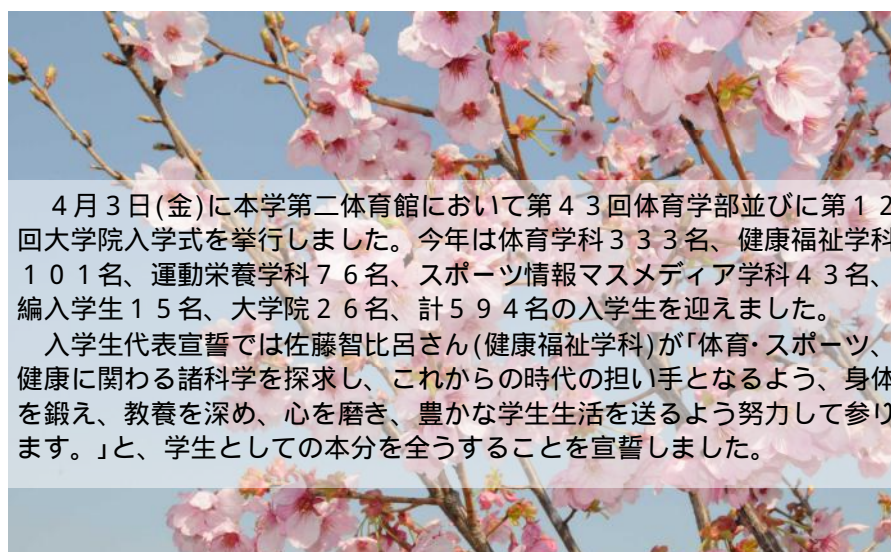
直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



4月3日(金)に本学第二体育館において第43回体育学部並びに第12回大学院入学式を挙行了しました。今年は体育学科333名、健康福祉学科101名、運動栄養学科76名、スポーツ情報マスメディア学科43名、編入学生15名、大学院26名、計594名の入学生を迎えました。

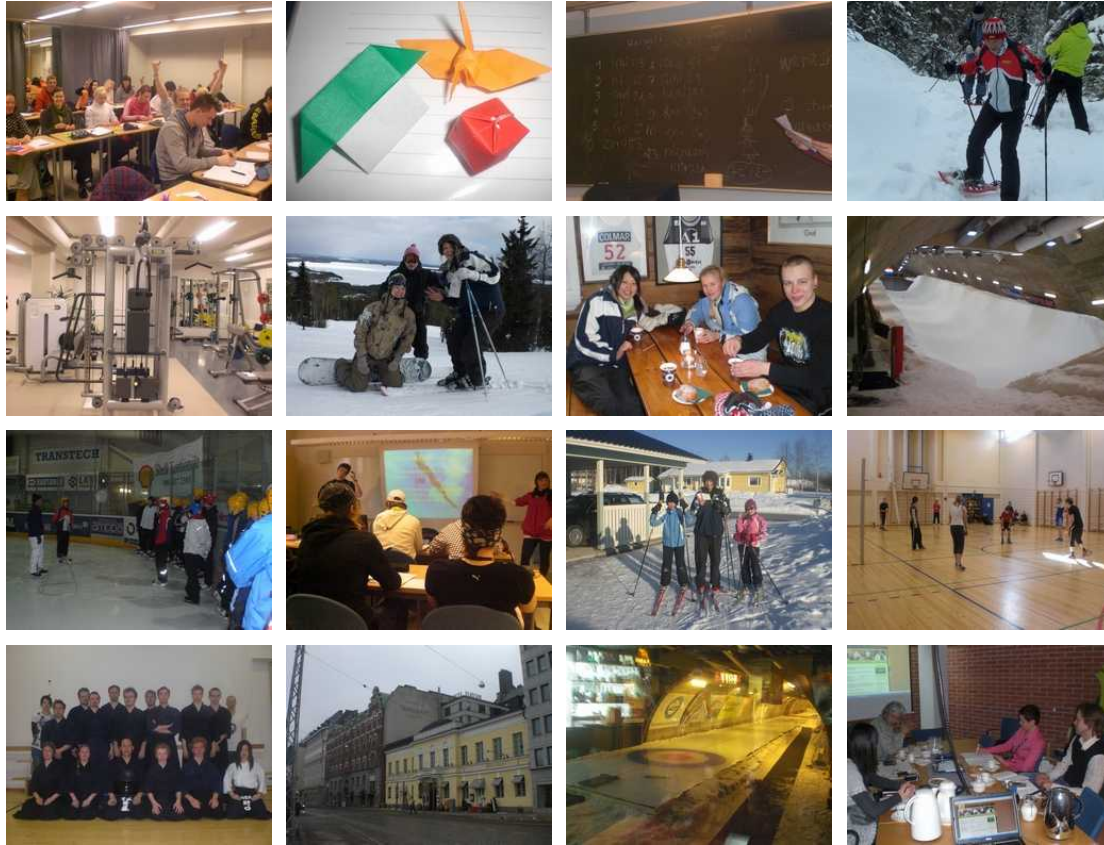
入学生代表宣誓では佐藤智比呂さん(健康福祉学科)が「体育・スポーツ、健康に関わる諸科学を探究し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活を送るよう努力して参ります。」と、学生としての本分を全うすることを宣誓しました。



## カヤーニ応用科学大学(フィンランド)短期留学

3月17 4月1日の日程で、第3回目となるカヤーニ応用科学大学(フィンランド)への短期留学を実施し、吉田美香子さん(運動栄養学科3年)が様々な経験を得て帰国しました。

カヤーニ応用科学大学と本学は平成18年6月に国際交流協定を締結して交流を深めています。学生の短期留学もその一環で、今年5月にはカヤーニ応用科学大学の学生3名が本学でいろいろな授業を受けたり日本文化を学ぶ予定です。



### 吉田美香子(運動栄養学科3年)

フィンランドでは授業の他、ダウンヒルスキー、スノーシューイング、ホームステイなどたくさんのご経験を、多くの人たちにお世話になりました。

唯一苦労したのが、フィンランド学生に対して日本文化の講義2時間を任されたことです。数日前に講義するように言われ、何をするか悩みましたが、日本文化の折り紙を教えたり、名前をカタカナで書いてあげたり、数字の日本語での読み方を教えたりしました。講義をはじめるとは苦労しましたが、クラスの皆が楽しみ、興味を持って取組んでくれたので嬉しかったです。

フィンランドでは常に、日本との違いを意識して生活していました。授業での違いは、日本では先生が一方的に話し、学生が聞く講義のスタイルですが、フィンランドでは学生が質問や意見を先生にぶつけて異なる話に発展していったりもします。新しい意見がさらに新しい意見を生むので発展的で素晴らしいと感じました。

スポーツでの違いは、日本では競技スポーツが主であるのに対して、フィンランドではコミュニケーションを深めるため、健康増進のためのスポーツであると感じました。

今回の短期留学を通じて、英語というツールを使って他国の習慣・文化を体験したり、交流を持ちたいという想いが強くなりました。このような経験はなかなかできないので、他の学生の方にも是非留学してほしいと思います。

カヤーニ応用科学大学ホームページで本学が紹介されていますのでご覧ください。

[http://www.kajak.fi/in\\_english/Interested\\_in\\_Studying/Studies-Taught\\_in\\_English/Degree\\_Programme\\_in\\_Sports\\_and\\_Leisure\\_Management/SL05S\\_Web\\_pages/Experiences\\_in\\_Japan.iw3](http://www.kajak.fi/in_english/Interested_in_Studying/Studies-Taught_in_English/Degree_Programme_in_Sports_and_Leisure_Management/SL05S_Web_pages/Experiences_in_Japan.iw3)



## スポーツ情報マスメディア研究所 (ISIM) 外部評価委員会活動概要説明会開催



スポーツ情報マスメディア研究所 (ISIM) の第1回外部評価委員会活動概要説明会が4月16日(木)、A棟大会議室で開催されました。

ISIMは、体育学領域の中で揺籃期にある「スポーツ情報戦略」と「スポーツマスメディア」両分野の実践活動と教育に関する研究を行い、国際競技力向上活動や地域スポーツ振興に貢献することを目指して2008年4月に開所しました。社会性の高い実践的活動現場と連携しながら研究を展開するというコンセプトに基づき、現在、国立スポーツ科学センター (JISS) や北海道美深町などと連携協定を締結しています。また、ISIMの活動全体を客観的・専門的に評価してもらうため「外部評価委員会」を設置。準備期間と位置づけた2008年度を経て2009年度からの本格的なスタートに合わせ今回、初年度の活動概要を理解してもらうために初めての「外部評価委員会」を開催しました。

説明会では、朴澤学長から出席した評価委員4氏(2氏は公務により欠席)に委嘱状が手渡された後、ISIMの勝田研究所長と研究スタッフから

研究所設立趣旨の説明と、2008年度の活動報告がされました。報告後、評価委員から活動についての質問や今後の取組みへの有意義な提案がなされました。

村松委員からは、「スポーツという大きい文化の中で、一地方大学の研究所の立ち位置が曖昧ではないか。活動はエネルギーで評価できるが、スポーツ全体のどの部分に位置するかを明確にしなければ一般の人にも伝わらない。ISIMの強みを世の中、スポーツコミュニティーに知らしめる事が肝心。整理して発信してはどうか。ISIMの強みは研究員を外に派遣して、その派遣先が研究所になる事ではないか。スポーツは世界中で行われており、世界中がISIMの研究所である。この強みを訴えるべきだ」とのアドバイスがありました。西川、高橋、井上委員からも、研究所の改善点や将来に対する要望など、貴重な意見が出されました。

ISIMでは今後も年に1~2回の外部評価を開催していく予定です。

### 外部評価委員

笠原一也氏(国立スポーツ科学センター・センター長)

河野一郎氏(東京オリンピック・パラリンピック招致委員会・事務総長)

西川善久氏(河北新報社・常務取締役編集本部長)

村松秀氏(NHKエデュケーショナル・科学健康部エグゼクティブプロデューサー)

高橋稔氏(宮城県体育協会事務局次長)

井上規之氏(北海道教育庁学校教育局地域支援室主査)

## 仙台市教育委員会来訪



4月15日(水)に仙台市教育委員会から8名が来学し、朴澤学長、佐藤副学長、穴戸学生支援センター長他、関係教職員が出席して、昨年度の学生支援ボランティア活動報告と今年度の取り組みに

ついでの話合いがもたれました。

はじめに仙台市教育委員会学校教育部部長の菅野茂氏より「仙台大学の支援に協力を感じています。学生には部活動指導を中心に生徒達に良い刺激を与えてくれている。今後も引き続いての協力をお願いしたい。」という挨拶を頂きました。その後、千葉学生支援室室長より、平成20年度の活動報告と、今年度の活動予定が示されました。穴戸学生支援センター長からは「現在、派遣する学生には事前研修を実施しているが、大学内で資格制度にするなどして、更に優秀な人材を安心して送り出す体制を整える事が大学の今後の課題。」と話しました。

教育委員会側からも忌憚のない質問がされ、有意義な意見交換がなされました。

## 消防訓練を実施



3月26日(木)に消防訓練が実施されました。プール機械室から出火したという想定で行われ、教職員及び部活動等で学内にいた学生も数名参加しました。各施設の情報・非難伝達係りから全員非難したとの報告があった後、大河原消防署の担当者から避難誘導時の注意点や連絡の徹底について指導がありました。その後、4名の職員が消火器での消化活動を実際に体験し、日頃からの火災予防と危機管理体制の徹底に注意を喚起しました。

## 留学生歓迎お花見会



写真：学生支援室提供

4月15日(水)に学生支援センター主催、毎年恒例の「留学生歓迎お花見会」が船岡城址公園で開催されました。今年度の留学生は新入生4名を含む大学院生6名と学部生1名の7名です。教職員をはじめ、法人事務局、語学支援ボランティア学生、外部ボランティアの方を含む、総勢42名が参加しました。

今年は例年よりも桜の開花が早かったために満開は過ぎたものの、花冷えの中、和やかなムードで留学生との交流が図られました。

## 第二図書館 ～入手困難な貴重書も充実～



昨年度までGTセンターとして使用していた施設2棟が第二図書館となりました。東側の棟には専門の洋書を、西側の棟には歴代学長や旧教員、キーナート副学長(特命事項担当)から寄贈いただいた専門書が、寄贈者の顔写真と共に配架してあります。いずれも入手困難な貴重書です。

第二図書館には貴重書が多くあるため、普段は施錠してあります。閲覧を希望する方は付属図書館事務室までお声掛け下さい。

## 5年に一度 第三種公認 全天候型陸上競技場全面改修



このたび、5年に一度の全面改修を経て、4月4日、陸上競技場が完成しました。レーン、円盤・ハンマー投げの防護ネットも一新し、投擲レーン脇には「仙台大学ロゴ」も入りました。(上記写真参照)

完成前の3月25日には、ミズノ㈱体育施設課の米満氏とスポーツ環境建設代表取締役の重山氏を迎えて、小島体育施設管理コンサルタントによる座学が開かれ、陸上競技部の学生約40名と、スポーツ管理概論受講生などが熱心に受講しました。

横川教授からは、開学当時の写真なども紹介され、「使用頻度の高い陸上競技部だからこそ、他の学生の模範となるよう、施設の管理も含め大事に使用してほしい」と話されました。



## 入学式のお弁当を運動栄養学科学生が考案



今年の入学式では、運動栄養学科学生が考案したお弁当を入学生・保護者に配布し、食べていただきました。学生からお弁当案を募集したのは今回が初めてで、運動栄養学科で募集したところ、スポーツ栄養を学ぶ学生らしい栄養バランスの取れた作品が集まりました。選考の結果、柴田町の桜をイメージした岡本知夏さんと高橋杏奈さん(共に運動栄養学科3年)が2人で考えたお弁当「美味しばた！勝てるエネルギー満点はなまる弁当」が採用されました。

2人のレシピを元に、弁当づくりは学生食堂を委託しているシダックスが担当し、運動栄養学科の学生20名も当日の早朝6時から盛り付け等の手伝いを行って、1400個のお弁当を用意しました。

岡本知夏さん・高橋杏奈さん(運動栄養学科3年)



ブロッコリーを木に見立て、魚肉ソーセージを桜に見立てました。また、柴田名産のゆずと味噌を使用し、春食材のたけのこ・イチゴを使用しました。主食はおにぎり3個と、練習を控えたス

ポーツ選手に食べてもらいたいエネルギーチャージができるお弁当です。

普段から運動栄養サポート研究会メンバーとして運動部に対して食事提供していますが、これほど多くの人に食べてもらえる機会は初めてなので嬉しかったです。

私達が講義で学び、運動栄養サポート研究会で実践している「スポーツ栄養」の大切さを新入生・保護者に知っていただく良い機会となりました。



## 全国地域ネットフォーラム

国立スポーツ科学センター(JISS)において全国地域ネットフォーラムが3月23 - 24日に開催されました。このフォーラムは定期的開催され、全国の教育委員会や体育協会などのスポーツ政策に携わる面々が情報交換の場としています。本学からは教職員の他、スポーツ情報マスメディア学科3年生全員と2年生の希望者数名が参加しました。

本学関係者では、勝田学科長が「JISSとの連携によるスポーツ情報戦略研究と人材育成」、二戸部臨時職員が「JISSとの連携による情報戦略活動の実践教育」という題で仙台大学の取組みを紹介しました。また、秋田県教育長保健体育課の「秋田県におけるタレント発掘事業」の発表では、2月に行った秋田体験デーに帯同して活動を行った小原翔平さん(スポーツ情報マスメディア学科2年)が撮影・編集した映像が紹介されました。

小原翔平さん  
(スポーツ情報マスメディア学科2年)



自分が制作したものが大勢の前で披露されるのは初めてのことで、プレッシャーも大きかったです。この映像制作を通して編集の技術やタレント発掘事業の知識も得られたので勉強になりました。

将来は子供育成に関わるスポーツ指導者になる事が目標です。スポーツ情報マスメディア学科に進学したのも「スポーツ戦略」というキーワードに魅かれたからです。学科では専門的なスポーツ情報の知識が学べることと、学科全体が「人と人とのコミュニケーション」を大事にし、実践しているので、この学科を選択して間違っていなかったと感じています。今回の秋田のプロジェクトに関われたのも、学外と交流を持てた機会にコミュニケーションを大切にしたいからです。また、今年度から宮城県サッカー協会U-15の選抜チームのサポートにも携えることになりました。

これからも学内外での活動を介して出会う人とのコミュニケーションを大切にしながら、学生のうちに経験できる事には、どんどん挑戦していきたいと思っています。

## 運動栄養サポート研究会・硬式野球サポートグループが食事会を開催



3月24日(火)にD棟1F実験・実習室において運動栄養サポート研究会・硬式野球部サポートグループによる食事会が実施されました。

今回の食事会は、硬式野球の競技特性を考慮した食事指導が主たる目的です。はじめに、部員の

体格が一般男性の平均より上回っていることと、練習によるエネルギー消費や、競技特性を考慮すると一日に約3700kcalの摂取が望ましいことが示されました。次に、昨年秋に部員を対象に行った調査の結果、たんぱく質の摂取量が不十分である事と、野菜の摂取量が極端に少ないことが示されました。

これらの点を考慮し、普段の食事から心がける事が話されました。学生らしい発想と感じたのが、部員も好んで食べている「すき家の牛丼」を食事モデルに出し、バランス良い食事に近づけるためのサイドメニューの利用を呼びかけていたことです。

運動栄養サポート研究会・硬式野球部サポートグループは、栄養指導や間食提供、身体状況調査などを定期的に行っていますが、食事会の開催は2年ぶりです。今回の料理の評判が上々であったことから、今後も定期的に食事会を開き、部員に繰り返し食事の大切さの周知を図り、競技力向上に結び付けたいと話しています。

部員達も示されたデータが自分のデータであったため興味深げに説明を聞いていました。

## 仙台大学バスケットボール・ワークショップ



3月25 31日に本学体育館や白石CUBEを会場にして第21回バスケットボールワークショップが開催され、全国の高校から男女合わせて80チームの参加がありました。

このイベントは本学の男女バスケットボール部部員が大会の企画運営を一手に担い、大会の審判やスコアラーはもちろん、参加チームの宿泊、弁当の手配に至るまでの全てを担当しています。この実習体験を通して専門技術や運営法、諸先生方の指導法を学ぶ事も目的の一つです。

大会では各会場にATルームスタッフがブースを設けて選手をケアし、スポーツ情報マスメディア学科もインタビューブースを設置して大会を盛り上げました。

大会総轄責任者  
女子バスケットボール部主将の  
**中山美穂さん(体育学科4年)**



大会を運営する裏方の仕事(会場設営・試合組合せ・宿舍手配・弁当手配など)を実際に体験して、その苦勞や難しさを痛感しました。自分達が出場している大会も、裏方で支えてくれる人たちがいるから成り立っていると改めて学びました。

ワークショップは無事に終了することができましたが、自分の担当する役割だけを把握して、他の人の役割を共通理解していない部員が多かったため、互いに関連している場面で食い違いが出た事が来年に向けての反省点です。今回のワークショップに参加した出場校からインターハイ出場チームが出ることを願っています。



写真は白石CUBE



## 第4回しばたまち白石川さくら回廊ボート体験会



4月11日(土)、柴田町北船岡河川敷公園を会場に第4回しばたまち白石川さくら回廊ボート体験会が開催されました。

体験会には柴田町内の3つの中学校と高校から41名が参加。体験会に合わせるかのように満開に咲いた一目千本桜をボートに乗りながら満喫していました。普段乗る機会のないボートを体験した中高生からは「本当に楽しかった。機会があればまた乗ってみたい」「川面から見る桜は本当にきれいだった。」という声が聞かれました。

この体験会は町内の中高生にボートを通じて柴田町の自然のすばらしさを再認識してもらうことや、スポーツ振興の一助となるよう実行委員会を組織し漕艇部員が中心となって実施しているものです。今回会場を漕艇部の練習場から北船岡地区へ移したことで町民や観光客の皆様からの反響が大きく、来年以降は参加者募集の範囲を広げることも検討していきたいと考えているそうです。

なお、この様子は東北放送等から取材を受けニュース・新聞で紹介されました。

## 第58回お花見レガッタ エイトで初のメダル獲得

～強豪社会人クルーを抑えて3位入賞～

第58回お花見レガッタが4月4-5日に戸田市漕艇場で開催されました。この大会は社会人の強豪チームも出場する伝統ある全国大会で、今シーズンを占う大事な大会に位置づけられています。

本学漕艇部は、男子エイトと女子クォドルプルに出場し、男子エイトは、僅か6回目の挑戦で3位入り、初めてメダルを獲得しました。女子クォドルプルも2位となり、男女共に今シーズンを良い結果でスタートする事ができました。



## 柴田町白石川河川清掃に漕艇部が参加



3月28日(土)に柴田町が主催する白石川河川清掃「桜まつり おもてなし大作戦」が実施され、町内の事業所や各種団体の方々と共に、漕艇

部24名が参加しました。漕艇部がこの活動へ参加するのは今回が4年目で、活動中には町民の皆さんとの交流も深められたようです。

漕艇部はこの他にも、宮城県が主催するスマイルリバーサポーターに登録して、普段練習の場になっている白石川河川敷の清掃や除草活動作業のボランティア活動を行っています。

写真: 学生課 石森職員提供

## 田中美衣さん(体育学科4年) ユニバーシアード大会代表決定



写真:南條講師提供

柔道部田中美衣さん(体育学科4年)が7月7 - 11日にセルビアで開催されるユニバーシアードの柔道女子63kg級の代表に内定しました。

1月のW杯ブルガリア国際大会での優勝や、4月4日に行われた全日本選抜柔道体重別選手権大会での成績が認められたものです。

ユニバーシアード大会出場は、本学柔道部としても初めてのことです。国際大会でも結果を残している田中さんが、世界の同世代チャンピオンを目指します。

また、田中さんは5月9、10日に開催される柔道グランプリ チュニジア大会出場も決定しました。

## 日本選抜陸上大会 女子ハンマー投げで佐藤若菜さん(体育学科4年)が2位



8月にベルリンで開催される世界選手権の代表選考を兼ねた「日本グランプリ第1戦日本選抜陸上和歌山大会」が4月18、19日に行われ、女子ハンマー投げの佐藤若菜さん(体育学科4年)が記録54m24で2位となりました。

## 男子体操の全日本選手権に学生と本学OB合わせて18名が出場

4月25日、26日に国立代々木第一体育館(東京都)で開催される全日本体操競技選手権大会に学生9名の出場が決定しました。この大会は個人日本一を決める大会で、10月の世界選手権と7月のユニバーシアードの代表選考も兼ねています。

亀山耕平さん(体育学科3年)、宗像 陸さん(体育学科2年)の活躍に期待がかかりますが、1年で唯一出場する富澤祐太さん(体育学科1年)の演技にもご注目下さい。

富澤さんは本学が同法人の明成高校と平成18年度にスタートさせた体操の高大連携事業の1期生で、高校では東北を制した逸材です。初出場とどこまで通用するか注目です。

本学OBも9名選出され、出場者114名のうち、本学出身者としては18名が出場します。





## 仙台六大学野球春季リーグまもなく開幕

仙台六大学野球春季リーグが4月18日に開幕しました。今年のチームは安田尚造主将(体育学科4年)を中心にチームがまとまっており、戦力が整っております。

本学硬式野球部は第2節(4月25日)から登場し、開幕戦となる東北大学との戦いに挑みます。

詳細は硬式野球部ホームページをご覧ください  
[http://homepage2.nifty.com/scpe\\_bbc/](http://homepage2.nifty.com/scpe_bbc/)



## 第89回天皇杯全日本サッカー選手権県予選が開幕

4月19日に第89回天皇杯全日本サッカー選手権県予選が開幕しました。この大会は高校・大学・社会人が出場する大会で、優勝チームはJリーグのチームも参加する本大会に進みます。昨年準優勝だった本学サッカー部は、4年ぶり2度目の本大会出場を果たすべく、5回戦(8月9日)から登場します。



# Monthly Report

Vol.36 広報室

平成21年5月22日発行

## 目次:

朴沢学園創立130年	1
鈴木のぞみさん	2
フィンランド留学生	3
国際貢献事業JICA 体育祭開催	4
現代GPガイダンス	5
ノーマライゼーションセミナー	6
ジュニア教室開講	7
学生の活躍	8

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802  
内線 佐藤美保 256  
土生佐多 200  
伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

## 学校法人 朴沢学園130周年(1879 - 2009 ~)

本学の母体、学校法人朴沢学園が今年で130周年を迎えます。宮城県下で、本学園が最も歴史の長い私立学校です。

明治12年に朴沢 三代治初代校長が仙台本荒町(現在の一番町)に松操私塾を始め、革新的な裁縫教授用掛図による一斉授業を行い、子弟を集めて教育にあたり朴沢学園の基礎を築きました。明治17年には教授方法を明確にした「裁縫教授書」が我が国初の文部省小学校裁縫教科書として採用され、同じく明治17年には、「裁縫教授用掛図」を国内への出品に留まらず米国博覧会へも出品しています。

朴沢流裁縫技術はその名を広め、朴沢三代治二代校長時代には全国的に松操学校の存在が知られることとなり、北は北海道、南は熊本などから教えを求め、当時すでに卒業生は5千名を超え、郷里へ帰り、朴沢流裁縫技術を普及させました。

現在、その貴重な掛図や裁縫教授書は、青葉区川平の法人本部で大事に保管されています。



図書館に、1979年に発行された記念誌「百年のあゆみ」があります。学園の歴史にご興味のある方は是非ご一読下さい。



## OGハワイ州立大学スクーリング第1回生(2003.12月実施)の 鈴木のぞみさん(平成17年度卒)ハワイ州立大学大学院修了

～アスレティックトレーナーを目指し、単身ハワイでゼロからのスタート～



← 一番左には、のぞみさんと  
同じ目標を持ってハワイに  
渡った鈴木理恵さんの姿も

ハワイ州立大学スクーリングをきっかけに本格的に同大学で学びたいと思った鈴木のぞみさん(明成高校 仙台大学体育学科 H17年度卒)。本学を卒業後、アスレティックトレーナーになるべく単身ハワイに渡り、語学学校を経てハワイ州立大学大学院(キネシオロジー - アドバンスド レジャー グラデュエーション プログラム)に入学していた鈴木のぞみさんが5月17日に同大学院を無事修了しました。

6月にはいよいよアスレティックトレーナーの資格試験にチャレンジするそうで、本学初の同資格者誕生が楽しみです。

後に続いた鈴木理恵さん(H20年度卒)も同大学大学院を目指し、現在ハワイの語学学校で頑張っています。のぞみさんのブログに写真が載っていたので、ご本人の快諾を得、苦労が綴られた卒業式前日のブログと共に紹介します。

尚、ブログに添付されていた卒業式の動画は学食等で放映予定です。

### ありがとう

鈴木のぞみさんブログ <http://blog.goo.ne.jp/>

5月16日更新

3年前の私は、今の私になりたかった。でも、想像できなかった。

先輩の卒業式を見て、「私もこうなりたい」そう強く思った。

英語が話せなかった。日常会話すら聞こえなかった。大学生の教科書なんて、読めもしなかった。今みたいにペーパーなんて書けもしなかった。

~~~~ 中略 ~~~~

アスレティックトレーニングが学びたくて仕方がなかった。でも、英語がわからなかった。

大学院に入れるかすら、わからなかった。

トッフルが上げられなかった。

プログラムに入った。

全て吸収したいと思った。でも、クラスに付いてゆくのもやっとで、理解できないことがたくさんあった。

クラスメートと普通に話せるようになりたかった。でも、日常会話にすら付いてゆけない事がしばしばだった。だから、毎日みんなの会話を聞いていた。

選手のいっている事を100%理解することができなかった。正確な怪我の評価ができなかった。

アメリカ人の前で、プレゼンテーションをしなければならなかった。理解してもらえないかいつも不安だった。

ぐちゃぐちゃな英語を使ってしまうことが、しょっちゅうだった。呆られる事もあった。相手のプラスになれない自分が、情けなかった。

自分は家族、友人達に助けられて、成り立っているのだと分かった。

彼らの理解、協力無しには、ここまで来られなかった。彼らが私を今日まで引っ張ってきてくれた。

友人達。語学学校、ELI、アスレティックトレーニングの先輩たち、クラスメートたち、トレーナールームのスタッフ、今まで関わってきてくれた全ての先生たちのこと。

ということで、明日は卒業式です。

3年越しの想いが、現実になる。

本当に、今までありがとう。今、最高に嬉しいです。

夢が叶って、こういうことだったんだ。

本当に、ありがとう。

## フィンランドからの留学生 滝口町長を表敬訪問

5月8日(金)からフィンランド・カヤーニ応用科学大学から3名の留学生(左からアマリ・ハル、サウ・トゥルネ、エロ・ロシネ)が本学で学んでいます。

本学とカヤーニ応用科学大学は平成18年に国際交流協定を締結し、短期留学を通して互いに学生交流を図っており、今年が第3回目のプログラムです。

滞在は3週間で、講義に参加するほか、柴田町内の小・中学校訪問、ホームステイ、農業体験、茶道などを通して日本文化に触れる予定です。11日には柴田町 滝口町長を表敬訪問しました。

滝口町長から「日本の伝統文化、郷土料理、町の人たちの生活を学んで帰っていただきたい。フィンランドのよさを大学の学生に伝え、交流が深まるように関係を築いてください」との言葉を頂きました。同日に行なわれたウェルカムパーティーには台東大学(台湾)から1年間、科目等履修生として留学中の簡介文(カン カイブン)氏も招き、教職員・学生が参加して交流を深めました。



ウェルカムパーティー / 簡介文氏(台湾)



船迫中学校 / 給食



太田教授宅にて / 着物



実技 / 柔道



実技 / 剣道



実技 / ダンス

## 仙台国際ハーフマラソン大会国際姉妹都市交流会

～ ベラルーシ共和国ミンスク市選手団団長が本学を視察 ～



ミンスク市 選手団(向かって左がミハエル団長)

5月10日に、19th 仙台国際ハーフマラソンが開催され、大会後には国際姉妹都市交流会が開催されました。交流会には、昨年に引き続き今年も招待を受け、学長はじめ本学から7名が参加しました。昨年のこの交流を契機として、新体操部コーチのマカロワ・マリヤさんの本学招聘が実現しています。

また、5月8日にはミンスク市選手団団長で、ミンスク市体育・スポーツ観光部長でもあるミハエル・B・ユスパ氏が仙台市の職員とともに本学

を訪れ、学長や新体操部の大山部長、丹羽監督、マカロワ・マリヤさんと懇談しました。その後、第3体育館や新体操の指導が行われている第4体育館、陸上競技場などを熱心に視察されました。



本学からも学長をはじめ、7名で交流会へ参加



長春市 選手団(招待選手最高記録 女子12位)



本学トレーニングセンター



## 仙台大学国際貢献事業 ～ JICA『世界の笑顔のために』プロジェクト

柳講師の呼びかけで2年前に始まったJICAの主催する「世界の笑顔のために」への本学からの物品提供は、これまでにバレーボール・野球グローブ・シューズなどが世界約15ヶ国に送られ、子ども達の笑顔の源ともなり喜ばれています。

今年度からはボランティアセンター主管となり、多くの学生が関わることで更に大きな取組みになろうとしています。今回は今まで以上に近隣のコンビニエンスストアや商店にポスターを掲示させていただいています。

今回の物品回収期間は5月11日～22日(17時)まで(管理課)です。

### 活動メンバー

- 大道有起さん(大学院1年)
- 齋藤まりさん(運動栄養学科4年)
- 小寺恭平さん(体育学科4年)
- 小沢まりさん(体育学科3年)
- 横山宗平さん(健康福祉学科2年)
- 佐々木里花さん(スポーツ情報メディア学科1年)
- 槻山朋恵さん(スポーツ情報メディア学科1年)

### 横山宗平さん(健康福祉学科2年)



コ・アクトやユニティー、現代GP、学校支援ボランティアなど色々な活動をしています。日本を超えて世界と関われる機会はありません。この取組みを通して、少しでも世界の方と携われる事が自分にとって大きく貴重な体験です。

再利用可能なボールなどのスポーツ用品が、いなくなったからといって捨てられるのはもったいなく、他の国で活用してもらえればと思うので是非、皆様の物品提供をお願いします。



以前のプログラムに対する御礼状の一つ

## 学友会企画で体育祭開催

5月16日(土)に学友会主催で体育祭が開催されました。体育祭は1年生の交流を促進する目的で開催され、1年生と参加希望したB.B.バレー同好会を合わせて111名が参加しました。

このイベントは「体育大学なのに体育祭がない」との学友会の提案から初めて開催されたもので、クラス毎に分かれて長縄跳びとドッチビーの2種目で競い合いました。大会終了後は学生食堂を会場に交流会も開催され、ビンゴ大会などで楽しい時間をすごしていました。

今大会にはキーナート副学長(特命事項担当)から楽天野球団のユニフォームを、佐藤(宏)副学長からベガルタ仙台フォーム観戦チケットなどを大会賞品としてご提供頂きました。また、シダックスからも楽天ホームゲーム観戦チケットの提供をいただきました。

入学してから約1ヵ月半。1年生同士がクラスの枠を超えてスポーツを通じ交流を深め、仲間との絆を強くできた大変有意義な企画でありました。

- 優勝 体育学科C-1
- 第2位 体育学科混合チーム
- 第3位 運動栄養学科B-1
- 学長賞 健康福祉学科C混合
- 学生部長賞 B.B.バレーボール同好会



## 現代GP「地域密着型の健康づくり支援システムの構築」ガイダンス



4月27日(火)、5月11日(月)にB203教室において現代GPの健康づくり運動サポーター養成ガイダンスが開催され、2回合わせて約100名の学生が参加しました。

はじめに橋本学科長が「町の健康に貢献して社会に出て役立つ人材になってもらいたい。是非、上級まで修了し卒業して下さい。」と挨拶の後、小池教授より養成プログラムの概要が説明されました。

3年目の今年は、健康福祉学科1年生の専門基礎科目のカリキュラムに「健康づくり運動演習」として含まれ、また、上級コースがスタートします。

健康福祉学科1年生は今年から学科で習得可能となり、それ以外の学生がガイダンスに参加し、18日から養成講座もスタートしています。健康福祉学科以外の学生も多数参加しており、この取り組みへの高い関心度をうかがい知る事ができました。

「地域密着型の健康づくり支援システムの構築」は、平成19年度に文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに私立体育大学として初めて採択されました。体育系大学の特徴を活かして地域の健康事業の指導者不足の解消という要請に応えながら、時代が求める健康福祉分野での専門知識やホスピタリティー、ユーモア、明るさを備え、楽しい運動指導のできる実践的な能力を身につけた人材養成を目指しています。



専用ホームページ

<http://www.scn-gp.jp/kensup/>

## 学都仙台コンソーシアム広報サポートスタッフ決定

～ 学生の活躍の場が広がる ～ つながる ～



本学が加盟している「学都仙台コンソーシアム」で、この度学生による「広報サポートスタッフ」の募集があり、学内で検討した結果、スポーツ情報マスメディア学科2年生2名の学生が決定しましたのでご紹介致します。(任期：平成21年5月～22年2月予定)

これは学都仙台コンソーシアム広報部会が、広報活動全般に対して学生の視点を取り入れるために平成20年度から学生スタッフをつのっているもので、本学では去年に引き続き、2回目の選出となります。

1人は「スポーツ情報戦略コース」で学ぶ高橋悠(ゆう)(二女高時代ソフトボール部)さんで

「自分にとって「コンソーシアム」が未知なる分野だったことに興味を持ちました。HPで調べてみたところ学生のページもあり、体育大学としてだけではなく幅広く活躍している多くの仙台大学の学生達を自分の手で紹介したいと思ったのが志望動機です。将来的には英語の勉強や教員への道も含め経験したいことがたくさんあるので、他大学の学生と交流しつつ見聞を広めたいと思います。」とのことでした。

もう1人はスポーツマスメディアコースで学ぶ高橋花奈(富谷高校時代ハンドボール部)さんで「現在、フリーペーパー作りに着手しており、完成した後、それを他大学に置いていただき、逆に他大学のフリーペーパーを本学に置くような試みで、学生同士の交流が図れれば良いのでは」と考えています。今回はそのための勉強の機会と考え、応募しました。卒業後は広報関係、マネジメント他、今出来ることに全力で挑戦した中から進路を決めたいと思います。」と話していました。

他大学に比べ本学の最大の長所として2人共「先生方との距離が近く、少人数制で指導して下さること」と口を揃え、日々積極的に充実した学生生活を送る姿が感じられました。

学都仙台コンソーシアム広報部会によりますと、6月中に第1回目の広報スタッフ会議が予定されているそうで、ダブル高橋さんの活躍が楽しみです。



## 第2回ノーマライゼーションセミナー開催

～デンマークの教育のいいところ 日本の教育のいいところ～



デンマークと日本の教育におけるノーマライゼーションの考え方について、北欧デンマークから千葉忠夫氏(N.E.バンク・ミケルセン記念財団理事長)をお招きし、特別講義『デンマークの教育のいいところ 日本の教育のいいところ』を開催しました。千葉氏はデンマークを拠点に社会福祉活動を行っており、2006年ニュースウィーク日本版特集「世界が尊敬する日本人100人」にも選ばれている方です。

会場のB103教室には、学生と一般の参加者約50名が出席し、「世界一住み良い国」と言われるデンマークと日本の違いを、特に教育面から、デンマークの授業形態である対話型でお話していただきました。

「デンマークの学校では授業内容を理解したかどうかのテストはあるが、日本のような中学入試や高校入試のような試験はない。また、通知表もないが、教員は一人ひとりの子供としっかりと向き合いその子供の得意分野を伸ばすよう教育し、年に2回理解度や可能性を子供と親と教員が一緒に話し合う三者面談で確認する。これは人に優劣

をつけないことを子供のうちから教育しているもので、ノーマライゼーションの理念の下に、誰でも平等に扱うことを実践する教育である。このような教育があり、高齢者も障害者も平等に暮らせる社会が構築されており、「世界一住みよい国」と言われる所以は教育にある。一方、日本は、子供を受験競争させ、社会の中で優秀な人材を育成することで経済大国となった。しかし、経済大国とは社会的立場の弱い人が安心して暮らせない社会でもある。日本人もデンマークのような社会福祉社会の実現を望む声が多いが、ノーマライゼーションの理念の基づいた誰でも平等に扱うことを実践する教育を取り入れてこなかったからではないか」と話されました。

千葉氏の講演後には、子どもたちの命と健康を願う『みやぎ夢燈花in仙台大学』が実施されました。『夢燈花』とは2001年に大阪府池田市で起きた校内児童殺傷事件の鎮魂行事「いけだ夢燈花」がはじまりで、本学非常勤講師の石川健先生(元宮城県立光明支援学校 校長)が「みやぎ夢燈花」の会長を務めて活動されています。現在は光明支援学校と南中山住民の他に、聖和学園女子短期大学や南中山小学校の学生・児童も参加して活動が広がっています。今回、仙台大学で活動を行なう事で更なる広がりが期待されます。



「ノーマライゼーション」とは、デンマークで俗に1959年法と言われる知的障害者支援に対する説明文の中で、次のように謳ってある。

知的障害のある人の生活条件を知的障害のない人の生活条件に可能な限り近づけること。

それは、もともと知的障害者のためにあったが、今では広く、子どもから高齢者にわたり、不利な条件を伴うたちばの人々に適用されるようになった社会福祉の基礎的理念。

## 献血車「いずみ号」による構内 献血事業



日本赤十字社による献血事業の一環として、献血車「いずみ号」が4月30日(木)に訪問しました。今年度、第1回目の構内での献血活動で、教職員、学生合わせて79名が受付し、うち46名が採血の協力を行ないました。

当日は併せて「骨髄バンク登録会」も開催され、骨髄バンクについての理解を深めてもらえたようです。

## 体育施設管理士資格 認定証交付式



4月27日(月)大会議室において「体育施設管理士」認定試験(資格)合格者に対して朴澤学長より認定書が授与されました。

「体育施設管理士」の資格は、財団法人日本体育施設協会が主催し、体育施設の維持管理・運営に関する総合的な知識を習得することによって、体育施設管理者の資質向上とともに、わが国の体育・スポーツの振興に寄与することを目的としています。

協会施設内(東京都)での受験だけだったもの

が、体育系大学で学生が受講しやすい便宜を図れないかを協会に陳情した結果、2006年度に講習会を行ない35名が資格を取得しました。

2007年度(昨年)から仙台大学と順天堂大学(体育系大学)に対して指定のカリキュラム受講生に対して「体育施設管理士」養成講習会の免除が適用になり、大学内での受験が可能となりました。2007年度は50名が合格し、今年は昨年を上回る61名が受験、全員が認定を受けました。

認定証が交付された後、朴澤学長より「資格には教員免許などの国家資格と、中央の大きな団体が出す資格とがあり、『体育施設管理士』(認定)資格もその一つ。これらは在学中に取得できるものは少なく、これに限らず、他分野の資格への挑戦も訓練・経験の機会としてチャレンジしていただきたい。保健体育科教諭を志している皆さんが、この資格を取得したことは、教育にも学校の管理運営にも役立つ場があり、教員以外の仕事についても役立つ場があります。この資格を活用していただきたい。」との激励がありました。

## 平成21年度 ジュニア新体操教室が開講



4月22日(水)に平成21年度ジュニア新体操教室が開講しました。ジュニア新体操教室は平成6年にスタートしてから好評で、今年も90名超の子供たちが通います。

開講式には新体操競技部 部長の大山准教授、監督の丹羽講師、外国人指導者のマカロワ氏、新体操部の学生9名が出席。受講する3歳から12歳までの児童と保護者合わせて約100名の参加がありました。

開講式後には第1回目の教室を開催し、丹羽講師の声がけで、リズム感を養う運動や、柔軟体操が行われました。華やかな衣装をまとった子供たちが愛らしい表情を見せて取り組んでいました。

新体操教室は毎週水曜日開かれ、11月に開催する演技発表会に向けて、演技力のもとより他のスポーツでも求められる柔軟性や仲間との協調性も指導していきます。





## 柔道グランプリ チュニジア国際大会で田中美衣さんが2位



5月9日に行われた柔道グランプリ チュニジア大会(女子63kg級)に出場した田中美衣さん(体育学科4年)は、準決勝戦までオール一本で勝ち進み、決勝戦ではアテネオリンピック3位で今年の欧州王者のU・ゾルニール(スロベニア)に挑みました。

開始から相手の攻撃に防戦一方となった田中さんは「指導」を2つ取られ、さらに肩車で「技あり」を奪われて劣勢になりました。中盤、寝技の攻防戦から一度は田中さんがゾルニールを抑え込むも、力と経験に優る相手に10秒ほどではずされ、最後は再度の肩車で一本負けを喫しました。

今回の2位で、田中さんは国際大会では2つの優勝を含む4大会連続の表彰台です。決勝戦は完敗でしたが、8月に行われる世界選手権大会(オランダ・ロッテルダム)の優勝候補でもあるゾルニールと対戦できたことは有意義であったに違いありません。大会で得た課題を克服し、7月のユニバーシアード(セルビア)では金メダル獲得を目指します。

## 陸上競技の2009日本グランプリシリーズ

～延味由起さん(体育学科4年)がやり投げで4位に～

4月26日(日)に兵庫県で行なわれた陸上の日本グランプリ競技大会において、延味由起さん(体育学科4年)が50m71の成績で4位になりました。学生の中ではトップの記録です。

昨年、延味さんは大躍進し、自身の記録を大幅に更新するとともに、日本学生陸上競技選手権大会を優勝、インカレでも2位となりました。

学生最後の今年、日本学生陸上(6/12-14)2連覇とインカレ(9/4-6)制覇へ大きな期待がかかります。



## 第63回全日本体操競技選手大会

～亀山耕平さん(体育学科3年)があん馬で1位の得点～



この大会は「世界選手権」、「JAPAN CUP」、「ユニバーシアード」の代表選考を兼ねており、亀山さんのあん馬の成績は世界選手権代表に近づく素晴らしい得点です。6月に開催される世界選手権最終選考会の成績次第では、本学体操競技部初となる在学生の世界選手権出場の可能性も見えてきました。

今大会には学生9名が出場し、個人総合では亀山耕平(体育学科3年)の22位が本学としては最高成績でした。OBでは、関口栄一さん(所属:KONAMI)が2日間の成績合計で4位となり、JAPAN CUP代表を掴み取りました。

4月25、26日に代々木第一体育館で行われた「第63回全日本体操競技選手大会」において、亀山耕平さん(体育学科3年)があん馬で1位の得点を出しました。(1日目/1位(得点:15.450)、2日目/2位(得点:15.450))

体操部は5月15-17日に栃木県体育館を会場にして第43回東日本学生体操競技選手権大会でも男女共に団体戦4位。種目別では亀山さんが得意のあん馬を制しました。

# Monthly Report

Vol.37 広報室

平成21年6月29日発行

## 目次:

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 学生2名ラスベガスへ            | 1  |
| 伊東昭義教育巡回写真展開催中        | 2  |
| 学都仙台コンソーシアム学生が広報スタッフに | 4  |
| 新体操マカロアさん<br>岩瀬研究員    | 5  |
| サッカー元日本代表<br>来訪       | 6  |
| JFA・Jリーグ特別指<br>定選手に   | 7  |
| 学生の活躍等                | 8  |
| 仙台大学オリジナル<br>グッズ販売中   | 10 |

学生の活躍や、取組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802  
内線 佐藤美保 256  
土生佐多 200  
伊東宏之 271  
Email:kouhou@scn.ac.jp

## 学生2名が日本代表として、米国で開催される運動能力テストに出場



7月9日から11日に、NSCA（全米ストレングス&コンディショニング協会）のナショナルカンファレンスが米国ラスベガスで開催され、期間中に行われる運動能力テストに本学内での選考を勝ち抜いた細川優樹、高山安奈（共に体育学科2年）が日本代表として出場する事が決定しました。

NSCAとはトレーナー資格「CSCS資格」、「NSCA-CPT資格」を有する団体です。運動能力テストはNSCAのもつFly Solo（高校生以下をトレーニングしているコーチを対象とした教育プログラム）が主催して昨年からはじめました。今年もアメリカ・カナダ・イギリス・アイルランドが出場を予定しています。昨年も学内選考を勝ち抜いた学生2名が日本代表として出場し、男子は2位、女子は4位という結果でした。今年出場する2名はそれぞれバレーボール部、バスケットボール部に所属しており、運動能力が非常に高いため優勝の期待も持てます。現在、大会に向けてNSCA資格を有する加賀新助手の元で週に2、3度練習に取り組んでいます。

細川さんは半年前から持ち前の跳躍力を生かしたジャンプに自信を持っており、他国の予選と比較するとトータルの記録が世界でトップ「選ばれたからには世界一をとる」と意気込んでいます。

高山さんは将来CSCSの資格取得を目指しており、今回のカンファレンスに出席すること自体、たいへん楽しみにしているそうです。

壮行会は7月1日に第3体育館1Fトレーニングセンターで行なわれます。

昨年の様子（NSCAホームページ）

<http://www.nasca-lift.org/Fly%20Solo%20Program/Int.ppt>

NSCAホームページ

<http://www.nasca-lift.org/Fly%20Solo%20Program/intlchamp.shtml>



## 伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展」開催中



6月11日(木)～8月31日(金)の日程で「伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展」を本学25記念館1F特設会場において開催しています。

伊東昭義氏は日本大学芸術学部美術学科を卒業後、美術家として多彩な彫刻・写真を発表されている方で、世界最大級の美術館である米国『スミソニアン』での個展を始め、国内での財団・公立の美術館・ギャラリーでの個展ができる数少ない

作家の一人です。

また、伊東氏は教育家としても活躍されており、所長を務める幼児体育研究所には、学生の就職先として毎年採用いただくなどお世話になっており、現在も60名近くの卒業生が在籍しています。

今月末からは一般開放も行います。是非一度ご覧ください。

伊東昭義氏の活動詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://ito-art.com/index.html>

企画名 伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展  
場 所 25記念館1F特設会場  
時 間 7時半～20時半  
主 催 仙台大学、伊東昭義クリエイティブアート展示実行委員会  
入場料 無 料

## 国際貢献事業＜JICAを通しての物品提供活動＞



JICAの主催する「世界の笑顔のために」への物品提供は、今年で3年目を迎え、本学で送ったものが世界各国で利用されて喜ばれています。

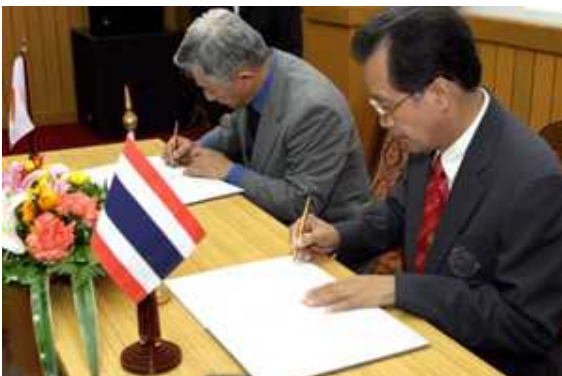
5月22日まで行っていた物品提供には、バレーボールやサッカーボール、バドミントンの

シャトルなどが集まり、ダンボール6箱を今月初旬にJICAに送りました。荷物はJICAから発展途上国に振り分けられます。

今回の事業では初めて、学外のバレーボールチームからユニホームが寄せられました。

この取組みは、河北新報・毎日新聞・朝日新聞やDate fm(株式会社エフエム仙台)でも紹介され、記事を読んだ中学校の先生から、教育実習に行った学生を通じて「不要のバレーボールを提供したい」との申し出があるなど、本学の国際貢献の取組みとして認知され、また、スポーツに携わる方々の関心の深さが伺えます。

## 国際交流提携校:シーナカリンウィロート大学HPに本学掲載



シーナカリンウィロート大学(タイ)のホームページに本学との提携について記載されており、平成21年1月7日の調印式で撮影した写真が掲載されています。

<http://www.swu.ac.th/en/>

高橋弘彦教授より情報提供

## 包丁支給・調理技術講習会



5月29日(金)に運動栄養学科1年生に個人の名前が彫られた包丁を手渡す、「包丁支給」がD201教室で実施されました。これは、運動栄養学科開設当初から行なわれている伝統ある行事で、包丁の取り扱いに責任感を持たせることに目的を置いています。

宮城学科長から「管理を怠ると錆びてしまう包丁を大事に扱うこと」と、「包丁を保管するロッカーへの施錠徹底」について指導があった後、学生一人ひとりに手渡されました。包丁を受け取っ

た学生たちは早速に自分の名前が彫られているか確認を行い、気を引き締めている様子でした。

6月12、19日には『亀縞の郷 今昔庵(岩沼市)』の斎藤勝氏を講師に招いて「調理技術講習会」を開催し、運動栄養学科Bクラスの学生が調理に携わる者としての心構えや、包丁の研ぎ方・切り方などを学びました。Aクラスの調理技術講習会は6月26日と7月3日に予定されています。

## 平成21年度仙台大学保護者会役員会



6月13日(土)に仙台ガーデンパレスにおいて、平成21年度仙台大学保護者会役員会が開催され、鈴木和明会長はじめ保護者会役員19名と、本学関係教職員19名が出席しました。鈴木会長と朴澤学長の挨拶の後、平成20年度の事業報告・決算報告、平成21年度の事業計画・予算並びに役員選出についての報告・審議がなされ、前議案と

も原案どおりに承認されました。

その後、今回で退任する鈴木会長はじめ役員に対して感謝の意を込め記念品が贈られました。

なお、新会長には糟谷昌彦氏が就任しました。



## 学都仙台コンソーシアム学生広報サポートスタッフ活動開始



6月9日（火）仙台市市民活動サポートセンターにおいて、先月のMonthly Reportでご紹介しました「学都仙台コンソーシアム広報サポートスタッフ」の初めての会議が開催されました。本学からはスタッフとして選ばれた、スポーツ情報マスメディア学科2年生、高橋悠（ゆう）さんと高橋花奈（かな）さんが揃って出席し、フレンドリーな雰囲気の中他大学のメンバーと交流を深めましたのでご紹介致します。

スタッフは全員で11名、東北大学をはじめ6大学及び宮城工業専門学校で構成され、学年・専攻もバラエティに富んでいるそうです。簡単な自己紹介の後、まず手始めとして、学都仙台コンソーシアムHPにある「学生のページ」を充実させ、できれば7月中に各大学のオープンキャンパス情報を掲載することなどを目標に会議が進められました。ダブル高橋さんは「今、まさに授業で習っている、会議を効率良くいかに戦略的に進行するか？」などが実践的に役立つことを実感でき、とてもやりがいがあります。メンバーには学生でありながら起業している方もいて、ますます興味がわきました。」と張り切っています。

会議は来年2月までの任期中、基本的には毎週1回のペースで開かれ、母校心溢れる学生達により、さまざまなアイデアが活発に討論されそうです。

## 全国体育系大学学長・学部長会が開催

～ 体育系大学のさらなる連携と模索～



5月28日（木）九州共立大学を幹事校とした「H21年度全国体育系大学学長・学部長会」が、ホテル日航福岡で開催されました。会議の中で朴澤学長が、文部科学省戦略

の大学間連携事業補助への申請の可能性に関するアンケート結果、および健康運動指導士養成校の合格率状況についてご報告なされ、その後、橋本学科長による、体育系大学として初めて採択された本学の現代GPの取り組みに関し、ご講演がありました。

「全国体育系大学学長・学部長会」は、現在本学を含む23大学が加盟し、1年に1度、持ち回りで総会を開いています。約50名の出席者を前に朴澤学長は「大学間連携については、加盟大学全体としての取組みではなく、複数の大学間の個別の連携に前向きな意向を持つ大学が存在しており、今後に向けて更なる検討が期待されること。健康運動指導士養成に関しては、財団講習会受講者の合格率より下回っている状況があり、改善を要請されている。」と報告なさいました。

続いて橋本学科長より、現代GP申請のポイントと現在までの進捗状況について、DVDを用い講演がなされました。参加者からは、学生に部活動と両立させる工夫など、体育系大学ならではの共通した悩みが質問され、活発な意見交換の場となりました。

懇親会の席では鹿屋体育大学の福永学長が「脳を鍛えるには運動しかない」という本を紹介しつつ、「運動によるさまざまな効果が科学的に証明され、学習効果の向上、アンチエイジング、生活習慣病予防など、体育系大学がこれほど必要とされている時代はなく、大学間で協力しアピールしよう」とご挨拶なさいました。

健康づくりに関心が高い今こそ、健康教育や運動の重要性をさらに体育系大学から発信すべき時がきているという視点で、仙台大学が担う大きな使命はまさしくこのことにあると言えるでしょう。（記事提供：橋本学科長）



## 新体操指導者マカロワさんに近況を聞きました

日本に来て半年が経ちましたが、異国での生活には慣れましたか？

仙台大学に来たばかりの頃に比べるとだいぶ慣れ、特に不自由に感じていることはありません。仙台市にも電車に乗って一人で出かけるし、近所のスーパーに行っても、どこに何が陳列しているか把握しているし、日本食も美味しいので問題ないです。ただ、納豆だけは駄目です。



全国大会に帯同して東京に行かれたと聞きましたが、日本の学生のレベルはどうでしたか？

審判の目線で得点をつけながら観ていましたが、世界と比較してもたいへんレベルの高いものと感じました。特に優勝・準優勝に輝いたチームは素晴らしく、難易度の高い技、スピード、安定感に優れていました。1点だけ日本がもったいないことをしていると感じたことは、日本の団体優勝チームがそのまま世界大会に出場すること。ベラルーシでは優勝チームだけでなく、他のチームからも優秀な選手を集めて新チームを構成して世界大会に出場しています。必然とレベルはベラルーシ式の方が高くなります。

日本語は覚えましたか？

4月から仙台にある日本語学校に週2度通って勉強しています。使う機会がないので、教えてもらった言葉もなかなか身に付かず、挨拶と新体操に関する言葉以外はまだまだです。興味がある新体操の言葉は使う機会も多いので覚えるのも早く、新体操に関する言葉はある程度覚えました。子供達も私に慣れ、コミュニケーションが取れるようになったので現在はほとんど通訳なしで指導しています。子供たちに学校で起こった出来事など、新体操以外の話をされると意味不明ですが。

東京に行って、住みたいと思いましたか？

東京は何でも揃う魅力的な街ですが、狭い範囲に人口が密集していて息苦しいので、住むのは柴田町がちょうど良いです。

## 五輪招致プレゼンVTRにスポーツ情報マスメディア研究所の岩瀬裕子専任研究員が出演

今月17、18日にスイスのローザンヌで2016年の夏季五輪招致を目指す東京など立候補4都市による、オリンピック・パラリンピック招致プレゼンテーションが行われました。

この席で、東京が使用したCITY編ビデオにスポーツ情報マスメディア研究所の岩瀬専任研究員が土田和歌子氏(陸上競技パラリンピアン)、滝川クリステル氏(フジテレビアナウンサー)、森理世氏(2007ミスユニバース)と出演しています。

この映像の一部は6月22日の日本テレビNEWS ZEROでも紹介され、今後もメディアでの露出が予想されます。

東京オリンピック・パラリンピック招致委員会のホームページでも観ることができますのでご覧ください。

なお、この映像はマスコミにも配られ、配布資料の中には、仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所の名も記されています。

<http://www.tokyo2016.or.jp/jp/movies/>



## 第二図書館を是非ご利用下さい



元GTセンター施設が今年度から第二図書館となり、歴代の学長やキーナート副学長(特命事項担当)から寄贈いただいた専門書、本学と協定関係にある海外の大学などから頂戴した貴重な品々が配架されています。どれも貴重な品々ですが、平日の数時間(下記に記載)開館しておりますので是非足をお運びください。なお、付属図書館事務室にお声がけ頂ければ就業時間内はいつでも開館します。

月曜日 10:00 ~ 12:30 、 13:30 ~ 15:00  
火曜日 10:00 ~ 11:30  
水曜日 13:00 ~ 15:00  
木曜日 10:00 ~ 11:30  
金曜日 10:00 ~ 12:30



## 元サッカー日本代表の渡辺由一さん



5月23日(土)に、本学第7回生(昭和51年度卒)で、元サッカー日本代表の渡辺由一よしいち氏が来学し、当時の貴重な日本代表のユニフォームを大学に寄贈下さいました。

渡辺さんは本学入学後フォワードからミッドフィルダーに転身、チームの中心選手として活躍され、大学2、3年次の76年と77年には2年連続でインカレ出場を果たし、本学サッカー部を東北地区大学サッカー界でトップチームへと導く礎を築られました。4年次には

全日本大学選抜にも選出されウルグアイでの世界大会にも出場されております。

卒業後当時の日本リーグの名門東洋工業サッカー部(現サンフレッチェ広島の前身)に進み、1979年に全日本に召集されています。その後1年半にわたり日本代表として活躍。ソウルでの日韓定期戦をはじめ国際Aマッチ出場6試合(1得点)の他、ジャパンカップ(現キリンカップ)出場など、計12試合で日本代表として出場されました。

今年3月にはサッカー部の1期生から10期生までのメンバーで構成するOB会を発足させ交流を深めているそうです。そのOB会でチームを結成し、夏には本学女子サッカー部との練習試合を行う計画です。また来年には在仙のリーグ戦に参加する方向で各方面と調整中とのことでした。

## ベガルタ仙台ジュニアサッカースクール仙南校に 元日本代表の岩本輝雄さんが来訪



6月15日(月)、本学サッカー・ラグビー場で開校しているベガルタ仙台ジュニアサッカースクール仙南校(以下:仙南校)の特別コーチとして、元日本代表の岩本輝雄氏が来訪しました。

この教室はベガルタ仙台と本学が提携して平成15年4月にスタートし、幼稚園年長から小



学校6年生までを対象にして毎週月曜日に開校しており、普段はベガルタ仙台から専属コーチ1名と、本学サッカー部コーチの草野新助手(元Jリーガー)が指導しており、サッカー部の学生も補助をしています。

キックの指導では、現役時代を彷彿とさせる迫力ある岩本氏のフリーキックに、子供たちの歓声が沸き起こっていました。岩本氏とのミニゲームもあり、自分のパスをシュートしてもらおうと、我先にと岩本氏にパスする子供達の姿がありました。憧れの選手を前にして子供たちにとっては夢のような時間となったようです。



岩本輝雄氏  
(愛称:テル)

1992年 JFL1部のフジタSC(=ベルマーレ平塚=現ベルマーレ湘南)に入団  
1994年 Jリーグに昇格  
1994年 天皇杯優勝  
1994年 日本代表に選出  
2001年 ベガルタ仙台に移籍  
2004年 名古屋グランパスエイトに移籍するも怪我の影響で同年退団  
2006年 オークランドシティFC(ニュージ-ランド)と契約・同年現役引退

## 奥埜博亮さん(体育学科2年)が(財)日本サッカー協会・Jリーグ特別指定選手に



おくのひろあき  
 奥埜博亮さん(体育学科2年)が大学などに所属したままJリーグの試合に出場できる「JFA・Jリーグ特別指定選手」の指定を受け、J2ベガルタ仙台に加入しました。  
 奥埜さんは明成高校・ベガルタ仙台ユース出身。中学から日本選抜チームでプレーし、2002年のU-13日本選抜、2005年のU-16日本代表などに出場しています。大学入学後もその活躍は目覚しく、昨年の東北地区大学サッ

カーリーグでは1年生ながら得点王に輝き、今年3月開催のデンソーカップ(地域選抜大会)では北海道・東北選抜チームとして出場し、大会優秀選手に選ばれています。

ユースまでお世話になったベガルタ仙台での活躍が期待されます。

ベガルタ仙台ホームページ

[http://www.vegalta.co.jp/contents/news/press\\_release/2009/05/jfaj-1.html](http://www.vegalta.co.jp/contents/news/press_release/2009/05/jfaj-1.html)

## 斉藤大輔さん(体育学科4年)が三段跳びで全国大会初優勝



6月12・14日に神奈川県平塚市で開催された「2009日本学生陸上競技個人選手権大会」において、男子三段跳びの斉藤大輔さん(体育学科4年)が15m93で初優勝しました。斉藤は岩手県立黒沢尻工業高校出身。高校では14m56で東北大会2位となりインターハイと国体の出場経験を持ちます。しかし、大学では全国大会出場すら叶わず、最終学年でようやく全国の場を踏みました。「全国大会に出場できただけで嬉しかった」と話す斉藤は、この大舞台で自己記録を76cmも更新し、全国大会初出場・初優勝の偉業を成し遂げました。9月の全日本インカレに向けて遅咲きの新星が誕生しました。

女子ハンマー投げでは佐藤若菜さん(体育学科4年)が53m34で第2位となりました。



6月16日(火)には朴澤学長に大会結果報告。翌週にはA棟に垂れ幕が掲げられました。



## 漕艇部の西村光生さん(体育学科2年)がU23日本代表選手に

～ 本学からは7年連続の代表輩出～



漕艇部の西村光生(体育学科2年)がU23日本代表に選考され、7月にチェコで開催されるU23世界選手権へ舵手なしフォアのメンバーとして出場します。

西村選手は愛媛県宇和島水産高校出身。昨年、一昨年には世界ジュニア選手権大会に日本代表を経験。今大会で3度目の国際大会出場となります。

本学漕艇部からの日本代表選手輩出は平成15年以来7年連続になります。

ボート全日本軽量級選手権大会/2種目で第2位  
5月23、24日に埼玉県戸田市で開催されたボートの全日本軽量級選手権大会において、男子舵手なしフォアと女子舵手つきクォドルブルの2種目で第2位となりました。

男女とも優勝こそ逃しましたが、高いレベルのレースで素晴らしいパフォーマンスを示してくれました。8月に開催されるインカレでの活躍が期待されます。

今大会には本学卒業生も多数出場。特に男子エイトでは今年卒業した渡邊勝裕選手、三浦友之選手(共にNTT東日本東京)が優勝。野崎鷹昭選手(トヨタ紡織)が準優勝を勝ち取りました。

## 鈴木保之香さんが仙台89ERSチアーズオーディションに合格



鈴木保之香さん(体育学科1年)が男子プロバスケットボールチーム「仙台89ERS」を応援するチアリーダーチーム「89ERSチアーズ」のトップメンバーに合格しました。

フロアで踊る事が好きと話す鈴木さんは、バトントワリングの指導者である母親の影響でバトントワリングを始め、小学生時代には全日本バトントワリング選手権全国大会出場、中学生時代は東北大会個人4位など輝かしい成績もおさめています。

2つ下の妹が「89ERSチアーズ」のレッスン生であった事から、チアリーダーに興味を持つ

ようになったそうです。ブースター(観客)との距離が近く、観客と一体となって応援する「89ERSチアーズ」の魅力に感激して今回のオーディション応募に至ったそうです。

「89ERSチアーズ」では試合ごとに出演するメンバーを選出するというので、「やるからには全試合で踊れるように全力で頑張りたい」と力強く話してくれました。

今後は、10月の開幕に向けて週2日のダンスレッスンと、仙台七夕まつりなどの催しや幼稚園に訪問しての広報活動を行なうそうです。なお、今年は初めてbjリーグのオールスターゲームが宮城県内で開催され、注目度が高まる事が予想されており、鈴木さんの笑顔でのパフォーマンスが楽しみです。

## NHKがバンクーバー五輪を目指す小室 希さんを紹介



スケルトンでバンクーバーオリンピック出場を目指している小室 希さん(院2年)にNHKの取材が入り、6月19日のNHK仙台放送夕方のニュース番組「てれまさむね」で紹介されました。

現在、取り組んでいるトレーニングが紹介され、予測・判断といったスポーツに関連した認知機能を高めるために東北大学の川島隆太教授が開発した「ワーキングメモリートレーニング」や、コース取りに必要な空中認識力(自分が今どこを滑っているかを把握する力)を高めるために、小西准教授・鈴木新助手・濱田新助手の指導の下で実施しているランポリトレーニングが紹介されました。

NHKによる小室さんの取材は昨年から継続的に入っており、宮城県内の放映に留まらず、6月29日にはNHK総合(全国版)での放送も予定されています。

番組名 : 「ニュースウォッチ9」21:00～22:00  
「ニュース&スポーツ」23:30～0:10

## 硬式野球部員6名が仙台六大学野球連盟選抜メンバーとして ハワイ国際野球選手権に出場



国際親善を目的として太平洋地域大学野球協会が主催する「ハワイ国際野球選手権大会」が8月6日～9日の日程でハワイ州立大学マノア校を会場に開催され

れます。今年の大会には本学硬式野球部が所属する仙台六大学野球連盟に対して出場要請があり、選手21名の派遣が決定しました。本学からも6名がメンバーに選出され、森本監督もコーチとしてチームを牽引します。

なお、同大学で同時期に実施されるアスレティックトレーニング スクーリング アドバンスドコースへの参加を兼ね、本学からトレーナーとして度会稔助教が、学生トレーナーとして体育学科3年の佐竹彬（あきら）さん・村上拓矢さんがそれぞれチームに帯同する事になりました。

慣れない海外の地における、国際試合でのトレー

ナーの存在は一段と大きく仙台六大学野球連盟からもメンバーの参加が喜ばれています。

ハワイでの選手達の活躍のみならず、プレーヤーの信頼を受け彼らを心身共にサポートするトレーナーの頑張りを心から応援しましょう。

### 出場選手

大森 淳希 （体育学科4年・投手）  
安田 尚造 （体育学科4年・内野手）  
田上 紳二郎 （体育学科4年・外野手）  
矢島 健吾 （体育学科3年・内野手）  
高島 光鉦 （体育学科2年・外野手）  
佐藤 良 （体育学科2年・外野手）

仙台六大学野球連盟ホームページ

<http://www.sen6.jp/>

仙台大学硬式野球部ホームページ

[http://homepage2.nifty.com/scpe\\_bbc/](http://homepage2.nifty.com/scpe_bbc/)

## レクリエーション部の学外での活動紹介



6月12日の教室は、「落下傘を自分達で作って遊ぶ」をテーマに開催されました。こども達の学生たちに我先にと近寄って教えを請う姿、そして仲良く交流する姿がみられました。学生たちも打ち解けているようで、基本は楽しく、叱るべきところをわきまえつつ、子供達ときちんと向き合う姿が印象的でした。

主催している同センターの石上幸弘さんは本学OB（12回生）で、「学生生活で子供たちと触れ合える機会は少ないので、「こども広場」を後輩である学生たちの学習の場にしてもらえればと思います。昨年からは依頼し指導・支援にきてもらっています。子供たちも学生に馴染んでいます」と話されていました。

レクリエーション部は年間で約180件の依頼に応えており、5月26～29日に大郷町が主催した蔵王自然の家での宿泊体験活動「まちはひとつの学校だ」事業にも学生7名が補助として参加するなど活躍の場を広げ、大郷町教育委員会からも感謝の手紙が届いています。

昨年に引き続き「船迫生涯学習センター」からの依頼を受け、レクリエーション部が6月～3月までの毎週金曜日に同センターが主催する「こどもの広場」に派遣されています。

この教室では、児童クラブに登録していない船迫小学区の小学生20人を対象に、安全で楽しい子どもたちの活動場所を設け、主に集団遊びを指導・支援します。

同センターとレクリエーション部が隔週で進行役と補助役を交代しながら進められ、毎回学生3名程が参加しています。レク部主将の武者庄一（体育学科4年）さんは「自分達で考えた新しいレクリエーションを試みたりして楽しく活動しています。子供たちと触れ合うことが楽しいです」と話しています。










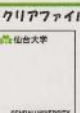



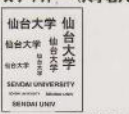
# 仙台大学オリジナルグッズ販売中

今年度の入学式でも販売した、仙台大学オリジナルグッズ「新商品」を紹介します。

**新商品** : エコバック、バックパック、保温タンブラー、キャップ(5色)、ポロシャツ、名刺・定期入れ、マフラータオル、ブックメーカー、スパッツ

既存のグッズも含め、学生支援センターおよび学内売店(駐輪場1F、タカトモスポーツ)で販売中です。是非、お買い求め頂きご活用下さい。

平成21年4月現在

|                                                                                                                                                   |                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>No.1 消しゴム付 鉛筆セット(6本セット)<br/>(仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥320.-</p> | <p>No.2 ピンバッジ (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み ¥400.-</p>     |
| <p>No.3 タイタック (学章)</p>  <p>税込み ¥800.-</p>                        | <p>No.4 キーホルダー (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>     |
| <p>No.5 キーホルダー (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>                | <p>No.6 クリアファイル (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥150.-</p>    |
| <p>No.7 ネックストラップ (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥350.-</p>             | <p>No.8 ステッカー (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み 各 ¥150.-</p> |
| <p>No.9 ステッカー (学章)</p>  <p>税込み ¥120.-</p>                      | <p>No.10 ステッカー (大学名入り)</p>  <p>税込み ¥70.-</p>       |

|                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>No.11 バインダー(色透明)<br/>(仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>       | <p>No.12 バインダー(色透明)<br/>(仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>      |
| <p>No.13 ポロシャツ (白地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>税込み ¥2,500.-</p>  | <p>No.14 ポロシャツ (紺地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>税込み ¥2,500.-</p> |
| <p>No.15 ポロシャツ (黒地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>税込み ¥2,500.-</p>  | <p>No.16 トレーナー (白地・仙台大学ロゴ入り) M/L/LL</p>  <p>税込み ¥3,500.-</p>   |
| <p>No.17 トレーナー (白地・40周年マーク入り) M/L/LL</p>  <p>税込み ¥3,500.-</p> | <p>No.18 スポーツタオル(白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥800.-</p>         |
| <p>No.19 バスタオル (白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥1,000.-</p>         | <p>No.20 マフラータオル(白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥700.-</p>         |

|                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>No.21 グリーン地 レジメンタル ネクタイ<br/>学章入り (シルク100% 140×9cm)</p>  <p>税込み ¥4,000.-</p> | <p>No.22 紺地 ドット柄 ネクタイ<br/>学章入り (シルク100% 140×9cm)</p>  <p>税込み ¥4,000.-</p> |
| <p>No.23 保温タンブラー シルバー地</p>  <p>税込み ¥900.-</p>                                  | <p>No.24 バックパック (ナップザック) 黒</p>  <p>税込み ¥700.-</p>                         |
| <p>No.25 フックマーク(マグネットつき) 3個組</p>  <p>税込み ¥800.-</p>                            | <p>No.26 フックマーク(マグネットつき) 1個バラ</p>  <p>税込み ¥300.-</p>                      |
| <p>No.27 モッタイナイ エコバック M</p>  <p>税込み ¥400.-</p>                                 | <p>No.28 モッタイナイ エコバック L</p>  <p>税込み ¥550.-</p>                            |
| <p>No.29 牛革 定期・名刺入れ「ハル ミラノ」</p>  <p>税込み ¥2,800.-</p>                           | <p>No.30 メッシュ キャップ</p>  <p>税込み ¥1,800.-</p>                               |

|                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>No.31 仙台大学オリジナルスパッツ</p>  <p>税込み ¥6,500.-</p>                          | <p>仙台大学における実証で検証されたスパッツ<br/>(仙台大学体育学部 高橋弘彦教授)<br/>「運動負荷はトレッドミルにて連続50mで10分間、<br/>時速6.5kmで50分間、合計60分間行いました。<br/>実験の詳細は「日本体育学会第54年大会」にて<br/>発表していますが、このスパッツの着用は、運動<br/>時の疲労を軽減することが検証されています。」</p> <p>実際の実験風景<br/>(目標3階人間環境設計演習御堂)</p> <p>GANBAX製<br/>S/M/L 各10枚限定<br/>プロ対応仕様(多くのプロ野球選手も愛用)<br/>色: エンジ×白(青裏と緑色・ネームタグが<br/>若干異なりませ)</p> |
| <p>No.32 仙台大学40周年記念オリジナルパッケージ「萩の月」2ヶ入りセット</p>  <p>2ヶ入りセット 税込み ¥315.-</p> | <p>※「真昼三全」とのタイアップにより、<br/>「真昼三全」JR船岡駅前店のみ<br/>にて販売中!</p> <p>※事前に電話予約で準備できます。<br/>列車の時間に間に合うように、早め<br/>の予約が便利。<br/>TEL. 0224-55-5731<br/>(「真昼三全」JR船岡駅前店)</p>                                                                                                                                                                        |



## 「リスペクト！おかげさまプロジェクト」推進中！

<スポーツ情報マスメディア研究所より>

普段、あまり気にも留めていないところで私たちのスポーツは多くの仲間を支えられています。本学では、社団法人宮城県サッカー協会、株式会社ベガルタ仙台、ベガルタ仙台ホームタウン協議会とともに、「リスペクト！おかげさまプロジェクト」を推進中。まず、スポーツに関わる私たちファミリーに感謝を込めて「ファミリーあいさつ運動」を行います。私たちが自由にスポーツを楽しむことに感謝して、その「おかげさま」の輪を広げていきたい。そんなスポーツ文化を未来に残しませんか？「おはよう」「お疲れさま」「ありがとう」「また明日」学内でも、元気いっぱい笑顔あふれる“あいさつの輪”を広げていきましょう！プロジェクト参加希望の教職員・学生の皆さんはスポーツ情報マスメディア研究所 阿部(篤)・岩瀬まで。



「おかげさま」は、  
感謝をあらわす魔法の言葉

普段、あまり気にも留めていないところで私たちのスポーツは多くの仲間を支えられています。私たちが自由にスポーツを楽しむことができることに感謝して、その「おかげさま」の環をひろげていきたい。そんなスポーツ文化を未来に残したいと思いませんか。



リスペクト！私たちは「おかげさまプロジェクト」を推進しています。

社団法人宮城県サッカー協会 株式会社ベガルタ仙台 仙台大学 ベガルタ仙台ホームタウン協議会



# Monthly Report

Vol.38 広報室

平成21年7月23日発行

## 目次:

|                        |    |
|------------------------|----|
| ユニバーシアードで<br>金・銀メダル獲得  | 1  |
| NSCA運動能力テスト<br>男女共に第2位 | 3  |
| 学科一日体験会                | 4  |
| みやぎ県民大学<br>仙台大学開放講座    | 5  |
| 講演会<br>監視カメラ設置         | 6  |
| 国費留学中の学生<br>学食メニューに応募  | 8  |
| 校長就任を祝う会<br>同窓会代議員会    | 9  |
| 管理栄養士国家試験<br>に佐藤亜樹さん合格 | 11 |

**快挙!** 2009年 ユニバーシアード柔道女子63kg級  
「銀メダル」、団体戦「金メダル」を獲得! (詳細は裏面で)



女子63kg級 準優勝<銀メダル>



団体戦 優勝<金メダル>

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

## 快挙！ 2009年ユニバーシアード柔道女子63kg級「銀メダル」、団体戦「金メダル」を獲得！（詳細）



7月7 - 11日に開催された第25回ユニバーシアード競技大会（開催地：セルビア共和国ベオグラード市）に柔道女子63kg級の日本代表として出場した田中美衣さん（体育学科4年）が個人戦で「銀メダル」を獲得、団体戦でも4戦全てオール一本勝ちを収め、日本チームの「金メ

ダル」獲得に貢献した。

ユニバーシアード競技大会は、国際大学スポーツ連盟（FISU）が管轄する「学生のオリンピック」に位置する総合競技大会である。日本からは日本オリンピック委員会（JOC）の管轄で柔道以外に12競技265名の代表選手が派遣され、田中さんも「TEAM JAPAN」の一員として戦いに挑んだ。

個人戦では6月の中旬から都道府県団体対抗大会（2位）、インカレ団体戦（ベスト8）と大会が続き、決して万全の体調ではなかったものの、持ち前の粘りで4試合を勝利し、何とか決勝戦へ進出した。決勝戦の相手はワン（台湾）。序盤から相手のペースでなかなか良い形になれず劣勢であったが、中盤に強引な掬い投げが決まり有効ポイントを奪取。しかし、その後はこれまでの疲労が一気に出たかのような防戦となり、終了1分前にペナルティを受け、スコアがタイとなる。そして、延長戦になるかと思った残り5秒前に相手の捨て身の出足払に掛ってしまい有効ポイントを奪われ試合終了となった。

大会最終日の団体戦では4試合すべてに出場し、個人戦と3年前に日本代表として出場した「世界学生選手権大会」の団体戦（3戦全敗）の結果を払拭するような内容でオール一本勝ちを収め、金メダル獲得に大いに貢献した。

個人戦では勝負の厳しさを思い知らされた敗戦ではあったが、初出場でのメダル獲得は立派といえよう。また、大会の結果を含め、通常国際大会とは違う、総合競技大会の空気を肌で感じる事ができたことは、田中さんの今後に大きなプラスとなったことは間違いない。次回のユニバーシアードは2011年に中国のシンセンで開催され、田中さんも出場の資格があり、リベンジの可能性が残っている。

### 個人戦の詳細

- 1回戦：ネジェズ(アルジェリア)に合わせ技で一本勝ち
- 2回戦：リン・メイリン（中国）に優勢勝ち  
この選手は今年のアジア選手権の優勝者
- 3回戦：サイコ（ウクライナ）に横四方固一本勝ち
- 準決勝：カチョラ（ポルトガル）に浮落で一本勝ち
- 決勝戦：ワン・チンファン（台湾）に優勢負け

### 団体戦（ ）内は田中さんの詳細

- 1回戦：イギリスに 5 - 0 （上四方固で一本勝ち）
- 2回戦：中国に 4 - 1 （中盤に払巻込で一本勝ち）
- 準決勝：ロシアに 4 - 0 （上四方固で一本勝ち）
- 決勝戦：韓国に 5 - 0 （横四方固で一本勝ち）

### ユニバーシアード出場壮行会



6月30日(火)には教職員はじめ、柴田町の滝口町長や宮城県柔道連盟の方など総勢約100名が出席して、ユニバーシアード壮行会がサンシャイン青葉で開催され田中さんを激励しました。滝口町長からは、「これまで培ってきた成績を“ホップ”、ユニバーシアード大会を“ステップ”、そしてロンドン五輪に向けて“ジャンプ”していただきたい。」との言葉を頂戴しました。柴田町柔道協会顧問の大槻裕喜様からはご自宅で収穫されたというお米（30kg）が送呈されると、思いがけないプレゼントをしっかりと抱きかかえた田中選手に惜しみない拍手が送られました。

### 学長報告



帰国早々の7月14日には朴澤学長に大会報告を行いました。



## NSCA運動能力テスト男女とも総合成績 第2位

画像提供：朴澤学長



7月9日から11日に、NSCA（全米ストレングス&コンディショニング協会）のナショナルカンファレンスが米国ラスベガスで開催され、期間中に行われた運動能力テストに出場した細川優樹さん、高山安奈さん（共に体育学科2年）が共に第2位となりました。

大会にはアメリカ、カナダ、イギリス、アイルランドが参加し、「ハングクリーン」、「垂直跳び」、「10ヤードダッシュ」、「プロアジリティー」の4種目で総合成績を競いました。

細川さんは垂直跳びでトップ記録、その他の種目でも2位記録を出しましたが、「プロアジリティー」で断トツのトップ記録を出したカナダの選手に競り負け、総合成績で第2位となりました。高山さんも全種目で2位記録を出すなど、バランスの良い身体能力を発揮し、総合成績でも第2位となりました。

### 細川優樹さん

「バレーボールで高校3年の時に外国の代表チームと試合をしたことはありますが、外国人選手と戦える機会は少ないので、良い緊張感もあり、楽しむことができました。垂直跳びでは練習での自己ベストを更新できたので記録には満足しています。」

### 高山安奈さん

「外国の方と交流が持てたことや、およそ300人の観客の前で競いあえたことは、たいへん良い経験となりました。カンファレンスでお会いした他大学の先生から「ウェイトリフティング48kg級ならインカレで6位には入れる。」とお声掛け頂き、本格的に競技を始めるか心が揺れています。」



## NSCA壮行会



7月1日（水）には第3体育館1FトレーニングルームにおいてNSCA世界大会に出場する2名の選手壮行会が執り行われ、関係教職員と学生約100名が参加しました。

会では健闘をたたえると共に、両名の決意表明とデモンストレーションが行なわれ、日本代表の実力に歓声が上がっていました。



## 学科一日体験会 お疲れ様でした

7月11日(土)に体育学科とスポーツ情報マスメディア学科、12日(日)に健康福祉学科と運動栄養学科の学科一日体験が開催され、2日間で生徒・保護者あわせて306名(生徒246名、保護者60名)の来場がありました。昨年よりも保護者数は減少したものの、生徒数は前年比32名増と、8月8日に開催されるオープンキャンパスに向けて更なるモチベーションアップにつながることでしょう。担当された教職員の方々、たいへんお疲れ様でした。





## 平成21年度 みやぎ県民大学 仙台大学開放講座

平成21年度みやぎ県民大学 仙台大学開放講座が開講しています。今年度は3つの講座が生まれ、受講者数は延べ198名となっています。



|      |                                                                                                                              |      |           |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 講座名  | 仙台大学“ちょこっと運動プログラム”                                                                                                           |      |           |
| 講師   | 鈴木省三教授、仲野隆士教授、佐藤久准教授、内丸仁講師                                                                                                   |      |           |
| 内容   | 仙台大学開発の数ある運動プログラムの中から、身近にできる健康づくりを選び、筋力トレーニングの基礎学習・体験を通じて、運動習慣を身に付け、筋力の維持・向上を図ります。地域における今後の健康づくりの助言・指導が可能となる足がかりになることを目指します。 |      |           |
| 開講期間 | 7月3、10、17、24日(全4回)                                                                                                           | 開講時間 | 18時半～20時半 |
| 受講者数 | 112名                                                                                                                         | 実施場所 | 第一体育館     |

|      |                                                                                                                                                        |      |                       |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|
| 講座名  | 日米の比較論                                                                                                                                                 | 講師   | マーティ・キーナート副学長(特命事項担当) |
| 内容   | 仙台大学の「英語でスポーツを語るキャンパス創り」担当マーティ・キーナート副学長(特命事項担当)による、流暢な日本語による明るくユニークで、ビジネスとプレーヤー両方の実経験から日本のスポーツを鋭く切り込む講話です。日米スポーツ事情を深く理解し、スポーツへの関心と国際感覚を磨く一助となるよう開講します。 |      |                       |
| 開講期間 | 7月14、21日(全2回)                                                                                                                                          | 開講時間 | 18時半～20時半             |
| 受講者数 | 33名                                                                                                                                                    | 実施場所 | B棟                    |

|      |                                                           |      |          |
|------|-----------------------------------------------------------|------|----------|
| 講座名  | 歴史と文化を旅する                                                 | 講師   | 伊達宗弘客員教授 |
| 内容   | 日本やふるさと宮城の素晴らしい歴史と文化を学習し、知識を深めるとともに、心豊かな生活を送る糧となるよう開講します。 |      |          |
| 開講期間 | 7月15、22、29日(全3回)                                          | 開講時間 | 18時半～20時 |
| 受講者数 | 53名                                                       | 実施場所 | B棟       |

## スポーツ情報マスメディア研究所主催イベント「花田達朗氏講演会」

～スポーツ情報マスメディア研究所主催イベント～



6月26日(金)にスポーツ情報マスメディア研究所(ISIM)主催の講演会が学内で開かれ、早稲田大学ジャーナリズム教育研究所 所長・花田達朗氏を講師としてお招きし、「マスメディアとジャーナリズムの現在と課題」のテーマで講演が開催されました。

会場のB203教室には教職員・学生あわせて約140名が集まり、花田氏の「ジャーナリズムとメディアの歴史的な形成過程」、「情報の歴史的流れについてや現状改正の展望」などの貴重な講話を聴講しました。

## 健康運動指導士による講演会を開催



近年、体育系大学生は生活習慣病対策における運動指導の担い手として期待され、平成19年度からは本学を含む体育系大学等で健康運動指導士資格取得における講習免除制度もスタートしています。今回の講演は現場の健康運動指導士から学生に運動指導の楽しさを伝えてもらい運動指導の担い手を育成するのが目的で、小松(正)教授、笠原講師らの関連教職員が中心となり開催したものです。

講演では、健康運動指導士の活躍場所、メタボリックシンドローム改善事業への関わり方、虚弱高齢者に対する運動指導等について実体験に基づいた話がなされ、後輩に向けてのアドバイスとしては「健康運動指導士は保健師や栄養士と関わる事が多いので、特定保健指導、介護予防事業の制度などについてしっかり把握しておくことが重要」との話がありました。質疑応答の時間では、学生の熱心な質問や活発な意見交換がなされました。

7月9日(木)に、(財)宮城県成人病予防協会 すぎむらよしくに の杉村嘉邦氏(平成12年度健康福祉学科卒)をお招きして「運動指導の楽しさを伝える～健康運動指導士による講演会～」がB103教室において開催されました。

## 大学敷地に監視カメラ13台を設置



大学は、地域社会への開放として一般の方の出入りが多いことや、今年1月に発生した中央大学での刺殺事件を機に、今まで以上に危機管理体制を充実することが求められています。

本学でも大学危機管理体制の充実を図るため、大学敷地内に監視カメラ13台を設置しました。設置箇所は以下の通りで、現在も24時間体制で稼働しています。

- ・ A棟入口 2台
- ・ 第一体育館壁面 2台
- ・ 噴水ポンプ室 1台
- ・ 駐輪場 1台
- ・ サッカー場 2台
- ・ 多目的グラウンド 2台
- ・ 第2グラウンド 3台



## ハワイ州立大学大学院修了の鈴木のぞみさんがATC合格



ハワイ州立大学スクーリングをきっかけにハワイに渡り、ATC(全米アスレティックトレーナーズ協会公認アスレティックトレーナー)資格取得を目指していた鈴木のぞみさん(H17年度卒)がこの度、ATC試験に見事合格し、本学でのATC第一号となりました。鈴木のぞみさんは本学を卒業後、アスレティックトレーナーになるべく単身ハワイに渡り、語学学校を経てハワイ州立大学大

学院(キネシオロジー アンド レジャー グラデュエーション プログラム)に入学、今年5月17日に修了しました。今後、1年間はハワイ州立大学に残り、GA(大学院生助手など)として大学院生をサポートしていくそうです。

また、後に続いた鈴木理恵さん(H20年度卒)も同大学院入学を目指し、現在ハワイの語学学校で頑張っています。

詳細は鈴木のぞみさんのブログをご覧ください  
<http://blog.goo.ne.jp/letssofar2012/e/048b90c0d3ca824512fbf35a65cf189e>

## ハワイ州立大学スクーリング結団式



7月14日(火)、8月に実施されるハワイ州立大学(UH)における2つの研修(ATアドバンスドコース・英語)の結団式が行われました。Monthly Report前号でご紹介しました通り、AT(アスレティックトレーニング)アドバンスドコースに参加するのは、体育学科3年生の佐竹彬(あきら)さん・村上拓矢さんの2名で、8月2日~5日まではUH ATルームで実習・遠隔授業のUH講師を務める金岡友樹氏の勤務先であるマッキンリー高校ATルームで見学などをし、6日~9日ま

ではハワイ国際野球選手権大会の「仙台六大学選抜チーム」に、学生トレーナーとして帯同します。二人は「2回目のスクーリングと野球選抜チームへの帯同の両方を、思い出深いハワイで経験することができ、本当に嬉しいです。ご尽力下さった渡邊先生を初め、先生方及び野球部みんなの気持ちにこたえるためにもベストを尽くし、学んだことを是非後輩達に引き継ぎたいと思います。」と話しています。

また、今回初めてUHアウトリーチ校における英語の「NICE」プログラムに参加するのは、体育学科2年生の山口有映(なおあき)さん、同1年生の安部翔子さん、スポーツ情報マスメディア学科2年生の高橋悠(ゆう)さん3名で「研修は、8月3日~21日まで3週間という長い期間ですが、将来は長期の留学を考えているので、英語力を高めるためにも海外の学生と積極的に話しをしたいです。」など意欲に燃えています。

現地では、今号で取り上げている鈴木のぞみさん・鈴木理恵さんとの「座談会」も予定されており、卒業生・在校生の交流の輪は海を越え、ますます広がっています。

## 東北師範大学に国費留学中の金井さんが一時帰国

中国の東北師範大学に国費留学中の金井弘順さんが1年間の語学研修を終え、現在、一時帰国しています。7月15日には朴澤学長、佐々木局長はじめ諸先生方への挨拶と友人との再会のため、大学に足を運んで元気な姿を見せてくれました。同時期に国費留学した日野晃希さんと笹井善仁さんも元気に頑張っているそうです。



### 金井弘順さん

「9月から現代中国語学科の2年生となる事が決まりました。中国の生活にも慣れ、中国語も生活に全く支障がない程度に話せるようになりました。今では冗談で笑わせることもできるようになりました。8月末まで日本で「生气」を貯め、中国であと3年間頑張るためにも、アルバイトで「お金」を貯め、日本から応援してくれる友人達と過ごすことで、よりパワーアップして中国に戻りたいと思います。

- ・金井さんブログ  
[http://blogs.yahoo.co.jp/newlife\\_in\\_china](http://blogs.yahoo.co.jp/newlife_in_china)
- ・笹井さんブログ  
[http://blogs.yahoo.co.jp/yoshihito\\_sasai](http://blogs.yahoo.co.jp/yoshihito_sasai)
- ・日野さんブログ  
<http://profile.ameba.jp/snowbeer/>

## 運動栄養学科生が学食メニューに応募

学生食堂を委託しているシダックス㈱が、学生に向けて食堂で提供する丼の応募を行い、丹野先生の講義「栄養指導論演習」を受講している学生54名が応募しました。どれも栄養バランスの良い、学生が好みそうなメニューばかりで、採用になった学生にはシダックス㈱から3000円分の学生食堂食事券が贈られることになっています。

現在は選考中につき、採用された丼は9月からメニューに並ぶ予定で、食欲の秋に向け今からとても楽しみです。

～9月には新メニューに仲間入り～





## 仙台大学同窓生の校長職ご就任を祝う会開催



6月26日(金)18時30分より、KKRホテル仙台において「第十一回仙台大学同窓生の校長職ご就任を祝う会」が開催されました。今回は、今春校長先生になられた、第7回卒業生の日下清則先生(蔵王町立遠刈田小学校)をお祝いしました。当日は、朴澤泰治理事長・学長、マーティ・キーナート副学長(特命事項担当)、阿部芳吉宮城教育大学副学長ら多数お祝いに駆けつけて下さり、盛大な会となりました。日下校長より、校長職としての責務が述べられた他に、現在、蔵王町内の小学校・中学校合わせて8校中3校で仙台大学の卒業生が校長先生として任務に励んでいること等が紹介されました。なお、これまで同会では、県内において校長職にご就任された卒業生24名(今回含む)をお祝いしています。

## 平成21年度 同窓会代議員会開催



7月11日(土)にサンシャイン青葉を会場にして平成21年度同窓会代議員会が開催され、大沼仁同窓会長はじめ同窓会役員と本学関係教職員が出席しました。会では平成20年度の事業報告・決算報告、平成21年度の事業計画・予算並びに役員選出についての報告・審議がなされ、全議案とも原案どおりに承認されました。役員の変更では、鈴木省三学科長が同窓会会長に就任しました。大沼氏には今後、顧問という立場から同窓会の発展に寄与していただく事となりました。

## 明成高校父母教師会が来学



6月24日(水)に明成高校父母教師会が来学し、本学の入試についての説明及び見学を行いました。はじめに朴澤学長が大学紹介映像とカーニ应用科学大学PR映像を使って、本学の概要の説明や国際交流も盛んである事を紹介しました。

その後、渡辺入試創職担当課長が入試や学科の説明を行なった後、施設見学を行い、学生食堂も利用していただきました。

PTAの方々、卒業生の活躍や充実した施設に感心した様子でした。

## 熱中症事故の予防および落雷事故の防止について

(文部科学省スポーツ・青少年局よりお知らせ)

### 熱中症事故等の予防について

学校の管理下における熱中症事故は、ほとんどが体育・スポーツ活動によるもので、それほど高くない気温(25～30)でも湿度が高い場合に発生しているようです。しかし適切な措置を講ずれば十分防ぐことが可能です。熱中症事故を防止するため「熱中症を予防しよう - 知って防ごう熱中症 - (平成15年6月発行)」(<http://www.naash.go.jp/kenko/jyouthou/nettyusyo.html>)や環境省が作成した「熱中症環境保健マニュアル(2008年6月改訂版)」([http://www.env.go.jp/chemi/heat\\_stroke/index.html](http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html))などをご覧ください、各スポーツ活動における熱中症の予防に役立ててください。

### 落雷事故の防止について

文部科学省によると、校舎外の学校行事実施中など学校管理下における落雷事故は昨年度も発生しているようで、屋外において体育活動をはじめとする教育活動においては、指導者は落雷の危険性を認識するとともに、天候の急変などの場合は躊躇することなく計画の変更・中止等の適切な措置を講じるなど、落雷事故の予防が必要です。雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があるため安全な場所へ避難する必要があります。

また、人体は、同じ高さの金属像と同様に落雷を誘引するものであり、たとえ身に付けた金属を外したり、ゴム長靴やレインコートなどの絶縁物を身につけていても落雷を阻止する効果は無いとのことです。

上記HPにありますマニュアルを参考に、事故の防止のためにご活用下さい。

### - 学校の管理下における熱中症の発生状況 -

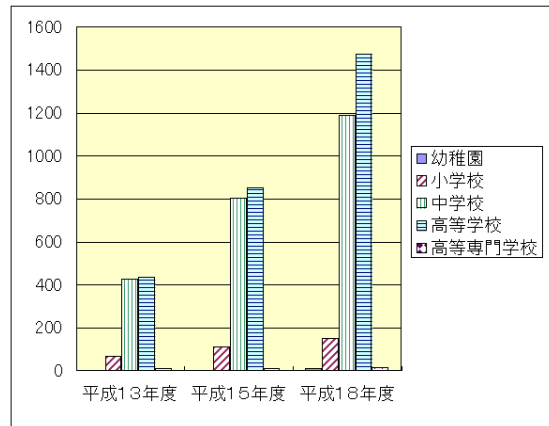
出典：学校の管理下の災害19・20・21 - 基本統計 - (負傷・疾病の概況)

(独立行政法人日本スポーツ振興センター)

(単位：件)

|        | H.13年度 | H.15年度 | H.18年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 幼稚園    | 3      | 2      | 9      |
| 小学校    | 67     | 110    | 150    |
| 中学校    | 427    | 805    | 1,191  |
| 高等学校   | 436    | 852    | 1,476  |
| 高等専門学校 | 9      | 10     | 14     |

下記は、学校の管理下における熱中症に対して医療費を支給した件数である。





< 提供： 仙台大学 管理栄養士国家試験「合格修練会」 早川講師・大崎新助手 >

## 私はこうして合格した 仙台大学運動栄養学科の卒業生

### 管理栄養士国家試験に合格！ 佐藤亜樹さんにインタビュー

平成 18 年度卒  
運動栄養学科第 1 期生  
株式会社ランチに就職  
(委託給食会社)  
<http://www.b-tomato.net/>  
昨年度より中学校ブログを担当



**合格おめでとうございます！**

**率直な気持ちをお聞かせ下さい。**

合格の瞬間嬉しいのと、ほっとしたので力が抜けてしまいました。正直、これからは大変な勉強をしなくてすむ！と思いました。

**合格できた理由は何だと思えますか。**

一度落ちた時の悔しさと、今年こそは...の想いがあったからです。家族・会社の人・友達の応援もありました。

**「栄養士」から「管理栄養士」になって、一番変わった点は？**

気持の面です。自覚が強くなりました。

**本格的に受験勉強を始めたのはいつ頃からですか。**

7月の下旬頃からです。

**仕事と受験勉強の両立はどうでしたか？**

仕事は家には持ち帰らず、家に帰ったら仕事のこととはあまり考えなかったです。時間を作ることが大変でした！

**勉強時間はどのタイミングでとりましたか？**

家に帰ったら、ご飯を食べて、休んで何時に勉強をしよう...みたいに。毎日同じ時間で計画をたてて時間を作りました。

**仕事から帰って、勉強に励む中、眠気が襲ってくることは？...そんな時の眠気対策は？**

眠い時は15~30分くらい寝てから勉強しました。勉強中はコーヒー、紅茶、緑茶などいろんなものを飲みながらしていました。

**管理栄養士を目指す後輩へ、在学時代にしておくべきことを挙げるなら？自分が勤める勉強法は？**

管理栄養士として働いていくんだという気持ち  
日頃から栄養・健康などの情報について気に掛けること

試験・テキストなどの情報収集  
勉強は少しずつでも続けること。

**模試会場や職場で、仙台大学と、他の栄養士養成校（管理栄養士養成校）の違いを感じることはありますか？**

試験情報、使用しているテキスト・模試などの情報が管理栄養士養成校の学生は多い。

**今後の夢や目標があればお聞かせ下さい。**

これからも（管理）栄養士として働いていきたい。  
直接顔の見える学校・施設などで...

**その他何でもコメント下さい。**

合格率だけを見ると落ち込みますが、頑張った分だけ着実に力になっていますよ！

# Monthly Report

Vol.39 広報室

平成21年8月28日発行

## 目次:

|                    |   |
|--------------------|---|
| シマノレーシングが本学で合宿開催   | 1 |
| 海を越えて輝く学生たち        | 2 |
| オープンキャンパス          | 3 |
| 就職ガイダンス<br>事務職員研修会 | 4 |
| 李 靚熙氏<br>ボブスレーOB   | 5 |
| 滝口町長表敬訪問           | 6 |
| 漕艇部の活躍             | 7 |
| トライアスロン部           | 8 |

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802  
内線 佐藤美保 256  
土生佐多 200  
伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

## シマノレーシングが本学で低酸素トレーニングキャンプ実施



日本のロードレース界をリードする「シマノレーシング」が8月10～21日の日程で本学の常圧低・高酸素室を使用しながら、トレーニングキャンプを実施しました。

内丸講師が同チームのトレーニングアドバイザーを務めていることから、今回の実現に至り、内丸講師指導

のもと、安全に十分配慮しながらトレーニングは進められました。

トレーニングは主に大学半径150km圏内で行なわれ、トレーニング以外の時間のほとんどを標高2500m相当の酸素濃度(15.4%)の低い低酸素室に入って生活することで、心肺機能を高める目的(いわゆる高地トレーニング)で行なわれており、寝ている時も低酸素の状態が続くため、選手は熟睡できない日々が続いたようです。また、18日には標高2500mに相当する酸素濃度の状態で20分間にわたって高強度を維持するトレーニングを行い、終了後に乳酸量の測定が行なわれるなどして、科学的なトレーニングを実施しました。

期間中は運動栄養の学生が練習に帯同させて頂き、食事のサポートやトレーニング中に水分や栄養(補給食)を手渡すなどしました。また、トレーナーコースの学生が、チームの専属トレーナー活動の様子を見学し、プロチームの実際の現場を体験しました。

シマノレーシングのホームページでも合宿の様子がアップされています。下方に4つの本学関連記事が動画とともに掲載されていますので、URLをクリックしてご覧下さい。

[http://blog.shimanoreport.jp/blog/2009/08/post\\_ad6c.html](http://blog.shimanoreport.jp/blog/2009/08/post_ad6c.html)





# 海を越えて輝く学生達 Summer 2009

～海外研修終了 ハワイ州立大学・カリフォルニア州立大学ロングビーチ校～

## (1) ハワイ州立大学での「AT(アスレティックトレーニング)アドバンスドコース」及び「英語研修」



Monthly Report前号でご紹介しました通り、8月22日からハワイ州立大学(UH)において渡会先生・広報室佐藤の引率のもと、AT(アスレティックトレーニング)アドバンスドコースに参加した体育学科3年生の佐竹彬(あきら)さん・村上拓矢さんの2名が12日に、また、鎌田先生の引率のもと、今回初めてUHアウトリーチ校における英語の「NICE」プログラムに参加した体育学科2年生の山口有映(なおあき)さん、同1年生の安部翔子さん、スポーツ情報マスメディア学科2年生の高橋悠(ゆう)さん3名が23日に、それぞれ全ての講義・実習を終え無事に帰国しました。

現地では、5名全員が前号で取り上げた本学の卒業生である鈴木のぞみさん・鈴木理恵さんとの「座談会」に参加し、本学初のATC(アメリカ公認アスレティックトレーナー資格)を取得したのぞみさんや、それを目指して勉学に励む理恵さんから、ハワイでの苦勞談や英語をマスターする方法など、体験者ならではの貴重なお話しに食い入るように聞き入っていました。

### 英語研修に参加した学生の声

#### 山口さん

「来年参加しようと考えているATスクーリングに向けて、英語の基礎を勉強しておきたいと思って英語研修に参加しました。レベルに合わせたクラスでの講義だったので、大変勉強になりました。」

#### 安部さん・高橋さん

「英語研修をより良いプログラムにするために、宿泊先をホテルではなく、ホームステイや外国人が多く住む寮にする事を提案したいです。日常会話など、直に英語で会話できる機会が増え、更に学べると思います。」

## (2) カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での「運動栄養セミナー」

運動栄養学科では、アメリカにおける運動栄養の実情と課題を学ぶ初めての試みとして、8月16日～23日まで、加賀洋平新助手の母校であるカリフォルニア州立大学ロングビーチ校において「運動栄養セミナー」が実施されました。

参加したのは小浜先生を団長に柳先生、津吉先生、竹内晴子新助手、広報室佐藤の引率のもと、同学科4年生の井上幹太(かんた)さん、古谷悠子(ゆうこ)さん、3年生の高橋杏奈(あんな)さん、2年生の高橋絢子(あやこ)さん、千葉龍太(りゅうた)さん、1年生の小坂円(まどか)さん、佐々木文(あや)さんの7名です。

5日間に渡るプログラムでは、アメリカの大学における各競技選手達に必要な栄養やその摂取の指導方法を学ぶだけでなく、実際に選手が競技をしている現場に出向いての視察など、普段、自分達が授業で今すぐ役立つような充実した時間を過ごしました。また、教えていただくだけではなく最終日には、同大学の関係者の前で栄養サポートをしている様子などを英語でプレゼンテーションし、さらには感謝の気持ちを込め日本から持参したはっぴ姿も凛々しく「よさこい」も披露しました。修了式でその様子を終始笑顔で見守っていたシャロン・ガスリー キネシオロジー学科長は「すばらしい発表と踊りでした。この短期間で私達が彼らから逆に学んだことは大変多く、また是非仙台大学でみなさんにお会いしたいです。」とおっしゃっていました。

### 学生の声

#### 高橋さん、小坂さん

「米国の大学では学生に指導する専門の栄養士が常駐しており、本学の栄養管理システムに似たようなものを使って学生自身がパソコンで栄養を確認することや、プログラム内で栄養士から直接指導してもらえるシステムとなっていました。学生への説明も科学的な裏付けがある数値で示されるので、学生側も理解しやすく、栄養に対する意識を更に高めているようでした。」

今回、語学力の必要性を感じました。通訳を通じて現地の方から話を伺いましたが、もっと学生や先生に直接話しかけ、色々な事を聞きたかったです。」



学生たちは多くのことを現地で学び、それぞれの目標ができたようです。これから更に国際交流の芽が増える事が期待されます。

## オープンキャンパスお疲れ様でした



8月8日(土)にオープンキャンパスを開催し、生徒・保護者あわせて1000名を超える来場を頂きました。

10時からのオリエンテーションでは、元Jリーグ浦和レッズ選手(現:浦和レッドダイヤモンズ広報部)の内舘秀樹氏をはじめ、卒業生4名から「OB・OGからのメッセージ」として講演いただきました。4名それぞれの職場での活躍や大学での経験が今に生かされていること、本学在学中のエピソードなど、経験談などをお話いただきました。

この他、仙台大学ならではの各学科、特徴ある施設・設備を使った体験会や模擬講義、入試相談会などを実施し、高校生達に大学生活や卒業後の

イメージしていただけたのではないかと思います。

オープンキャンパスに参加した河南高校の本城君は「部活動と勉学を両立させたいと親に相談したら、仙台大学がよいのではないかとという事で、今回参加しました。今は健康福祉学科に興味があるので、仙台大学の同窓生の先生に相談して進路を決めたいと思います。」と話していました。

なお、内舘氏より大学にサイン入りユニフォームを寄贈いただきました。学長室に飾ってありますのでご覧下さい。



## タイ国 シーナカリンウィーロート大学より若手研究者を招聘

8月24日 9月7日の日程で、本学と国際交流協定を提携しているシーナカリンウィーロート大学から若手研究者Tanormsak Senakham(タム セカハム)氏を招聘し、本学施設を使って研究活動を行なっています。





## 就職ガイダンス(臨時)開催



8月4日(火)にB300教室において4年生対象の就職ガイダンスが開催されました。今回のガイダンスは、昨年秋からの深刻な経済不況により就職戦線が例年以上に厳しい状況にあることから、臨時で開催されたもので、約200名の4年生が参加しました。

はじめに入試創職委員会・創職作業チームリーダーの山内教授より、昨年の夏休み前における就職内定率が首都圏で80%であったが、今年は60%まで落ち込んでいること、2009年度の年次経済財政報告(経済財政白書)で金融危機による景気の急激な悪化を受けて、企業の余剰人

員となっている「企業内失業者」が1980年以降で最悪の最大607万人に上ることが告げられた後、「企業の募集人員が減少傾向で、秋の企業の採用が縮小する事が予想される。今、動かなかつたら社会に向けての第一歩がうまく踏み出せない。行動・決定するのは君達。」と学生を叱咤激励しました。

就職活動を継続している学生向けに、毎日コミュニケーションズの橋本氏より「今までよりも採用側が学生に求める基準が高くなっており、上場企業や製造業では徹底して質を重視している」との話や、「面接でも、昨年までは採用するか迷った時は採用するスタンスだったが、今は迷ったら採用しないスタンスに変わった」などの話や、就職活動をスムーズに進めるための効果的な情報収集方法等についての指導がされました。現在の就職戦線の状況を再確認し、学生たちは就職意欲を高めたようでした。



## 平成21年度 朴沢学園事務研修会開催



8月10日～11日に「さんさ亭」において平成21年度朴沢学園事務研修会が開催され、法人事務局11名、明成高校12名(職員・実習助手)、大学73名(職員・新助手・臨時職員)の総勢96名が参加し、研修を行いました。

今年度は中房教授が執筆された「大学の歴史からみたFD制度化の道程と課題」(平成21年度仙台大学導入演習教材)が事前に配布され、参加者全員が目を通した上での研修が行われました。中房准教授を講師に招き「SDカフェへようこそ」と題された研修では、1班7名編成で13班に分かれ、大学の事務職員として求められる資質向上のために自分たちがすぐにできること、そのためには何が必要か、今後の提案など、SDに関する様々な考えをKJ法を用いて、班ごとに話し合い、発表しました。



## 元韓国代表の柔道指導者 李 馥熙(イ・ボクヒ)氏が第39回全日本実業柔道個人選手権大会に出場



8月29 - 30日に尼崎市記念公園総合体育館で開催される「第39回全日本実業柔道個人選手権大会」に本学柔道部指導者の李馥熙(イ・ボクヒ)氏が仙台大学柔道クラブ所属で出場します。李氏は韓国代表として01年のハンガリー国際大会、02年の韓国国際大会での優勝をはじめ、多くの国際大会で上位入賞を果たしており、04年のアテネ五輪にも出場している実力者です。今は第一線から退いているものの、韓国の国内大会には度々出場しており、今年4月の韓国実業個人選手権では63kg級を制し、8月の韓国実業団体選手権も団体戦優勝しています。日本の国内大会出場は初めてですが、日本の同階級で5本の指に入る選手が2人も出場しているこの大会で、ベテランである李氏が若手とどのような戦いをするのか、たいへん楽しみです。

## ボブスレーオリンピック代表候補選手が本学で合宿



(写真：左から本間南選手、鈴木寛選手、菊池善範選手、土井川真二選手、長岡千里選手)

8月1、2日に、ボブスレーの鈴木寛さん、土井川真二さんをはじめとするナショナルチームに属する5選手が本学のプッシュトラックでのトレーニングのため来訪しました。来月、再来月にある長野での全日本合宿を前に、プッシュ(ソリを押す動作)の本数をこなし、体を慣らす事が目的でした。2日間とも天候に恵まれ、満足のいく練習ができたそうです。

### 鈴木寛(すずき・ひろし)選手

1973年12月13日生まれ、札幌市出身。今金中時代は、陸上3種競技で中体連道大会優勝。室蘭大谷高では、野球部の外野手として3年の道大会準V。仙台大からボブスレーをはじめ。94年リレハンメル、98年長野、ソルトレークシティー五輪代表。マネックスFX所属。

オリンピックシーズンなので、先月行なわれた合宿でもナショナルチームの皆が目の色を変えて練習に取り組んでいるので良い結果が出るのではないかと期待している。バンクーバーオリンピックでのメダルを目指して、遠征で世界ランキングを

取りにいきたい。

ボブスレー・リュージュスケルトン部の後輩達には、現役のボブスレー選手が少ないので、ボブスレーの魅力である「迫力」や個人競技では味わえない「チームワーク」、「歓びの共有」を知ってもらいたい。

仙台大の学生には、どんな競技でも精一杯頑張ってもらいたい。オリンピック出場も目標として持てるのだから夢を諦めずチャレンジできる学生生活を過ごしてもらいたい。

### 土井川真二(どいがわ・しんじ)選手

1979年10月25日生まれ、札幌出身。野球で培った身体能力を活かし、仙台大学にて、ボブスレーをはじめ。2002年ソルトレークオリンピックに出場。02~03シーズン、06~07シーズン、07~08シーズンに、全日本選手権優勝。日本レストランシステム株式会社所属。

ボブスレー競技は10月 12月からオリンピック出場の枠を取る戦いが始まります。前回のトリノオリンピックでは日本男子チームは2人乗りでの出場だけで、4人乗りでの出場が叶いませんでした。4人乗りの出場権獲得とオリンピックの代表になることを目標にしてチームに貢献できるように全力を尽くしたい。

後輩達にもバンクーバーオリンピック出場の可能性が十分あるので、ボブスレー競技ではこれまでのオリンピックに仙台大学関係者が出場しているので、この伝統を途切らせないように頑張ってもらいたい。



## 第2回 国際スポーツ情報科学カンファレンス開催

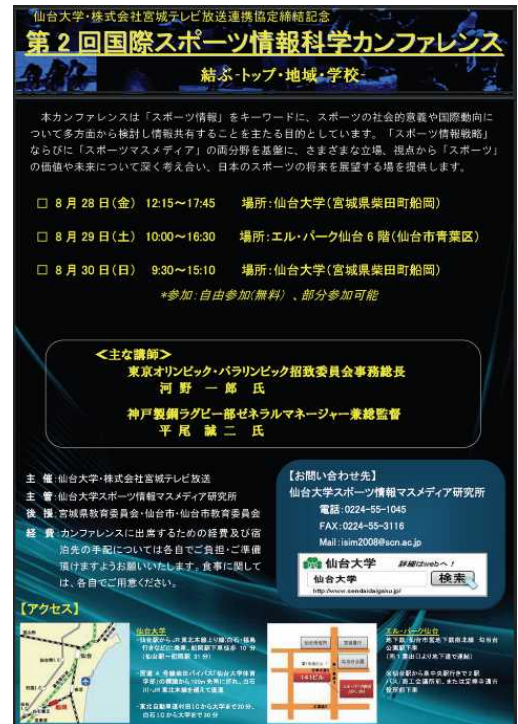
8月28 - 30日に仙台大学と宮城テレビ放送主催で「第2回 国際スポーツ情報科学カンファレンス」が開催されています。

29日に、エル・パーク仙台で行なわれる特別講演には、河野一郎氏（2016年東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務総長）と、平尾誠二氏（神戸製鋼コベルコスティーラーズゼネラルマネージャー兼総監督）が登壇します。

27日にはスポーツ情報マスメディア研究所研究スタッフの二戸部さん、宮本さん、学科生4名が宮城テレビ「OH!バンドス」に出演し、宣伝活動を行ないました。

詳細は下記をクリック下さい。

<http://www.sendaidaigaku.jp/pdf/20090731.pdf>



仙台大学・株式会社宮城テレビ放送連携協定締結記念  
**第2回国際スポーツ情報科学カンファレンス**  
 結ぶ・トップ・地域・学校

本カンファレンスは「スポーツ情報」をキーワードに、スポーツの社会的意義や国際動向について多方向から検討し情報共有することを主たる目的としています。「スポーツ情報戦略」ならびに「スポーツマスメディア」の両分野を基盤に、さまざまな立場、視点から「スポーツ」の価値や未来について深く考え合い、日本のスポーツの将来を展望する場を提供します。

- 8月28日(金) 12:15~17:45 場所:仙台大学(宮城県柴田町船岡)
- 8月29日(土) 10:00~16:30 場所:エル・パーク仙台6階(仙台市青葉区)
- 8月30日(日) 9:30~15:10 場所:仙台大学(宮城県柴田町船岡)

\*参加:自由参加(無料)、部分参加可能

**＜主な講師＞**  
 東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務総長  
 河野 一郎 氏  
 神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー兼総監督  
 平尾 誠 二 氏

主 催:仙台大学・株式会社宮城テレビ放送  
 主 管:仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所  
 後 援:宮城県教育委員会・仙台市・仙台市教育委員会  
 経 費:カンファレンスに出席するための経費及び宿泊先の手配については各自でご負担・ご準備頂きますようお願いいたします。食事に關しては、各自でご用意ください。

【お問い合わせ先】  
 仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所  
 電話:0224-55-1045  
 FAX:0224-55-0116  
 Mail:iam2008@son.ac.jp

仙台大学 [www.sendaidaigaku.jp/](http://www.sendaidaigaku.jp/) 検索

【アクセス】  
 仙台大学  
 仙台駅から仙台市営地下鉄の仙台駅西口から徒歩約15分、仙台市営バス「仙台駅西口」停留所から徒歩約10分。  
 仙台市営バス「仙台駅西口」停留所から徒歩約10分。  
 仙台市営バス「仙台駅西口」停留所から徒歩約10分。  
 仙台市営バス「仙台駅西口」停留所から徒歩約10分。  
 仙台市営バス「仙台駅西口」停留所から徒歩約10分。

## ユニバーシアード大会報告のため柴田町の滝口町長を表敬訪問



7月29日(水)に、ユニバーシアード大会女子柔道の日本代表として個人「銀メダル」、団体「金メダル」を獲得した田中美衣さん(体育学科4年)が南條和恵監督と共に柴田町の滝口町長を表敬訪問し、大会報告を行いました。

田中さんから「皆さんの応援のお陰でメダルを持ち帰ることができました。個人戦では、2回戦で現在のアジアチャンピオン(中国)を破ったが、決勝で同じアジアの選手(台湾)に負けてしまったのが残念です。団体戦は全4試合一本勝ちして、日本チームの優勝に貢献することができました。」と報告すると、滝口町長から祝福された後、「今は3年後のロンドンオリンピック出場を現実となるように頑張ってもらい、将来は指導者として優秀な選手を育成して欲しい」との激励がありました。

## 新体操競技部が第61回全日本学生選手権大会で団体総合第3位に

～種目別あわせて3つのメダル獲得～



8月13 - 17日に栃木県立県南体育館において開催された「第61回全日本学生新体操選手権大会」において、新体操競技部が団体総合で第3位に入りました。種目別でも、フープ第3位、種目別リボン×ロープ第3位と、2つのメダルを獲得しました。

## 漕艇部インカレ結果



8月20日 23日に埼玉県戸田漕艇場で開催された第36回全日本大学選手権大会（インカレ）において、本学漕艇部は男子舵手つきフォアで優勝。男子エイト、男子舵手なしフォア、女子

舵手なしペアの3種目で第2位となり、安定した成績を残しました。

男子種目は日本大学がタイトルを独占。唯一、本学が舵手つきフォアを制して一矢報いました。大会期間中、漕艇部に運動栄養サポート研究会が帯同し、水分や補助食提供を行って選手を支えた他、23日には柴田町の熱烈なファンの方々44名が駆けつけ、大きな声援で選手を後押ししていただきました。



## 西村光生がU23世界選手権で銀メダル獲得の快挙

～男子軽量級舵手なしフォアでのメダル獲得は日本クルー初～



7月23 26日にボートのU23（23歳以下）世界選手権がチェコで開催され、漕艇部の西村光生さん（体育学科2年）が出場した男子軽量級舵手なしフォア日本代表クルーが見事、「銀メダル」を勝ち取りました。現地ではかつてない日本クルーの大活躍に沸いていたそうです。

西村選手は男子軽量級フォアの主力として活躍。U23世界選手権のメダリストは、各国のシニア（トップカテゴリー）チームと掛け持ちする選手も多く、非常にレベルの高いレースです。また、この種目はオリンピック種目でもあり、日本クルーとしてメダル獲得は初めてのことです。

高校時代には世界ジュニア選手権大会で舵手なしクオドルプルで9位、アジアジュニア選手権大会ダブルスカルで優勝経験を持つ。仙台大学には高校の先輩である池田恒平さん（平成21年3月卒）からの熱心な誘いと、監督の阿部肇講師の存在が大きかったので進学を決めたと話す。

### 西村光生さん

現在は部員との寮生活だが、部内の雰囲気がとても良く、良い環境で練習ができています。

今大会では目標は1桁の9位以内に入るという目標だったが、現地に入るとクルーの調子が上がって最高の状態で大会に望めた結果2位。この種目で日本クルーはじめてのメダル獲得となった。タイムは6分4秒で、この成績は世界のトップ選手と十分に戦えるもの。今後の課題の一つは体力面で、筋肉量が少なく、柔軟性がないこと。日頃から筋力トレーニングと柔軟体操を課し基礎的な体を強くすることを課題にあげている。もう一つは、テクニック面ではキャッチ(オールを水に入れる動作)が疎かになっている事。阿部監督の指導と先輩の菅井竜介のフォームを見本としてテクニック向上に努めていく。

仙台大学漕艇部には見本となる先輩と良い指導者がいるので、自分にとって最高の環境で練習に取組んでいる。8月20日からのインカレでのエイト種目優勝と、その先のロンドンオリンピック出場を目標にしている。やるからにはトップを目指しているので、金メダルを目指す。応援してくれる家族や大学の仲間の期待に応えられる様に頑張っていきたい。



## トライアスロン インカレ結果

8月23日、香川県観音寺市有明浜海水浴場に於いて日本学生トライアスロン選手権大会（インカレ）が開催され、男子で上村昌志さん（体育学科3年）が15位、中原康雄さん（体育学科3年）が26位、女子では千葉智美さん（体育学科4年）が17位と健闘しました。

特に男子の2人、上村さんは一昨年112位、昨年74位、中原さんにいたっては一昨年の大会に出場できず、昨年も出場権こそ獲得したものの最初のスイムでの145位の後の途中棄権と、これまではあまり良い成績が残せなかった中、今年は一転、この一年間の急成長をバネに15位、26位とともに上位進出を果たしました。

トライアスロン部の主将でもある上村さんに話を聞きました。

- インカレ15位、お疲れさまでした。



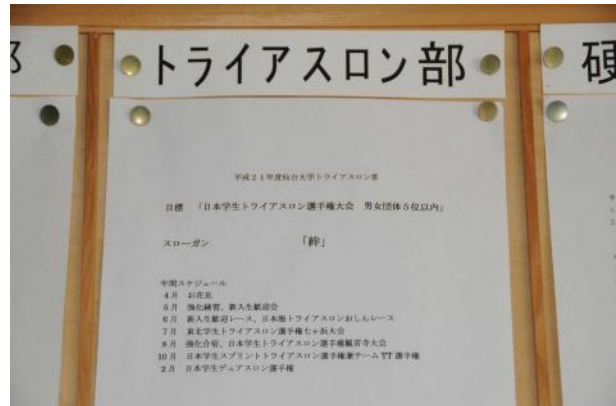
『（最終種目である）4周回するランの3周終了までは12位だったのですが、残り2.5kmで3人にかわされ最終的に15位だったので、成績には満足している部分と、悔しさの両方を感じています。悔しさは来年に返そうと思っています。』

- 上村君、中原君ともに昨年からの急成長していますが、練習方法を変えたとか、何か理由があるのでしょうか？

『みんなで話し合い、今年の部の目標を「男女インカレ団体5位以内」、さらに今年部のテーマを「絆」に決めました。この「団体5位以内」という目標を実現し、「絆」というテーマを実践するため、全体ミーティングの回数を昨年よりも多くし、そのことで誰でも何でも言い合えるような部の雰囲気になったことが一番の要因だったと考えています。』

- 部内の体質の改善のおかげで、技術的、体力的な面以上に、お互いのメンタルな部分が大きく成長したと言うわけですね。

『はい、さらに自分には昨年74位に終わった悔しさがありました。おそらく中原にも昨年途中棄権した自分以上の悔しさがあったと思います。』



- しかしメンタル面だけでは記録は伸びないと思いますが？

『自分は高校時代は競泳をやってきました。この1年間は苦手なランのタイムを縮めるため集中的にランのトレーニングを行ってきました。中原は高校時代はサッカー部に所属していました。彼は逆に走る事が得意でした。この1年間、彼は苦手なスイムを克服するためのトレーニングを積んできたはずですよ。』

- 山本和実さん（平成21年卒）、千葉智美さん（体育学科4年）という女子のダブルエースの存在も刺激になったのでは？

『その通りです。特に山本和実さんの場合、同じ日に猪苗代で行われた「うつくしまトライアスロンinあいづ（兼日本選手権東北予選）」に出場することがわかっていたので、レース中も「共に頑張ろう!!」と言う意識が働き、そういう意味でも大きな励みになりました。』

- 来年はコーチを務められているOBの朝川洋明氏（平成13年卒）のインカレ個人総合12位、さらには平成11年の男子団体6位という本学トライアスロン部のレコードの更新という大きな目標が見えてきていますが？

『はい。期待に応えられるよう、頑張ります。教職員のみなさま、ご声援宜しく願いいたします。』

しっかりと来年を見据え答えてくれた上村さん。トライアスロン部の益々の活躍が期待されます。尚、記事内に登場した山本和実さんはうつくしまトライアスロンinあいづ（兼日本選手権東北予選）に於いて、見事東北ブロック1位となり10月の日本選手権出場を決めております。併せて、彼女の健闘もお祈りいたします。

## 体操競技インカレ結果

8月19 - 22日に群馬県総合スポーツセンターにおいて第63回全日本学生体操競技選手権大会が行われ、団体総合で男子が第4位、女子が第6位に入りました。男子個人総合は宗像 陸(体育学科2年)の9位が最高で、種目別では亀山 耕平(体育学科3年)が「あん馬」を制して金メダルを獲得し、宗像 陸が「ゆか」と「跳馬」で2位、平行棒で7位入賞しました。この大会はU21強化指定の選考もかかっており、宗像 陸と石原 大(体育学科2年)の両名が個人総合「予選」と「決勝」の合計点で上位12位以内に入り、U21強化指定を受けました。

### 第63回 全日本学生体操競技選手権大会

| 順チーム名         | ゆか            | あん馬           | つり輪           | 跳馬            | 平行棒           | 鉄棒            | 合計             |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1 日本体育大学      | 74.650        | 72.400        | 71.850        | 77.850        | 75.200        | 74.500        | 446.450        |
| 2 順天堂大学       | 71.550        | 68.400        | 71.900        | 77.700        | 73.850        | 72.400        | 435.800        |
| 3 日本大学        | 71.400        | 69.200        | 71.200        | 76.500        | 72.500        | 73.600        | 434.400        |
| <b>4 仙台大学</b> | <b>72.900</b> | <b>69.700</b> | <b>70.800</b> | <b>77.250</b> | <b>71.050</b> | <b>70.500</b> | <b>432.200</b> |
| 5 筑波大学        | 71.400        | 68.200        | 67.950        | 76.150        | 71.750        | 70.950        | 426.400        |

## 明成高校体操部の躍進

高大連携を進めている明成高校体操部の吉本日月さん(健康スポーツコース2年)がインターハイで男子個人総合17位に入り、来年3月に開催される第26回全国高等学校体操競技選抜大会への出場権を獲得しました。この選抜大会は、ジュニア強化指定選手の選考と全日本選手権大会の個人出場の予選を兼ねた大会で、インターハイで上位22位に入った高校1、2年生に出場権が与えられるものです。

明成高校体操部男子は創部4年。団体総合でもこれまでの最高成績となる10位に入り、全国上位入賞も目指せるチームと成長しています。

また、吉本日月さんは8月15 - 17日に横浜文化体育館で開催された全日本ジュニア体操競技選手権大会の男子1部個人総合で14位に入り、大友さつきさん(健康スポーツコース2年)が女子2部個人総合で優勝しています。本大会結果により、吉本日月選手が、ジュニア強化指定選手として選考されました。

### 体操部

男子団体総合 第10位  
 男子個人総合 吉本日月 17位、  
 下道 拓 43位、仰郁人 52位、  
 鈴木大地 80位

女子個人総合 大友さつき 46位  
 (ジュニア強化指定選手選考基準が日本体操協会公式ブログに載っているのご参照ください。)

<http://www.plus-blog.sportsnavi.com/jpngym/article/263>

### その他、明成高校インターハイ結果

#### 男子バスケットボール部 ベスト8

|      |        |        |     |
|------|--------|--------|-----|
| 1回戦  | 対 慶応   | 111対56 | で勝利 |
| 2回戦  | 対 市船橋  | 99対75  | で勝利 |
| 3回戦  | 対 山形中央 | 94対62  | で勝利 |
| 準々決勝 | 対 北陸   | 84対88  | で敗退 |

#### 陸上部

|                  |            |      |
|------------------|------------|------|
| 円盤投げ             | 小原雅貴       | 第5位  |
| 記録               | 48m18、中坂大樹 | 予選敗退 |
| 男子1500m          | 村山紘太       | 第16位 |
| 記録               | 4分0秒96     |      |
| 男子3000m障害        | 池田紀保       | 予選敗退 |
| < 明成高校ホームページより > |            |      |



# Monthly Report

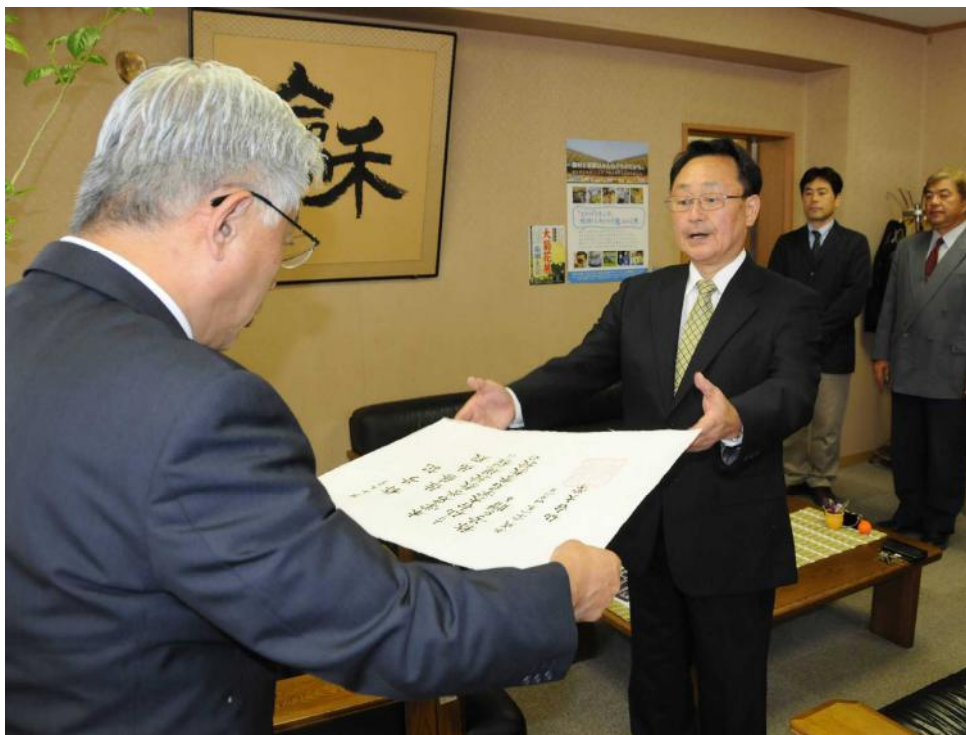
Vol.40 広報室

平成21年9月30日発行

## 目次:

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 佐藤佑先生が名誉教授に           | 1  |
| 今年も中国国費留学決定           | 2  |
| FDワークショップ<br>学生相談室研修会 | 3  |
| タイ国若手研究者<br>こどもスポーツ大学 | 4  |
| 現代GP                  | 5  |
| 国際交流                  | 6  |
| 世界ボート選手権観戦記           | 9  |
| 学生の活躍                 | 10 |

## 佐藤佑先生に名誉教授の称号授与



9月30日(水)に学長室において名誉教授称号授与式が執り行われ、今年3月末で勇退された佐藤佑先生に対して名誉教授の称号が贈られました。

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



## 今年度も2名の中国国費留学が決定

向井智さん（平成21年3月体育学科卒）と安部浩太郎さん（平成21年3月体育学科卒業・院1年生）の中国への国費留学が決定しました。

### 東北師範大学へ国費留学する向井 智さん



父は、多いときで年4回中国に旅行に行くほど中国好き。今回の留学についても大賛成で、父からは変わってほしいくらいと言われました。積極的に交流し、沢山の外国の方々とともに成長していきたい。当面の不安は「語学力」。日野さんや金井さんを大いに頼りにし頑張りたいと思います。

大学では、日本のフィットネス産業のこれから～中国進出を目指して～の題目で、卒論を書きました。伸び盛りの中国で、フィットネス産業はまだ一般的でないのでは？と可能性を感じています。中国では、その方向からも研究していけたらと思っています。

むかい風 <http://saru007.blog88.fc2.com/>

### 上海体育学院へ国費留学する安部浩太郎さん



昨年の募集へも応募した経験があり、今回2度目の応募。今回のチャンスを心待ちにしていました。

不安なことと言えば、「中国語」。留学が決定したこともあり、語学力アップのために留学生とのコミュニケーションをはかっていたりしました。仙台大学の先輩である笹井さんの存在があるので、とても心強く、安心

しています。外国の人たちとの交流や中国での生活など、不安というよりは、全てが楽しみです。中国でやってみたいことは、「太極拳」などの武術を学ぶこと。研究としては、子どもたちの体力向上のための体力づくりなどの日中の比較を学んでいきたいと思っています。

ボクノート <http://ameblo.jp/fujiedatarou/>

### 国費留学中の笹井善仁さんと日野さんが一時帰国

中国に国費留学中の日野晃希さんと笹井善仁さんが一時帰国しました。笹井さんは8月3日に、日野さんは8月21日に学長と佐々木事務局長はじめ諸先生方への挨拶と留学報告を行い、元気な姿を見せてくれました。

#### 笹井 善仁さん



7月から実家である熊本県に戻って、ボートの練習をしたり、親の手伝いをしていました。日本は9月3日に発つので、漕艇部のインカレを応援や、8月末に開催する第2回ISIMカンファレンスのディスカッションに参加する予定です。

中国の経済発展には驚かされます。上海万博も2010年にあるので、地下鉄がこの1年で3ラインが9ラインに増えるなど、発展過程がみることで面白いです。

9月からは大学院でコーチングの勉強をする事になっています。これまでは留学生に対する授業でしたので講義はゆっくり進められましたが、大学院では主に中国人に対しての授業なので、講義のスピードについていけるのが少し不安です。中国のコーチングを学んで日本に持ち帰り相互に活かせるようにしたいと考えています。

#### 上海留学日記

[http://blogs.yahoo.co.jp/yoshihito\\_sasai](http://blogs.yahoo.co.jp/yoshihito_sasai)

#### 日野 晃希さん



9月から教育科学学院の教育心理学の教育哲学コースで中国の健康教育について研究する予定です。これからの2年間は、自分の人生で、とても大事な2年間だと思っています。失敗を恐れずに、色々なことに挑戦し中国の文化にどっぷりと浸かって来ます。

仙台大学から後輩が入ることは、すごく嬉しい。感無量。久々に大学に戻ってきて、お会いする先生方にくちさん声を掛けていただきありがたかったです。中国でも、仙台大学で学んだ5年半を忘れず頑張ります。

日野さんのブログのアドレスが変更になりました。  
中国珍道中 <http://blog.goo.ne.jp/chinaboy123/>



## 仙台大学第3回FDワークショップ開催



仙台大学第3回FDワークショップを、9月18日（金）13時から17時まで、F101教室を会場に開催しました。途中入退場を含めて24名の方に参加していただきました。

今回のワークショップは、昨年度の沖先生（立命館大学）同様、FD業界では全国区でご活躍の加藤かおり先生（新潟大学・大学教育開発センター）をお招きし、「大学教員に求められる教育力と、その養成、向上策を考える」のテーマで開催しました。「学習と教育の意味は？」「学習者中心の教育について？」「教員にはどのような役割が求められるのか？」等々に関しまして、グループで意見交換し発表していただきました。

ご参加の先生方からは、「FDについてじっくり考える良い機会とになった」「4時間があっという間だった」「もっと多くの方に参加していただきたかった」「自分自身の取組の理論的な裏付けが確認できた」等々のご感想をいただき、大きな成果を得たFDワークショップとなりました。

FDは、ワークショップ等の単発イベントではなく、「ミクロレベル（授業の改善）」「ミドルレベル（カリキュラムの改善）」「マクロレベル（組織の整備・改革）」の取組の総体ともいえます。学士課程教育は、先生方が担当される個々の科目で完結するのではなく、学科・コース等の教育課程全体で構成されるものです。日常的に関連領域の先生方で意見交換・情報交換することが十分にFDとしての役割を果たしています。また、そういった姿を学生に見せることが、学生の主体的な学びには有効であると、加藤先生はおっしゃっていました。

仙台大学における教育の成果とは何か？その学習成果を得るためのFDとして何が必要か？等々に関しまして、今後も教育改善企画委員会を中心に、皆様と議論し実行していきたいと思っております。後期も、ワークショップ・ラウンドテーブルを企画しております。多くの方にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

（馬場宏輝 / 教育改善企画委員会委員長）

## 学生相談室主催研修会「学生スポーツ競技者の心理的問題の理解と支援」を開催



9月2日、A棟2F大会議室において、スポーツ臨床心理学の第一人者である岐阜大学教育学部教授鈴木壮氏をお招きし、「学生スポーツ競技者の心理的問題の理解と支援」をテーマに研修会が開催され、学生含め教職員約20名が聴講しました。

今研修では、鈴木先生が体育系大学で実際に対処された事例や、日本のトップチームの選手の相談例など、あわせて7例のカウンセリングの様子が話されました。スポーツ競技者の特徴として、外交的で活動的であることが社会的にも求められる

傾向があることから、悩みを表面化させにくく、身体、つまり怪我や不調などに現れてくることが多いこと。

また、大学スポーツ選手の心理的問題は、一般学生よりも広範囲（競技に係わる問題や人間関係、学業との両立などの悩み、青年期的な悩みなど）にわたっており、複雑で多くを同時に含む傾向があるそうです。

スポーツ競技者の心理相談において注意すべきこととして、指導者の指示で行動することに慣れている競技者にとって、安易なアドバイスや指導は注意が必要であること。スポーツ競技者の身体が表現していること（怪我を含め）は、心の表現でもあること。聴くこと、そして受け止めることが大切であることなどが話されました。

学生相談室窓口を独立させて3年、本学でも体育系大学の学生がかかえる悩みや様々な環境下での問題など、年々多岐に亘る相談が寄せられています。学生と近い距離にいる立場の教職員が、どのようなスタンスで向き合うべきかを考えさせられる研修となりました。

## タイ国 シーナカリンウィーロート大学より若手研究者を招聘

8月24日 9月7日の日程で、本学と国際交流協定を提携しているシーナカリンウィーロート大学から若手研究者Tanormsak Senakham (タムセカハム) 氏を招聘し、本学施設を使って研究活動を行いました。滞在中には研究の他、ウェルカム・フェアウェルパーティー、広島での体育学会参加や学生との交流など、充実した内容にタム氏は「仙台大学では、言葉に表せないほど多くのことを学び、貴重な経験をさせていただきました。関係者のみなさまに心から感謝いたします。」と語っていました。



写真提供:高橋(弘)教授

## 「こどもスポーツ大学」開催



9月20日(日)から22日(火)までの3日間、北海道中川郡中川町で、今年で2回目となる「こどもスポーツ大学」が開催されました。

この「こどもスポーツ大学」は、スポーツの価値やスポーツ栄養、ルールの存在意義などについてスポーツを通して「自ら考え行動する」力を身に付けることを目的とした仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所(ISIM)のチームティーチング型の「スポーツ教育プログラム」です。このプログラムは、参加者の子ども達実際に“大学生”になり、普段の生活の場を離れ2泊3日の合宿形式で行われました。今回の参加者は北海道上川北部地区5市町村(中川町・美深町・音威子府村・名寄市・下川町)の小学校4年生から6年生の子ども達24名でした。

なお、この「こどもスポーツ大学」は、上川北部広域タレント発掘・育成組織設立準備委員会が受託している平成21年度文部科学省「国際舞台で活躍するアスリート輩出のためのタレント発掘モデル事業」の一環として行われました。

<スポーツ情報マスメディア研究所>



## 現代GP「地域密着型の健康づくり支援システムの構築」

### 女性のための健康講座



地域健康づくり支援センターでは柴田町の方25名を対象にして「今日から始める女性のための健康講座(全6回)」を開催しています。講座では健康を維持するために欠かす事ができない「運動」・「休養」・「栄養」のについて学習し、受講生の生活習慣改善を推奨しています。9月10

日には、「栄養」の観点から丹野准教授・岩田講師の指導により、「1食で1日に必要なカルシウム量の8割を満たす献立」をつくる料理教室がおこなわれました。健康づくり運動サポーターも加わり交流しながら調理が進められました。今回の教室に参加した健康づくり運動サポーター4名の内3名が調理の基礎や知識がある運動栄養学科生ということもあり、会話を楽しみながら手際よく料理が出来上がっていく様はみごとでした。

作ったのはわかめご飯、納豆汁、桜えびの和風オムレツ、ほうれん草のチーズ炒め、ミズナとじゃこのサラダ、ココア風味のミルクくずもちのデザートです。調理後には一緒に食事をしながら交流を図ると共に、学生が自ら調べた栄養に関するミニ講座もあり、受講生たちも関心深げに聞き入っていました。

### 第12A行政区での健康講座

9月10日に第12A行政区の健康講座が中名生集会所(柴田町内)で開催され、教職員4名と健康づくり運動サポーターの5名(中級4名、初級1名)で実施しました。

第12A行政区の住民29名(男性13名、女性16名)の参加がありました。教室は近藤新助手の講話「よい睡眠をとるコツ」のあと、普段の生活に取り入れて欲しい「楽しい運動」が紹介され、中級の学生もアイスブレイキングやストレッチなどを担当し、お年寄りと一緒に運動をしました。今回初めて運動を担当するという事で緊張した学生もいましたが、孫ほど年が離れている受講者にとってはそれが余計に親しみを持って下さったようで、終始和やかな雰囲気の中で教室は進みました。



### 第3回 大学・地域評価委員会



9月17日(木)には第4体育館演習室において「健康づくり運動サポーター事業(現代GP)第3回大学・地域評価委員会」が開催され、事業の実施状況や健康づくり運動サポーターの認定状況・履修状況などが報告と委員の方々から貴重な意見・提言を頂きました。

#### 評価委員は以下の通り

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 委員長   | 朴澤泰治(仙台大学学長)       |
| 副委員長  | 滝口 茂(柴田町町長)        |
|       | 橋本 実(健康福祉学科学科長)    |
| 学識経験者 | 乾 秀(乾医院院長)         |
|       | 我妻一雄(柴田町社会福祉協議会会長) |
| 柴田町民  | 鴫田一雄(シニアカレッジ修了者)   |
|       | 工藤昭子(シニアカレッジ修了者)   |
| 大学教員  | 小池和幸(仙台大学教授)       |
| 学生    | 糟谷奈美(健福4年、現在上級受講中) |
|       | 星 昭伍(健福3年、現在上級受講中) |

## 外国人留学生が続々来日



今年10月から科目等履修生として在籍する留学生2名が来日し、9月18日(金)には朴澤学長のもとを訪れ挨拶を行いました。

留学生は台東大学(台湾)の劉姿伶さん(上写真:中央)と曾鈺倫さん(上写真:右)で、両大学間で締結しているダブルディグリー協定(台東大学で2年間学び、仙台大学で2年間学び所定の単位を取得した後、台東大学に戻り、そこで学位を修得した場合仙台大学の学位も授与される)に基づいて2年間、日本語の習得および教職関連科目の履修に励む予定です。

劉さんは台湾学生柔道界で優勝した経歴を持つ実力者。平成19年7月には台東大学柔道部7名と共に来学し、本学柔道部の合宿に参加した経験をお持ちです。曾さんは高校・大学と、部活動で

ダンスを専攻されていたそうです。

また、9月24日には瀋陽師範大学から来年4月に大学院入学予定の楊(よう)楊兆淇さん(下写真:左)と戴璐さん(下写真:左2)が朴澤学長に挨拶を行いました。大学院予定者は来月にも吉林体育学院から趙倩穎さんと張坤さん、上海体育学院から侍政さんと李星さんの4名が来日する予定です。



## 中国から高校生21名が来訪

### 21世紀東アジア青少年大交流計画

9月11日に外務省が進める「21世紀東アジア青少年大交流計画」で来日した中国の高校生21名が来訪し、本学の施設見学を行いました。中国人留学生3名(祁(キ)祁聖傑さん、徐(キ)一文さん、黄(キ)聡さん)も同行して交流を深めました。訪問団は前日には明成高校を訪問し、高校生同士の交流の様子が河北新報で紹介されました。





## 内丸講師が瀋陽師範大学で「帰国外国人留学生研究指導事業」実施



9月4～8日には、朴澤学長、馬(佳)助教、馬(冬)臨時職員も同大学を訪問し、同大学の視察と協議等を行いました。

瀋陽師範大学のホームページで紹介されています。

<http://210.30.208.141/index.html>

<http://210.30.208.141/zyxw/zyxw09097.html>

<http://210.30.208.141/zyxw/zyxw09095.html>

独立行政法人日本学生支援機構が提供する「帰国外国人留学生研究指導事業」の申請が採択されたため、平成21年8月29日から9月7日の10日間の期間に本学大学院修了生である楊光氏（現瀋陽師範大学准教授）の在籍する瀋陽師範大学にて本事業を実施してきました。

本事業は我が国における留学時の指導教員等を現地に派遣して行わせる実施指導、並びに、研究者及び学生等に対するセミナー開催等の事業の実施を支援することにより、帰国留学生の教育、研究能力を高めるとともに、その他研究者等に対する有益な情報の提供を通じて、現地の研究者との学術交流の推進及び我が国への留学促進に寄与することをねらいとして実施されております。

帰国留学生として申請の対象になりましたのは、本学大学院修了生である楊光氏であり、現在、瀋陽師範大学にて准教授として勤務しております。今回の事業では、楊氏に対して健康体力分野に関する研究指導、瀋陽師範大学体育学院の学生及び大学院生に対する講義、実習及び演習、体育分野における研究者を招いてのセミナーなどを実施してきました。（内丸 仁）



## 平成21年度9月期卒業式を挙行



9月29日（火）に平成21年度9月期卒業式を関係教職員が参列するなか、A棟大会議室において挙行了しました。今回卒業を迎えたのは体育学科の佐藤久美子さんと岡部正彦さん、健康福祉学科の佐谷一美さんの3名です。

## キックオフセミナー開催



9月23日(水)にB300教室において3学年を対象にした第1回就職ガイダンス「就職活動キックオフセミナー」が開催され、学生約400名が参加しました。

今回のガイダンスでは、創職作業チームの山内教授より就職活動における心構えについて話があり、佐々木事務局長・室長より今年度の就職状況並びに来年度の就職戦線が引き続き厳しい状況となるであろうという予測のもと、早めに就職活動をするのが何よりも重要であるという説明がなされました。また実際の就職筆記試験も行われ、学生達の就職活動に対する意識も高まりました。

## OBからの寄贈

本学OBで元浦和レッズ選手の内館秀樹さん(平成8年3月卒)よりサッカーボールオブジェ、ベガルタ仙台の細川淳矢選手(平成18年3月卒)よりユニフォーム(ともに本人のサイン入り)を寄贈いただきました。共に学長室にディスプレイしてありますのでご覧ください。



## オリジナル特選丼が決定

**第一回仙台大学オリジナル特選丼決定!!**

**特選丼の部**  
**最優秀賞** (学生食堂食事券3000円相当分)  
**<豚キムチ厚揚げ丼>**  
**運動栄養学科4年生 佐藤 絢佳さん**


**優秀賞** (学生食堂食事券特選丼5杯分)

- 和風ロコモコ丼  
運動栄養学科2年生 葛西 令奈さん
- 麻婆ジャガ丼  
運動栄養学科4年生 佐々木 裕哉さん
- エビマヨ丼  
運動栄養学科4年生 佐々木 利恵さん

**朝食の部** (学生食堂食事券1000円相当分)

- 鮭のマヨネーズ風味照り焼き  
運動栄養学科4年生 中山 優一さん
- 納豆もやしトースト  
運動栄養学科4年生 山口 悠之さん
- 豆腐ステーキ  
運動栄養学科4年生 工藤 美紗貴さん
- 夏野菜スープカレー  
運動栄養学科4年生 古屋 悠子さん

採用させていただきましたメニューは後期(10月)に実施する予定となっております。たくさんのご応募ありがとうございました。



学食を運営しているシダックスが応募していた「仙台大学オリジナル特選丼」の各賞が発表になり、最優秀賞には佐藤絢佳さん(運動栄養学科4年)の「豚キムチ厚揚げ丼」が選ばれました。その他の各賞は左図の通りです。これらのメニューは10月19日から学食に並ぶということなので、是非、ご賞味ください。

### 最優秀賞の佐藤絢佳さん(運動栄養学科4年)



今回応募した「豚キムチ厚揚げ丼」は、食べた人を、元気にお腹いっぱいになりたいという思いで考案しました。たんぱく質を多く含む豚肉と厚揚げで筋肉強化を、キムチで食欲増進をねらっています。今回最優秀賞に選んでもらい、自分が考案したものが学食のメニューとして出される事は嬉しいです。



## 2009世界ボート選手権観戦記

< 小松恵一教授より情報提供 >

### 日本代表として仙台大卒業生が4人参加



マルタ湖全景（ゴール側から）



マルタ湖案内図

2009年8月21日から30日にかけて、ポーランドのポズナンで世界ボート選手権が開催された。参加国数は55カ国で、参加選手数は、約1000人である。そこに、仙台大学卒業生が4人日本代表として加わっていた。わたしは、ちょうどその時期ベルリンに滞在していた。ポズナンは、ベルリンから200キロ程度の距離にあり、比較的近い。そこで27日から最終日まで応援に赴いた。

競技会場であったマルタ湖という人口湖は、公園として整備され、ポズナン市民にとって憩いの場であり、ボート競技は無論のこと、さまざまなレクリエーションの場となっている。その風光明媚な湖で、死力を尽くしたボート世界選手権が行われた。

はるか2kmの遠方から徐々に近づいてきて、1500メートル付近からようやく国の判別もできるようになる。それまでは、電光掲示板とスクリーンを注視するしかない。選手は必死に漕いでいることには違いないのだが、一見すると、オールの一掃された動きとボートの水上を滑る水平動は、競技であることを忘れさせるほど優雅でもある。

最後の500メートルで観客席からは、一斉にさまざまな国名が叫ばれ、勝ったチームの応援団は、ひとしきり抱き合ったりしている。日本からの応援団は、わたし以外には二選手の両親4名だけであった。その5人の喚声は、選手に届いたかどうか。

日本チームは、すべて軽量級での出場である。それは日本人の身体的条件からして当然とも言えよう。それに比べて、アジア人以外の選手たちの

体格は、ある種威圧を感じさせるほどである。日本人はやはり華奢である。そのとき、日本人競技者はどのようにして対抗することが出来るのか。だから軽量級があるとは言え、足と手の長さは異なる。そうした条件のもとで、日本のプレゼンスはあまりなかったというべきかもしれない。しかし、日本人選手たちが果敢に競技に立ち向かう姿は、いじらしくも、また健気であった。だからこそ、今回の世界選手権での観戦では、心底日本人選手を、仙台大卒業生を応援した。



NTT東日本エイトチーム  
6位までであるが、日本チームが掲示された



仙台大学出身日本代表メンバー  
大同、大元、渡辺、三浦（左から）

< 日本選手の結果 >（太字は仙台大学出身者）  
LM2-（軽量級男子ペア）（田立、大同）  
ファイナルBで4位（通算10位）  
LM4-（軽量級男子舵なしフォア）（佐藤、須田、片岡、大元）ファイナルBで4位（通算10位）  
LW1X（女子シングルスカル）（岩本）  
ファイナルCで1位  
LM8+（軽量級エイト）（NTT東日本ボートチーム）  
（仙台大学出身は、渡辺、三浦）（三浦は補欠）  
ファイナルAで4位  
LM1X（軽量級男子シングルスカル）（武田）  
ファイナルAで4位

## 陸上競技部インカレで投擲2種目優勝

～ やり投げの佐藤寛大さん、ハンマー投げの佐藤若菜さん～

9月4 - 6日に国立競技場で開催されている陸上競技の天皇賜杯第78回日本学生対校選手権大会（インカレ）において、男子やり投げの佐藤寛大さん（体育学科3年）が72m87（自己新）で初優勝しました。佐藤さんは蔵王高校出身。元々は8種競技をしていたが、高校2年から「やり投げ」に専念。高校では国体で3位に入り、大学1年の時には日本ジュニア陸上競技選手権大会を制している。本学男子部員のインカレ優勝は初めて。仙台大学陸上競技部に新たな歴史を刻んだ。

女子ハンマー投げでは佐藤若菜さん（体育学科4年）が57m10（自己新）で初優勝しました。佐藤さんは相馬東高校出身。高校まではやり投げの選手だったが、大学からハンマー投げに転向すると短期間で記録を伸ばし、昨年のインカレでは54m56で第2位。今年6月の日本学生陸上個人選手権でも第2位に入りました。そして今大会で悲願の全国制覇を成し遂げました。



佐藤寛大さん

進学時には関東の大学からもお誘いを受けたが、地元の仙台大学を選んだ。今大会で自分の選択が間違っていなかった事、地方大学でも勝てる証明出来たことが嬉しい。

昨年は度重なるケガに悩まされ、目標を失いかけた事もあった。しかし、投擲ブロックとして練習を共にする先輩の延味由起選手（やり投げ）、佐藤若菜選手（ハンマー投げ）（共に体育学科4年）が学生チャンピオンになるなどの活躍を目の当たりにし、自分ももう一度「日本一」を取ろうと強い励みとなった。現在、陸上競技部には全国学生大会入賞者が5名在籍。関東との力の差は詰まってきたと思うので、部を牽引して来年の2連覇を果たしたい。



9月25日には、陸上部部長の藤井(邦)教授、監督の横川教授とともに、学長へインカレ優勝報告を行いました。日々記録を塗り替えていく二人へ、学長からは、それぞれにお祝いの言葉とともに今後更なる飛躍を期待したいとの激励がありました。

## ボート全日本選手権大会結果

9月10 - 13日に戸田漕艇場で行われたボートの第87回全日本選手権において、本学漕艇部が社会人を相手に健闘しました。競技結果は以下の通りです。

### 【男子】

- ・舵手つきフォア 4位
- ・エイト 7位
- ・舵手なしフォア 8位

### 【女子】

- ・舵手なしペア 2位
- ・エイト 5位
- ・ダブルスカル 8位





## 障害者サポート研究会Co - Act. が感謝状を授与

9月1日(火)に仙台市民会館において障害者へのボランティア活動に対する感謝状授与式が開催され、「障害者スポーツサポート研究会Co - Act. (以下 コ・アクト)並びに部長である高橋まゆみ准教授が、仙台市手をつなぐ育成会から感謝状をいただきました。

仙台市手をつなぐ育成会は毎週土・日に知的障害者を対象にして「料理教室」、「3B体操教室」、「ニュースポーツ教室」などを開催している団体です。

Co・アクトも年に8回、パルシティ仙台(宮城野区榴ヶ岡)や楽楽楽ホール(太白区長町)を会場にニュースポーツ(ポッチャ、キンボール、フライングディスク等)やレクリエーション(ルールを簡単にした鬼ごっこ等)を企画・開催し、知的障害者の方々と一緒に楽しい時間を過ごしており、長年にわたる活動が評価されたものです。

Co・アクトのメンバーは、障害を持っている方に関わる職に就く希望を持った健康福祉学科の学生だけでなく、体育学科や運動栄養学科、スポーツ情報マスメディアの学生など、本学のスポーツ・フォア・オール理念に根ざした、「スポーツを通じて人を喜ばせたい」という意思を持った学生が集まり、活動の場を広げています。



山田華夏子さん(健康福祉学科4年)



Co・アクトでの活動を通して、障害があるからスポーツが「できない」ではなく、ルールを変更するなど、少し工夫することで障害者が健常者と同様にスポーツを楽しむことができることを知りました。

今回感謝状を頂きましたが、自分達で企画・運営する環境は限られているので、このような機会を与えて下さっている「仙台市手をつなぐ育成会」にはこちらから感謝状を贈呈したいくらいです。これからも楽しい時間を知的障害者の方々と共有できるように努力していきたいと思えます。

## カヌーの日本選手権で石原夏海さんが優勝



左：石原さん、右：斉藤選手

9月10 - 14日に石川県木場潟カヌー競技場で行なわれた日本選手権大会(平成21年度日本カヌースプリント選手権大会)において石原夏海さん(運動栄養学科4年)がOBの斉藤美穂選手(平成20年3月卒)と組んだ女子カヤックペア1000mにおいて2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

この大会は国内で行われるカヌー最高峰の大会であり、日本代表を選考する大会でもあります。シングル種目では1000m / 13位、500m / 16位で代表選考基準に届きませんでした。ペア種目で、高校・大学の先輩である斉藤選手と息の合ったレースを見せてくれました。

石原さんは中新田高校(宮城県)から本学に進み、今年8月に行なわれた全日本学生カヌー選手権大会(インカレ)でもシングル5000mで第4位と好成績をおさめています。

石原 夏海さん(運動栄養学科4年)

高校のチームメイトが関東の強豪大学に進学するなか、「スポーツ」と「栄養」の両方を学べる仙台大学を選び、自分次第で強くなれることを証明したいと努力してきました。8月のインカレではシングル5000mで4位、今大会のペア1000mで念願の優勝と、地方大学でも練習を積み重ねれば目標を達成すると証明できたことがとても嬉しいです。

## 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権 東北ブロック優勝

男子バレーボール部（宮城県代表）が9月6日に開催された天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権東北ブロック決勝において弘前工業高校（青森県代表）をストレートで下し、初めて東北ブロック代表の座を掴み取りました。

この大会は日本一を目指して、中学生以上のチーム（6人制）が競う大会でブロックラウンドを勝ち抜いた男子16チーム・女子14チームとVプレミアチーム（Vリーグの1部リーグ）でのノックアウトトーナメントで行なわれます。



次戦は、11月中旬に予定されており、関東Aブロックの優勝チームとの対戦となります。

きじま  
鬼嶋 一成（写真：左）  
細川 優樹（写真：右）

キャプテンとしてチームを牽引するセッターの

きじま  
鬼嶋一成（体育学科4年）と、チームのエースとして高い決定率でチームを支える細川優樹（体育学科2年）に話を聞きました。

今大会では夏休みの練習・合宿の成果を十分に出すことができた。一人ひとりが自分の役割を果たし、それが優勝という結果になったので、部員の大きな自信になったと思う。

今年の夏休みは、昨年北京オリンピック全日本男子チームサポートのため不在だった石丸監督には、ほぼ毎日ご指導いただいた。内容の濃い練習ができ、チーム状態は良い形ができています。自分達のバレーが出しきれずに負けるのは一番悔しいので、努力してきた事をコートの中で出し切りたい。勝敗はその結果として付いてくるので東北代表として恥じないプレーだけを心掛けたい。

また、11月下旬にはインカレもあるので、今以上にチーム力を向上させ、目標としている全国ベスト8入りを果たしたい。

## バスケットボール / 東北地区大学バスケットボール1部1次リーグ



9月4～13日に東北学院大学泉キャンパス体育館において、東北地区バスケットボール1部1次リーグが行なわれ、女子においては創部以来初のトップ通過を果たしました。この後、男女共に2チームだけに与えられるインカレ出場権をかけて1次リーグトップ4チームで争われる2次リーグ（10月9 - 11日）に挑みます。男子の巻き返しと女子の優勝に期待したいです。

### 試合結果

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 【男子】67-97 富士大学   | 【女子】79-56 富士大学   |
| 83-91 東北学院大学     | 88-50 岩手大学       |
| 81-77 ノースアジア大学   | 94-63 福島大学       |
| 85-76 弘前大学       | 79-65 東北大学院大学    |
| 78-73 青森大学       | 74-71 山形大学       |
| 一次リーグ：3勝2敗（3位通過） | 一次リーグ：5勝0敗（1位通過） |



# Monthly Report

Vol.41 広報室

平成21年10月23日発行

## 目次:

|             |   |
|-------------|---|
| 小室さん海外遠征へ   | 1 |
| 学長宛御礼状      | 2 |
| 藤原徹准教授報告    | 3 |
| 訪中団         | 4 |
| ハンドボールコート改修 | 5 |
| 佐藤光浩さん引退報告  | 7 |
| OBの二宮ゆかりさん  | 8 |
| 学生の活躍       | 9 |

## 小室希さん海外遠征へ

スケルトンの小室希さん(院2)が2010年バンクーバーオリンピックの出場権を獲得するために10月11日(日)に海外遠征に出発しました。世界選手権などの大会に出場して世界ランキング20位内、日本人トップのランキングを目指します。

10月22日にはNHK「おはようニッポン」全国版で特集が組まれるなど期待の大きさが伺えます。

小室さんの他にも多数のOBがボブスレー・スケルトン種目でバンクーバー五輪の出場権を獲得するために海外での戦いに挑んでいます。

12月中旬に良い報告が聞ける事を期待しましょう。



学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



## 「スポーツマネジメント実習」・「生涯スポーツ指導実習」で宮城県蔵王自然の家で活動した学生に対し、学長宛御礼状が届いております。

拝 啓

突然のこのような手紙で申し訳ございません。

夏休み中にお世話になった、仙台大学の学生さんにすぐにお礼の手紙と思いましたが、このように遅くなりまして、すみません。

私は、石巻に住んでいる鈴木国也ともうします。8月12日～14日に、蔵王少年自然の家に家族旅行をしました。

そこで、仙台大学の3名の学生さん方との触れ合いが大変心に残りました。

加藤さんと 裕菜さんと 純子さん には、息子たち（小4・小2）が大変お世話になり、またかけがえのない思い出をつくることができました。

ハイキングのときには、学生さんたちと同行していただき、息子たちはお姉さんやお兄さんに沢山励まされ、楽しくすばらしい経験をさせていただきました。

その後、お風呂にも入れていただき、帰るときには、車の所まで、荷物を持っていただきました。

なんと誠実で、さわやかな学生方だろうと、家族で感心したしいです。

今時の若者は などよく世間では言われますが、このようなすばらしい若者がいることをうれしく思いましたし、このような学生を育てている仙台大学にも、御礼をと思い、このような突然の手紙を書くことになりました。

3名の学生さん方には本当に感謝です。ただ単位とるためだけの実習ではない、誠意ある姿に感動もいたしました。私の息子たちも、このように何の見返りも期待しないで人と接することができるさわやかな青年に成長してもらいたいと思いました。

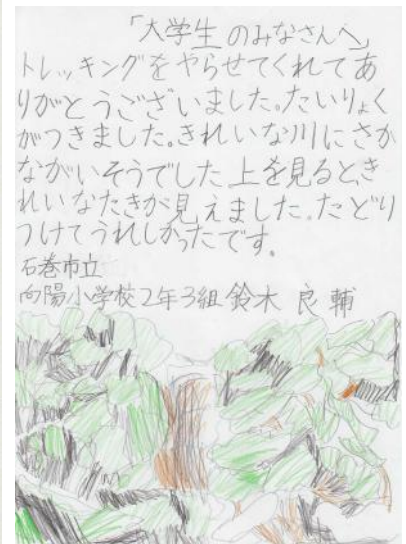
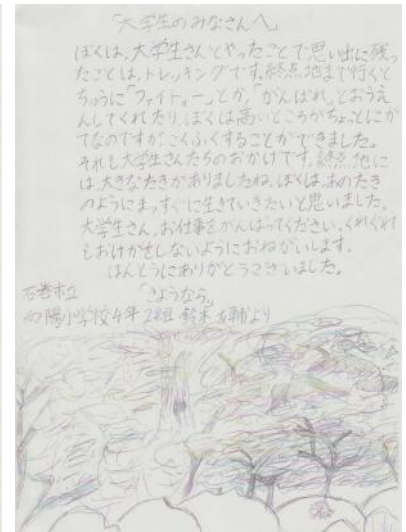
今後とも勉学に励み、すばらしい教職関係の職務に就かれることをご期待しております。

ありがとうございました。

敬 具

石巻在住

鈴木 国也



写真と御礼状は鈴木様より



### 学生氏名

- ・首藤裕菜さん（体育学科3年）
- ・加藤和宏さん（運動栄養学科2年）
- ・折原咲季さん（運動栄養学科2年）
- ・高橋純子さん（運動栄養学科2年）

なお、鈴木様へは後日、学長と関係した学生からそれぞれお礼状をお送りしております。



## 藤原 徹准教授 国際交流提携大学 台湾国立台東大学からの報告

現在、本学と国際交流提携関係にある台東大学に海外研修中の藤原先生よりMonthly Report向けに台湾での暮らしぶりを含めたご報告をいただきましたのでご紹介します。

### 卒業式



写真1

6月13日に県立の体育館で卒業式が行われました。卒業生はハウマイイーという服装に帽子で出席します。挨拶は学長のみが行い原住民族のオリジナルダンスや現代風のダンスなどが行われました。その後、卒業証書授与式が行われ、学長が修士、博士課程の修了生に証書を一人ずつ渡し、副学長、教務部長、学務部長の3名が各学科の代表者に卒業証書を同時に渡します。その間、卒業生は席を離れて自由に後輩から花束をもらったり、両親や後輩と写真撮影をしたりとまるでFestivalのようです。

### 台湾の行政院体育委員会



写真2

行政院体育委員会とは、日本で言うNational Training Centerで、高雄市にあります。競技の練習、合宿、トレーニング、治療からリハビリなどを行う所です。高雄市のほか台北市(未見学)にもあるそうです。



写真3

写真4

バレーボールの台湾代表(チャイニーズ台北)とジュニア代表(高校選抜)の女子監督は坂口先生(元嘉悦女子大学監督)が指導して4年目となるそうで、7月に行われるジュニア世界選手権(メキシコ大会)のために練習をしているところを許可を得て見学に行きました。(日本は新型インフルエンザのため出場辞退している)

施設は充実しており、選手の能力も高い学生もいるが強化対策が課題であることや、良い指導者が不足しているようであると言っていました。

台風が日本より接近する回数が多いです。

9月30日 国立台東大学 藤原 徹



写真5



写真6

写真1は卒業式の模様。服装は黒は学卒、黒に青が修士課程、黒に黄色が博士課程。  
 写真2は行政院体育委員会前にて。  
 写真3はバレーボール台湾代表の練習風景。  
 写真4は阪口さんと共に(元嘉悦女子大学監督)  
 写真5はプール。  
 写真6は怪我や治療とリハビリの施設。

## 訪中国として学生2名が参加

9月16 - 22日に永井 希さんと中野拓也さん(共に体育学科2年)が日本大学生訪中団員として全国の大学生200名と共に中国に渡航し、北京・上海・武漢の3都市を回って、北京オリンピック施設や世界遺産、大学の見学を行ったほか、現地の大学生や子ども達との交流をはかりました。

### 長井 希さん(体育学科2年)



中国語を履修していた事をきっかけに中国に興味を持つようになり、費用がかからないということもあり参加を希望しました。現地では日本語学科に属する中国人学生と多くの交流を持つことができました。日本で流行の音楽や、訪中期間におこった政権交代を教えてくれるなど、自分達以上に日本の情勢に敏感で詳しく知っていたことには驚かされました。また、中国の2つの大学を見学しましたが、仙台大学の4~5倍の敷地のなかに、博物館や美術館、音楽ホールがあったこと、学生が学内をカートで移動している光景を目の当たりにし、スケールの違いを感じました。

実際に中国に行ってみると、メディアで伝えられる中国のイメージとは違うところもあるので学生の方にはチャンスがあれば是非行ってもらいたいです。これから先、日本と中国との交流は広がるでしょうし、就職の際に役立つ可能性もあります。日本の他大学生との交流も兼ね、教養が広がるチャンスです。

### 中野拓也(体育学科2年)



仙台大学に来ている中国人留学生と話して文化の違い等を聞いているうちに、実際に中国に行ってみたく思うようになり、訪中団への参加を希望しました。

中国人学生との交流では、勉強に対する意識が日本人よりも高いと感じました。日本の学生は自分の考えをしっかりと持っている人が多く、その分、頑なに自分の考えを貫く人が多いように感じますが、中国の学生は自分が足りない知識は何でも吸収しようとする考えが強いように感じました。今回の訪中を経験して、海外で生活する興味が湧き、来年9月の中国国費留学に申し込むことを決め、帰国後も中国人留学生に中国語を教えてもらっています。もし、留学が決まれば勉強だけでなく中国の文化を吸収すると共に、日本の良さを中国人に伝えたいと考えています。一人の力でできることは限られていると思いますが、日中の関係構築の力になりたいと考えています。

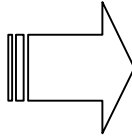
2人共、今回の訪中の機会を与えてもらった事に感謝していました。





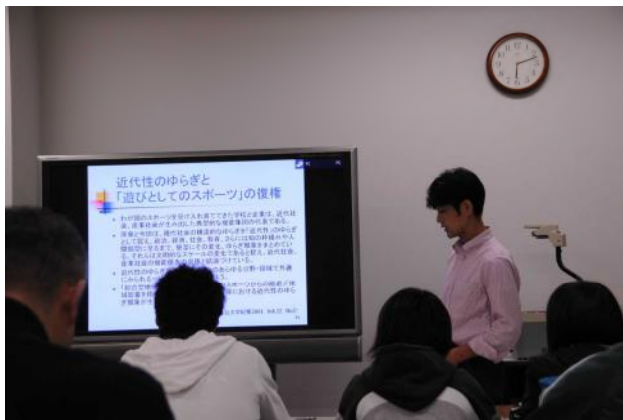
## ハンドボールコートが多目的スポーツで利用可能に

～多目的スポーツ用床材導入～



10月5日にハンドボールコートの床の改修工事が行なわれ、多目的スポーツ用床材が取り付けられました。この床材は衝撃吸収に優れており、踏み出しや急な停止、着地時の横方向の膝や足首への衝撃や加重を分散・吸収する非常に安全性が高いものです。プロバスケットボールの試合でも使用されており、テニスやハンドボール、フットサルなど様々なスポーツシーンでも活用されています。今回の改修に併せて、テニスネットなどを固定する移動可能なポールも用意され、悪天候時の講義などでの利用が期待されます。

## 大学院1年コース 平成21年度リサーチペーパー中間発表会開催



9月29日と10月20日にE202教室において、今年度開設の仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士課程1年コースのリサーチペーパー中間発表会が開催されました。

本学の修士課程1年コースは、学校体育領域 スポーツプロモーション領域 健康・体力支援領域と、3つの領域区分それぞれの実務経験者を対象としたコースとして開設されており、2年コースの修士論文に代えて、自分の専門分野で抱える課題を設定究明し、その解決策を研究内容とする「リサーチペーパー」が課されています。

9月29日には4名、10月20日には前回出張等で都合がつかなかった2名、計6名の修士課程1年コースの発表がありました。それぞれの属する職業の専門職域から独自のテーマでの研究発表がなされ、活発な質疑応答が行われました。この中間発表を元に11月の仮提出・査読を経て、2年コースの修士論文発表会と同日2月13日(土)にリサーチペーパー発表会が開催される予定です。

## 仙台大学学生が地域住民と共に交通安全をPR



平成21年秋の交通安全県民総ぐるみ運動(9月21-30日)の一環として24日に柴田町交通安全対策協議会が中心となり「柴田町・秋の交通安全街頭キャンペーン」が船岡駅などで行なわれました。柴田町の滝口町長や地域住民の方と共に、仙台大学の新体操競技部の丹羽涼子監督と学生4名がチラシを配って交通安全を呼び掛けました。

## 仙台89ERS佐藤真哉選手が来訪

10月20日(火)に本学OBで日本プロバスケットボールリーグ(bjリーグ)仙台89ERSの佐藤真哉選手(平成11年度卒)が来学し、大学にユニフォームを寄贈いただきました。

佐藤選手は東北高校から本学に進み、エースとして活躍。1997年のインカレではチームをベスト8に導いています。仙台89ERSには2005年の発足から所属し、チームの中心選手として活躍されています。今シーズン仙台89ERSは開幕から6連勝中。佐藤選手も3点シュートを次々成功させ、目下絶好調です。初優勝に向け、佐藤選手の益々の活躍が期待されます。



## 第2回就職ガイダンス開催

3年生の約8割が参加



10月20日(火)にB300、B103教室において3年生対象の第2回就職ガイダンスが開催されました。今回のガイダンスは就職活動を行なう際に必要な面接試験対策と就職活動におけるマナーについての内容で実施されました。17:40開始という遅い時間にもかかわらず、部活動等で忙しい中393名の3年生が参加しました。

毎日コミュニケーションズの橋本氏からは「就職活動を始めたばかりの学生が陥りやすいマナー違反について」の話や、(株)ディスコの富田氏からは「実際の面接試験におけるポイント」などが指導されました。今回の講座を受けて3年生は既に始まっている就職活動の難しさや大切さを改めて認識したようです。

## 私学事業団による経常費補助金に係る対象事業実施状況調査

10月8日(木)に日本私立学校振興・共済事業団の調査員2名が来訪し、経常費補助金に係る対象事業実施調査が行われ、担当部署が対応を行いました。調査員の方からは、「補助金は正しく処理されているので、今後も引き続き整備していく事が大切です。」との総評をいただきました。

今後とも引き続き教職員の皆様の遺漏なき事務処理へのご協力をよろしく申し上げます。





## アテネオオリンピック代表 佐藤光浩選手が引退報告のため来学



10月14日(水)に本学OBで富士通陸上競技部の佐藤光浩選手(01年度体育学科卒、03年度院卒)が来訪し、朴澤学長に現役引退報告を行いました。

佐藤選手は400mを専門とし、本学に在学中の2001年東アジア選手権では4×400mリレーで金メダリストとなり、2003年日本選手権では45.50秒の自己ベストで初の日本一に輝き、同年のパリ世界陸上に出場。実業団の富士通に進んだ後も2004年アテネオリンピック、2005年ヘルシンキ世界陸上、2007年大阪世界陸上の日本代表として日本陸上競技界を牽引してきました。

朴澤学長には、両脚のアキレス腱痛で成績が伸びず、今年6月の日本選手権で引退を決意したことが報告され、佐藤選手は「仙台大学で過ごした6年間は自分が急成長できた時期。授業以外の時間は休み時間も惜しんで練習していました。1秒縮めるのが大変とされる400m競技で、在学中に2.3秒縮めることができたのは、練習環境に恵まれていたことが非常に大きかったと思います。仙台大学には陸上競技トラックはもちろん、ウェイトトレーニング場、プール、周辺には適度な坂道、砂浜にもいける距離だったので、最高のトレーニング環境でした。」と話し、後輩についても「今年のインカレで投擲競技の2種目制覇や日本学生個人選手権での三段跳び制覇など、活躍が目覚ましいので頼もしく感じています。私はインカレで優勝することはできませんでしたが。」と述べました。

朴澤学長からは、「せっかく大学院まで進学し学んだ経験を生かし、この引退を一つの区切りとして、次のステップでも頑張ってください。」と労いの言葉がかけられました。佐藤選手は今後も陸上競技に携る希望を持っているので、指導者として選手育成にも期待したいところです。

## 陸上競技部2名が東北学連選抜として杜の都女子駅伝に出場

10月25日に仙台市を会場に開催される「杜の都女子駅伝」に、東北学連選抜として陸上競技部の志賀愛香さんと東川陽子さん(共に運動栄養学科3年)が選出されました。

9月22日に開催された選考レースでは、上位2校に与えられる出場権を仙台大学として獲得することはできませんでしたが、代表校の選手を除くタイム上位8名の中に東川さんと志賀さんが入り、東北学連選抜として出場権利を獲得。合同練習を経て志賀さんが2区、東川さんが5区を走る事が決定しました。

東川さんと志賀さんは過去に学連選抜メンバーにも選ばれており、志賀さんは3年連続3度目、東川さんは2年連続2度目の出場となります。杜の都を駆け抜ける2人の活躍が期待されます。

ミヤギテレビ(12時0分~14時35分)でも放映されますので、是非ご覧ください。

2区は宮城陸上競技場前(12時29分頃)~  
仙台市太白区役所前(12時50分頃)  
5区はネットヨタ黒松店前(13時36分頃)~  
宮城学院正門前(13時49分頃)

( )内は先頭チームの中継所到着予想時刻



東川陽子さん



志賀愛香さん

仙台大学陸上競技部中長距離ブロックHP

([http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=sendai\\_chou](http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=sendai_chou))より

## デンマーク留学中の二宮ゆかりさん(平成20年度卒)から高橋まゆみ准教授を通して大学にお手紙を頂戴しました

### 卒業後の報告

#### 1. Nordfyns Folkehojskoleの簡単な紹介

私の在学するNordfyns Folkehojskoleという学校は直訳すると北フィン島国民大学という意味です。成人のための教育機関であり、デンマーク全体で約80校あります。この学校には様々なコースが開設されています。ダイエットコースや海外からの学生に対するインターナショナルコース、知的障がいのある人に対するライフラインコースなどです。開設されているコースはその学校ごとで違います。私は社会福祉コースに在籍しています。

この学校は全寮制のため教室と寄宿舎が同じ敷地内にあります。様々な国から来た人たち、障がいのある人もない人も共に生活します。その

共同生活を通して、お互いについて理解し助け合い、自分を向上させるよう努めます。資格などを得るための学校ではなく、今の自分から将来になりたい自分へ変わるためにはどうすればいいのかを考え、そのプロセスを重視する学校です。したがって、この学校では常に自分で考える姿勢というのが大切です。先生が $1 + 1 = 2$ と教えるのではなく、自分で考え答えを出します。しかも、その答えは多様にあっているのです。そしてその個人の考え方をディスカッションを通して発表し合います。このような活動を通してお互いへの理解を深め、福祉国家といわれるデンマークを支える民主主義について深く学んでいきます。

#### 2. Nordfynsで社会福祉コースを選んだ目的

sorry... deleted image.

福祉国家・生活大国といわれるデンマークの福祉、特に障がい児・者の福祉の仕組みや制度について現地で学びたいと考え、選択しました。大学3年生のときに大学間の交流事業でフィンランドに行ったことで北欧の福祉に興味を持ちました。それがきっかけで今デンマークに来ているのですが、学んだだけで終わるのでは駄目だと思っています。学んだことによって私に何ができるのかを今は考

えています。国が違えば国民性や制度・法律が違うのが当たり前です。そのためデンマークと日本を同様に考えることはできません。しかし、日本にもデンマークにもそれぞれの長所があるはずです。それを学びに来た私ができることは、きっとデンマークの福祉の良いところを持ち帰り日本流にアレンジして実践していくことだと思います。将来は、「障がい児の学童保育」という分野でデンマークで学んだことを実践していきたいと考えています。実践することは論ずるよりもはるかに難しいことですが、できないとは思わずにどのようにしたら実践できるか、その可能性を追求していきたいと思っています。そして日本の福祉分野がよりよいものになるためのお手伝いが少しでもできたらと思っています。

sorry... deleted image.

#### 3. 後輩たちへのメッセージ

私にとって大学生活とは多くの意味を持つ大切な時間でした。それは専門分野における勉強だけではなく、自分がこれからどんなことをしたいのか、どんなふうに生きていきたいのかを考えた時間だったからだと思います。大学生活を通して出会った知人や友人、先生方とのつながりのなかで、たくさんの考え方・生き方があることを知り、また私が行き詰った時には沢山の助言をいただきました。そして、それは少なからず今の自分に影響しています。

将来、なりたい自分が見えていれば、おのずと今、しなければならぬことが分かってくるはずです。大学生活を納得できるものにするかしないかは大学生活を送る自分自身次第だと思います。今こうして生きている間にも自分にしか歩めない人生を生きているのです。そう考えると、楽しくてもつらくても分からなくても充実して生きていたい私は思います。大学の後輩である皆さんにも充実した大学生活を送ってほしいです。今のあなたが考え決めて行動することが大切だと思います。もし考えて悩んで行き詰った時はどうぞ周りを見てみてください。あなたが一生懸命ならば、きっと力になってくれる人はいるはずです。

遠くからですが、みなさんの活躍を願っています。

デンマークより

平成21年9月30日

平成20年度健康福祉学科卒業

二宮 ゆかり



## 柔道インカレで田中美衣さんが優勝、五味奈津実さんが3位に



10月13日には南條監督と共に朴澤学長のもとを訪れて大会報告がなされ、田中さんから大学に優勝トロフィー、楯、賞状が寄贈されました。

### 田中美衣さん(体育学科4年)

2年前の同じ大会で優勝したときは初優勝ということもあり凄く嬉しかったです。今大会は目指しているロンドンオリンピックの通過点、優勝して当然と自分に言い聞かせて集中して挑みました。来月からは講道館杯、団体戦のインカレ、グランプリ(チンタオ)、東アジア選手権と試合が続くので、自分の柔道を出し切って勝ち続けたいです。

### 五味奈津実さん(体育学科1年)

大学では高校よりも1つ階級を落として52kg級で挑戦しています。高校では東京都大会での3位が最高成績で、今大会が初めての全国大会出場でした。優勝を目指していたので満足はしていませんが、3位という結果が残せた事は素直に嬉しいです。

来月行なわれる講道館杯には社会人選手も出場するので厳しい戦いになると思いますが、強化指定確実とされる3位入賞を目指して頑張ります。

10月11 - 12日に日本武道館で行われた柔道の全日本学生柔道体重別選手権(インカレ:個人)において、女子63kg級の田中美衣さん(体育学科4年)が2年ぶり2度目の優勝を果たし、52kg級では五味奈津実さん(体育学科1年生)が3位に入る健闘をみせました。

柔道のインカレは今回行われた個人戦と、来月22日の団体戦があります。団体戦でも昨年のベスト8を上回る活躍が期待されます。

## 全日本新人選手権大会



10月16 - 18日に戸田漕艇場において全日本新人選手権大会が行われ、本学漕艇部は男子エイトで優勝(3年ぶり2度目)を勝ち取り、今季最後の主要大会を最高の形で終えました。

この他、男子はダブルスカルに2艇出場して5位、7位入賞と出場した全種目で入賞を果たし、女子は舵手つきクォドルプルで4位に入賞しました。選手たちは来季の更なる活躍に向けて大きな自信を持つことができたようです。

## 体操競技部の瀬尾はやみさんが国体で長崎代表優勝



体操競技部の瀬尾はやみさん(体育学科3年)が長崎県代表として新潟トキメキ国体に出場し、2年連続の成年女子体操団体戦優勝に大きく貢献しました。「長崎県チームはチームワークが良いので、それが勝利の要因」と話しています。

瀬尾さんは母親の影響で、小学3年から本格的に体操競技をはじめ、中学・高校でも活躍し、国体には長崎代表として高校1年生から出場しているそうです。現在3年生の瀬尾さんは「最高学年となるので、後輩を引っ張って大学でも結果を出したい」と力強く話してくれました。

## アメリカンフットボール部が13年ぶり2度目の東北リーグ制覇

アメリカンフットボール部が10月12日(月)に行われた秋田大学との試合に勝利し、東北大学との最終戦を待たずに13年ぶり2度目の東北リーグ制覇が決定しました。これにより今年新設された全日本大学アメリカンフットボール選手権出場を獲得しました。本学の初戦は11月15日(日)に駒沢陸上競技場(東京)で関東学生1部リーグBブロック優勝校との対戦となります。

アメフト部は専用グラウンドがないため、練習場所の確保に苦慮しているそうです。



**新藤政幸さん(アメフト部主将、健康福祉学科4年)**

今年は4月から部員勧誘活動と新入部員に徹底的な基礎練習を課してきました。大学のトレーニングセンターも有効に活用し、ストレングス&コンディショニングコーチの加賀氏が組んだメニューで部員全員の筋力アップに成功しました。この結果、1年生4名がレギュラーの座を獲得し、大きな戦力として活躍した事が13年ぶりの優勝という形で実を結んだと思います。

東北地方にはアメリカンフットボール部を持つ高校がないこともあり、部員は大学から競技をはじめするため、関東や関西の大学のレベルに達していない現状があります。そのため全日本大学選手権が今年新設され、全てのリーグに公平にトップをねらえるようになったことは、対戦を通すことで東北のレベル向上にも繋がると期待しています。

初戦は関東大学1部リーグBブロック優勝校との対戦で、厳しい戦いになりそうですが、東北代表として誇りを持って戦ってきます。応援よろしくお願いします。

## 宮城県少年の船を知ってもらいたい / 佐藤浩司さん(健康福祉学科3年)



色々な人と関わる事が好きで、中学1年からジュニアリーダー(中高生のボランティアサークル)に登録し、子ども会や地域からの依頼を受けて児童へのレクリエーション提供や、キャンプの指導を行ってきました。現在はシニアリーダー(18歳以上の青年ボランティア)としてジュニアリーダーの指導や助言を行っています。3年前か

らは宮城県子ども連合会(県子連)などが協賛する宮城県青少年育成事業「宮城県少年の船」にもスタッフとして乗務しています。

この事業は宮城県が主催する事業で、次代を担う小学校5年生から中学校2年生の少年少女を県内各地から募り、船上研修やレクリエーション、訪問先での自然体験活動等を共に行うことにより、リーダーとしての資質を高めるとともに、子供たちのまとめ役として班に付く高校生が、活動を通してリーダーシップを学ぶ機会を提供する研修事業です。本学のレクリエーション部が毎年サポートしている沖縄遊you塾の企画とは別で、県の事業として行われているものです。低料金である

ため様々な環境で育った子供たちが集まります。この中には毎年数人の自閉症などの障害を持った児童も参加します。そのため、共に行動する子供たちが障がい者に偏見を持たずに社会に出て行くステップアップの場ともなっているそうです。

しかし、この事業が廃止の危機に直面しています。知名度の低さから「兄姉が乗ったから乗る」という子供たちがほとんどで、全く初めてという参加者は稀で、参加する子供は年々減っています。

**佐藤浩司さん(健康福祉学科3年)**

最初は友達ができず不安な顔をしていた子供たちも、船上や訪問先での研修を経て、船を下りる時には必ず満足し、「たくさんの経験ができて良かった」と、言ってもらえる事業です。現在、参加した子供たちと高校生が中心となって存続の署名活動や資金面での援助を呼び掛けています。

教職員の方にも、低料金で子ども達が多く経験を得られるこの事業を知っていただき、口コミで広めていただければ幸いです。



## バスケットボール東北リーグ結果



写真：東北大学連盟

10月9 - 11日に秋田県で東北大学バスケットボールリーグの2次リーグが行なわれました。女子は1次リーグをトップ通過しており、優勝に期待がかけられました。2次リーグも順当に勝ち進みましたが、最終戦となった山形大学との頂上決戦で4点差の惜敗を喫しました。本学と山形大学は7勝1敗の勝ち点で並びましたが、ゴールアドバンテージ1点差で準優勝という結果でした。しかし、2年連続で1回目のインカレ出場権を獲得することができました。

男子は2次リーグで振るわず4位で終え、インカレ出場とはなりませんでした。

インカレは11月23日から代々木第2体育館で開催されます。

個人賞は以下の通り

|            |              |
|------------|--------------|
| 【男子】リバウンド王 | 田賀 脩造 (体育1年) |
| 【女子】敢闘賞    | 中山 美穂 (体育4年) |
| 大会ベスト5     | 中山 美穂 (体育4年) |
|            | 菅野 恭子 (体育3年) |
| アシスト王      | 押切 奈々 (体育4年) |
|            | *2年連続        |
| リバウンド王     | 菅野 恭子 (体育3年) |
|            | *2年連続        |

## 安田尚造さんが仙台六大学野球リーグ初の100安打達成



安田尚造さん(体育学科4年)が秋季リーグ最終戦となった東北福祉大学との試合(今月4日)で4回に中前打を放ち、仙台六大学野球リーグ史上初の100安打を達成しました。安田さんは「今まで積み重ねてきたヒット1本でも欠けていれば達成できなかった数字。最終戦で達成できたのはめぐり合わせが良かった。」と、4年間戦った仙台六大学野球リーグに名を刻めた事を喜んでいま

す。森本監督も「リーグ戦はおよそ10試合。4年間で8回のリーグ戦があるが、1季で10本打てればよいとされるなか、安田は13本平均で打ってきた。この数字は素晴らしい。」と、1度の首位打者に輝き、主将としてもチームを牽引してきた安田さんを称えました。

安田さんは尽誠学園高校出身。高校2年生の時には8番セカンドで甲子園の地を踏んでいます。本学では1年生からレギュラーに定着し、チームの中心選手として活躍してきました。「目標だったリーグ優勝を一度も果たすことができず、悔いが残らないかと言ったら嘘になります。しかし、チームメートは将来は教員を希望などの具体的な目標を持った者ばかりで、練習以外でもよい刺激になりました。このチームの中でプレーできたことは自分の財産です。」と話し、「後輩達には自分達がいけなかった全国大会出場を果たしてもらいたい。」と、自分が成し遂げられなかった夢を後輩に託しました。

## スポーツパフォーマンス研究会HP

馬助教と荒井准教授が村岡功氏(早稲田大学スポーツ科学学術院)と共に行った研究論文がスポーツパフォーマンス研究会のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

スポーツパフォーマンス研究 <http://sports-performance.jp/>

# Monthly Report

Vol.42 広報室

平成21年11月27日発行

## 目次:

|                      |    |
|----------------------|----|
| 130周年記念式典            | 1  |
| 大学祭<br>自転車リョナルチーム    | 3  |
| 商標登録<br>エコキャップ       | 4  |
| 国際交流                 | 5  |
| 地域交流                 | 6  |
| 日経グローバル地域<br>貢献ランキング | 8  |
| 小学校からの御礼状            | 9  |
| 学生の活躍                | 10 |

## (学)朴沢学園130周年記念講演会・記念祝賀会



明治12年に松操私塾として開設した本学園は今年で創立130周年を迎えたことを記念し、11月18日(水)に江陽グランドホテル(仙台市内)において学校法人朴沢学園130周年記念講演会・記念祝賀会が挙行されました。

約300人もの方に出席いただく中、記念祝賀会では、前仙台市博物館長の佐藤憲一氏が調査資料を基に「朴沢氏の歴史」と題してご講演頂き、祝賀会では宮城県副知事の三浦秀一氏や、仙台市長の奥山恵美子氏にご臨席頂き、ご祝辞を頂戴しました。本学旧教職員もお祝いのため遠方から多数出席いただきました。

また、資料展示では裁縫技術を教授するための女子教育機関として開設した松操私塾開設(明治12年)から現在に至る貴重な資料が数多く展示され、客員教授の伊達宗弘先生が収集された松操私塾の開設時の「朴沢三代治裁縫私塾開業願」をはじめとする貴重な資料は、伝統を後世に受け継ぐものとして価値ある蔵書となり、国立国会図書館や宮城県立図書館などにも寄贈されました。

次頁で写真をご覧ください

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



## 記念講演



## 記念祝賀会



## 資料展示室





## 「2009仙台大学大学祭・スポーツフェスティバルin柴田」 今年も大盛況のうちに閉幕

10月31、11月1日に柴田町と共同で「2009仙台大学大学祭・スポーツフェスティバルin柴田」を開催し、延べ6000名の方にご来場いただきました。楽天野球団初代監督の田尾安志氏によるスポーツ講演会や人気アーティストによるライブ、スポーツイベントでは障害者サポートサークルによる「障害スポーツ交流会」や「ニュースポーツ交流会」、グランドゴルフ大会、ビニールバレー大会など、「スポーツフォアオール」をモットーとする本学らしく、誰もが楽しめる内容盛りだくさんでした。



## 自転車ナショナルチームが本学で強化合宿



10月26 - 30日の日程で日本自転車競技連盟ナショナルチームの強化合宿が本学の常圧低酸素室を使用して行なわれました。内丸講師がナショナルチームの医・科学スタッフを務めていることから実現したもので、今回は第1回ということで標高2500m相当の15.4%の低酸素状態に選手の体を慣らすことを大きな目的に、短期間での実施となりました。日中は仙台大学近隣で200kmほどのロードを行い、睡眠を含む練習以外の時間を低酸素室で過ごしました。低酸素状態で生活する事で、体内に酸素を運ぶ赤血球、ヘモグロビンを増やすための造血作用や、運動中に出てくる乳酸に対抗する能力向上が期待されています。

合宿の様子は新聞3紙で紹介されました。



## 本学初の商標登録～貯骨(ちよこつ)っとトレーニング～

本学園は「貯骨(ちよこつ)っとトレーニング」を平成21年10月23日付けで商標登録致しました。考案者は内丸講師で、知的財産権の所有者は朴沢学園です。商標登録番号は【第5275504号】です。

なお、商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務区分は以下の通りとなっております。

### 第9類

映写フィルム，スライドフィルム，スライドフィルム用マウント，インターネットを利用して受信し、及び保存することができる画像ファイル，録画済みビデオディスク・ビデオテープ・CD-ROM及びDVD

### 第16類

印刷物



## ペットボトルキャップ送付について

11月11日にNPO法人エコキャップ推進協会に対して第5回目のエコキャップ送付を行いました。今回送ったのは9600個で、これまでの送付総数は30400個となりました。この数は239.4kgの二酸化炭素の発生を抑制し、途上国の子供38人にポリオワクチン、結核のBCGワクチンなら108人に摂取させることができる量にあたります。

これからも皆さまのご協力をお願い致します。



NPO法人エコキャップ推進協会は、ペットボトルのキャップ収集事業を行い、キャップをゴミとして焼却処分するのではなく再資源化を促進することで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制し「地球環境を改善する」ことや、キャップの再資源化で得た売却益をもって「世界の子どもたちにワクチンを寄贈し救済する」ことを目的とした活動を行っています。

学生が集うKMCの自動販売機前に設置した「協力ボックス」に集まったペットボトルキャップ1600個を協会へ送付したことをきっかけに、学内でもこの活動に賛同し事務局が中心となって「地球温暖化防止プロジェクトチーム」を結成し、協力活動を推し進めています。

11月11日には、NPO法人エコキャップ推進協会に5回目となる送付を行いました。エコキャップ推進協会HP (<http://ecocap007.com/>)でも、活動内容や送付実績が確認できますのでご覧ください。

|     | 個数     | 発送日         |
|-----|--------|-------------|
| 第1回 | 1,600個 | 平成21年 5月 8日 |
| 第2回 | 9,600個 | 平成21年 7月 3日 |
| 第3回 | 4,800個 | 平成21年 7月17日 |
| 第4回 | 4,800個 | 平成21年 8月25日 |
| 第5回 | 9,600個 | 平成21年11月11日 |

## (社)中央青少年団体連絡協議会主催2009東アジア生命平和運動未来指導者養成プログラム



(社)中央青少年団体連絡協議会主催プログラムにより、相原絵里子さん(体育学科4年)が元早稲田大学総長西原春夫先生を含む日本団の一員として、11月13日～16日の日程で韓国に派遣されました。

このプログラムは、国際フォーラムなどを通じて東アジアにおける日中韓の役割を協議し世界平和のため日本、韓国、中国の次代を担う20代から30代までの学生や社会人らが互いに連携し、親睦を図ることを目的に開催されています。

この交流プログラム中には、英語での討論会が行われるため、語学力が必要ですが相原さんは、『放送大学』での英語中級Bの受講を機に、「もっと英語を話したい」と強く感じ、林怡夔講師の研究室に通い勉強を続けてきました。3年生の春季休業には、ニュージーランドに単身短期留学。今年の5月にはホームステイ先としてカーヤ二応用科学大学からの短期留学生を自宅に受け入れたり、東北大学の中国人留学生も受け入れたりと、積極的に異文化交流し、日々語学力を磨いてきました。今回、ウォーキング同好会の佐伯教授の推薦で訪問団にエントリー、派遣されることができました。相原さんは「折角の機会なので日本の

良さを伝えながら、各国の方々と交流をします。」と期待を旨に訪韓しました。

### 相原絵里子さん(体育学科4年)



今回の目的は、日中韓の同世代の青年たちが、世界平和を懇願し、日中韓それぞれが果たすべき役割を模索し認識することでした。実際にプログラムに参加し、話し合いをする中で「理解だけで終わらず行動に移していこう」という意見が多く、各国それぞれに平和を真剣に考えていることを実感しました。

来年は、横浜市に小学校教諭として正式採用が決まっています。今回の経験を通じて国際交流の大切さを話していきたいです。母国語に違いはあっても「英語」で話すことで喜びや経験を伝えられること。そして、自分のモットーとする「チャレンジ」し続けることを伝えていこうと思います。

学生支援センターのボランティア登録から、白石市の小学校へ支援や小学校での教育実習を通じて子供たちの成長を肌で感じ、一日中子供と接する小学校教諭になりたいと心が固まった相原さん。大学の後輩たちには、「仙台大学の教育資源を有効に吸収することを勧めたいし、学校現場での経験は強み」と話してくれました。

## 吉林体育学院宋学長来訪



11月12～16日の日程で本学と国際交流協定を締結している吉林体育学院の宋継新学長をはじめとする3名が来日しました。

12日には大学院の記念講義「中国における体育・スポーツの現状と『競技体育学』」が行われ、大学院はじめ学部生、教職員約80名が参加して聴講しました。同日にはホテル原田において歓迎会が開催され、同学院からの留学生も混じって交流を深めました。13日には国際交流大学間会議、施設見学などが行われました。





## フリスポ2009に本学も参加

10月24、25日に宮城県スポーツ振興財団が主催するフリーマーケットとスポーツの祭典「フリスポ2009」が宮城県総合運動公園（グランディー21）で開催されました。

同財団からの要請により本学でも、事業戦略室が中心となってブースを設け、健康福祉学科[体の健康度チェック]、YOSAKOIソーラン部JANBARI、漕艇部、B・L・S部、アームレスリング部も参加し、本学のPRを行ないました。



仙台大学ブース



健康福祉学科



漕艇部



アームレスリング部



B・L・S部



JANBARI!

## 第7回杜の都の地域福祉セミナー(主催:市社協)



写真提供/事業戦略室小室室長

地域住民や様々な団体が、地域活動の中でどのように連携していくかを考える「第7回杜の都の地域福祉セミナー」(主催:仙台市社会福祉協議会)が11月14日(土)に仙台市福祉プラザで開催されました。本学は「自治体との連携に基づく福祉支援活動」というタイトルでパネル展示を行い、乗松准教授が対応されました。興味・関心をもたれる方は非常に多く、持参した資料は全てなくなったとの事です。

## 生きがい健康づくり県南地区柴田大会(主催:県社協)



11月14日(土)に槻木生涯学習センターにおいていきいき学園OBを対象に「平成21年度生きがい健康づくり県南地区柴田大会」(主催:宮城県社会福祉協議会)が、開催されました。

講師として大学から4名が参加し、橋本学科長による講演「高齢者の健康づくり」や、近藤新助手、岩垂新助手、星昭伍さん(健康福祉学科3年)による簡易健康体操を提供しました。

## みやぎ大菊花展柴田大会に仙台大学学長賞がお目見え



台大学学長賞が設けられ、仙石平司さんの作品「国花由季」が受賞されました。



柴田町の秋の風物詩、「みやぎ大菊花展柴田大会」(実行委主催)が10月20日~11月10日まで船岡城址公園(同町船岡)で行われました。会場には県内6市4町、12団体の菊愛好家グループが丹精込めて育て上げた見事な大菊三本仕立て、千輪作り、大懸崖(だいけんかい)、小菊、福助など色とりどりの菊約2400鉢が展示されており、菊花一色、来場者の目を楽しませました。

菊花展は従来、町観光協会が主催してきた「しばた菊人形まつり」が財政難などを理由に06年で中止。以来、地元菊愛好家団体などが中心となって「伝統ある菊花展継続を」と、町内約110にのぼる企業や各種団体と協力し、町の助成金と協賛金による「官民協働」で運営を復活、装いを新たにして3年目となります。今年は初めて仙

11月27日(金)には各賞の表彰式がしばたの郷土館で行われ、学長代理として佐藤宏副学長が仙石さんに仙台大学学長賞を授与しました。

### 仙石平司さん

退職してから趣味を持とうと6年前に菊づくりをはじめました。美しい菊をつくるには子供を育てるように手間隙を惜しまないことが欠かせませんし、審査日に最高の状態になるように育てていく事も難しい点でもあり、奥が深く楽しい点でもあります。賞を頂くのは今回が初めてで、とても嬉しく感謝しています。今回がマグレと言われないようにこれからも菊づくりを頑張っていきたいと思います。



## 学都コンソーシアムサテライトキャンパス「仙台大学公開講座」開講



本学は昨年に引き続き、今年も平成21年度学都コンソーシアムサテライトキャンパス仙台大学公開講座「スポーツを科学的にサポートする方法」を4回にわたり、2講座開講します。高橋陽介新助手が講師を務める講座「アスレチックトレーナーからの提案～スポーツにおける下部障害の予防学～」は、11月14、21日に修了し、約20名の受講がありました。受講者は部活動を教える中・高の教員やスポーツに携わっている指導者などがほとんどで、トレーナーを目指す本学学生も受講しました。

12月5、12日には加賀洋平新助手による講座「S&Cコーチからの提案～成功する体づくり～」を開催予定で、すでに20名程の申込みがあります。若干空きがありますので、興味をもたれている教職員の皆さまや、周囲で興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非お声掛け頂き、受講下さい。（申込は12/5開講分...11/30〆切、12/12開講分...12/7〆切）

また、文部科学省の戦略的大学連携支援事業「仙台圏所在大学等の連携を強化・拡充する事による相互的及び総合的発展」主催で行われる「講座仙台学2009～仙台のスポーツ～」では12月26日（土）に中房教授が「仙台市：スポーツの史跡を訪ねる」と題して講義を行います。こちらも12月19日まで受講申し込み受け付けしていますので是非ご参加ください。（申込み先：広報室）

## 今年も「仙台大学シニアカレッジ」が開講



写真提供/事業戦略室 菊地担当課長

11月7日（土）に、平成21年度仙台大学シニアカレッジ「シニア地域指導者養成講座」開講式を受講生と関係教職員が出席する中、F棟101教室で執り行いました。今回も「地域スポーツ指導者コース」と「介護予防指導者コース」の2講座を開講し、延べ18名が受講しています。今回は、昨年の受講者アンケートの回答に多かった、「土・日曜日の方が出席しやすい」との声を反映して土曜日の開講とし、これまで全13講座を1日1講座開催だったものを、1日2講座開催にして日数を短縮し、受講生が学びやすいように配慮しています。

## 日経グローバルの地域貢献度ランキング

～総合44位、私立大学では328大学のうち12位に～

表2-1 総合ランキング（22位～103位）

| 総合順位 | 前回順位 | 前々回順位 | 大学名      | 国公立 | 本部所在地   | 総合得点 |
|------|------|-------|----------|-----|---------|------|
| 41   | 32   | 23    | 山形大学     | 国立  | 山形市     | 64   |
| 41   | 66   | 115   | 滋賀県立大学   | 公立  | 滋賀県彦根市  | 64   |
| 41   | 29   | 19    | 東北福祉大学   | 私立  | 仙台市     | 64   |
| 44   | 45   | 73    | 福井大学     | 国立  | 福井市     | 63   |
| 44   | 98   | 154   | 岐阜大学     | 国立  | 岐阜市     | 63   |
| 44   |      |       | 仙台大学     | 私立  | 宮城県柴田町  | 63   |
| 47   | 24   | 19    | 鳥取大学     | 国立  | 鳥取市     | 62   |
| 47   | 32   | 73    | 山口大学     | 国立  | 山口市     | 62   |
| 47   | 121  |       | 宮城大学     | 公立  | 宮城県大和町  | 62   |
| 47   | 63   | 90    | 秋田県立大学   | 公立  | 秋田市     | 62   |
| 47   | 106  | 179   | 石川県立看護大学 | 公立  | 石川県かほく市 | 62   |

日本経済新聞社産業地域研究所「日経グローバル」グループが本年9月に行った「大学・大学院大学の地域貢献度ランキング」調査に回答したところ、調査結果が「日経グローバル136号」（11月16日発行）に特集記事として掲載され、回答した全国の国公立私立大学・大学院大学の計740校の中で、本学は総合44位、私立大学だけでは328大学のうち12位と、いずれも上位にランキングされました。

## 「スポーツマネジメント実習」・「生涯スポーツ指導実習」で泉岳少年自然の家で活動した学生と担当教員の馬場先生に対して仙台市立東長町小学校の阿部誠一校長より御礼状が届いております。

仙台大学

馬場 宏輝 様

前略

突然の手紙、お許しください。

私、仙台市立東長町小学校の阿部と申します。実は、当校5年児童が9月10・11・12日の3日間、泉岳少年自然の家での野外活動の折、同施設で実習に入っておりまして貴大学の五名の女子学生に献身的なお世話をいただきました。

特に登山では、体力的に劣る児童に温かい言葉をかけていただき、児童もずいぶんと勇気づけられたことと思います。お陰様で、全員の児童が無事に登頂することができました。

つきましては、先生にはご迷惑をおかけすることと思いますが、同封の写真を学生さんにお渡しいただきますようお願い申し上げます。

はなはだ勝手なお願いで恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成21年11月12日

仙台市立東長町小学校

校長 阿部 誠一



学生

糟谷奈美さん(健康福祉学科4年)  
 飯田夏美さん(運動栄養学科3年)  
 岡本知夏さん(運動栄養学科3年)  
 鈴木明代さん(運動栄養学科2年)  
 横山奈々さん(運動栄養学科2年)

## 「第3回スポーツを考える会」開催



スポーツ情報マスメディア研究所は毎月20日(金)、仙台市青葉区のおでん三吉で「第3回仙台スポーツを考える会」を開催いたしました。朴澤学

長をはじめ東北経済産業局員や宮城県サッカー協会会長、新聞・放送関係者や市民スポーツクラブ、スポーツ団体幹部・東北大教授などスポーツに関心を持つ方々約30人に参加いただきました。論客ぞろいで大いに盛り上がり、「今年は楽天とベガルタにいい夢を見せてもらった。来期が楽しみ」や「地域スポーツの発展に欠かせないリーダーの育成が立ち遅れている」といった発言のほか「芝の上手な栽培法」まで飛び出し、談論風発。それぞれのスポーツへの思いを“交換”し合い、近日中の再会を期して閉会いたしました。今後も、当研究所はいろいろな企画を展開して人と人との交流を深める予定であります。皆様にはこれまで通りのご理解とご協力をお願い申し上げます。

<スポーツ情報マスメディア研究所>



## 第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会



11月20日～22日に代々木第一体育館（東京）で開催された「第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会」において亀山耕平さん（体育学科3年）がオリンピック選手らを抑えてあん馬（得点15.95点）で本学初となる種目別優勝を果たしました。

この大会は、団体総合と種目別の日本一を決める国内最大の大会で、本学からは団体総合に6名、種目別に3名が出場しました。団体戦ではインフルエンザの影響もあり、10位に終わりました。

なお、団体戦で優勝したKONAMIチームの半数は本学卒業生（関口栄一選手、上田和也選手、植松鉦治選手）で構成されており、最終種目：鉄棒の演技では、上記の3名がエントリーし、最終演技者の植松選手が着地をピタリと決める完璧な演技をして優勝を決めました。ロンドン五輪に向けて卒業生の更なる飛躍にも期待が持てます。

## 講道館杯柔道 田中美衣が63kg級準優勝



11月14日（土）に開催された講道館杯柔道体重量別選手権において、田中美衣（体育学科4年）が女子63kg級で準優勝しました。決勝戦は、これまで4度の対戦経験がある（2勝2敗）平井希選手（自衛隊体育学校）で、延長戦の末での惜敗でした。

田中の他にも女子部員7名が出場しましたが、あいにく結果は残せず、次回でのリベンジを応援しましょう。

## 男子バレーボール部が26季、13年ぶりのリーグ優勝



10月24、25日に「東北バレーボール大学男子1部秋季リーグ戦」の最終戦が行われ、本学男子バレーボール部は福島大学を3-2、東北学院大学を3-1で降して26季、13年ぶりのリーグ優勝を果たしました。

今年の男子バレーボール部は春季リーグ最終戦を惜敗して2位で終わりましたが、夏休みで強化

に取り組み、9月に行なわれた天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権東北ブロックを制して全国大会の切符を掴むなどチーム力をあげてきました。石丸監督も「これまでのリーグ戦では、最終週に勝てず、悔しい思いをしてきましたが、4年生を中心に学生たちが、人間的に強く成長してくれたと実感しています。やっと念願の優勝を勝ち取ることが出来ました。ひとえに、これまで男子バレーボール部を温かく見守り、支えていただいた全ての皆様のおかげです。この成績に満足することなく、さらに精進していきたいと思っています。」と話しています。

次の目標、『インカレベスト8以上』を目指し、男子バレー部の活躍に期待です。

男子バレーボール部は11月4日に学長室を訪れ、朴澤学長に秋季リーグ優勝とその翌週に行われた大学東北地区体育大会優勝の報告を行いました。

## アメリカンフットボール部 初の全国大会への挑戦



11月15日(日)に駒沢陸上競技場においてアメリカンフットボールの全日本大学選手権が開幕しました。今大会から地方にも全国大会の門戸が開かれたということで、注目度が非常に高く、複数の新聞社が取材に入り、大々的に報道されました。東北大学リーグを13年ぶりに制した本学アメリカンフット

ボール部は、東北地区代表として強豪が集う関東リーグを制した早稲田大学と対戦し戦いには敗れましたが、タッチダウンを決めるなど、伝統校に一矢報いました。大会にはOBをはじめ、東北大学リーグの東北大学や岩手大学の選手が応援に駆けつけ、声援で選手を後押ししてくれたそうです。今大会で高レベルの戦いを経験できたことは、これからのチームづくりの大きな材料になったことでしょう。

アメリカンフットボール部のHPにはファンの方が早稲田大学戦を撮影した72枚の写真が掲出しております。試合の様子が伝わってくる素晴らしい写真ばかりですのでどうぞご覧下さい。

<http://dreamfighter.jp/gallery/sendai/>

主将：新藤政幸さん(健康福祉学科4年)

自分達にとって初めて立つ全国の舞台ということで、前半は浮き足立ってしまい、ゲームをコントロールする事ができませんでした。後半からは平常心を取り戻し、タッチダウンを奪う事ができたことはチームの大きな自信となりました。

早稲田大学はタックル・反応・スピードともに素晴らしく、チーム力の高さを感じましたが、我がチームはケガ人も出ず、体の強さでは負けていなかったと思います。日頃の練習の成果を感じることができたとともに、試合前はチーム力の差が大きいと決め付けていました

4年生は今大会で引退するので、後輩達には全国大会に出場した事に満足せず、学生トップチームとの対戦から学んで高いレベルで戦ってほしいです。間もなく入るシーズンオフでは、部員達で今シーズンを反省する機会をつくって勉強し、全国大会で勝つ事を目標にして頑張ってください。

最後に、応援していただいたOB・OG、大学関係者、東北大学リーグの選手、大会関係者の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 日台軟式野球親善国際大会の日本代表に及川善史さん(体育学科3年)が選出



12月9-15日に台湾台北市で行われる第5回日台軟式野球親善国際大会に全日本大学軟式野球チームの代表として及川善史さん(体育学科3年)が選出されました。本学軟式野球部から代表選出は初めてのことで、今回の代表選考では各連盟に推薦枠を与えるのではなく、試合の指揮をとる監督・コーチが実際

にプレーを観てメンバーを集めたそうです。そのため、今回選抜された意味合いは大きく、及川さんも「自分のプレーが認められたことが素直に嬉しいです」と話しています。

及川さんは利府高校(宮城県)出身。高校では11番・中堅守として1年生の秋からレギュラーに定着して甲子園出場を夢見て汗を流しました。

「軟式野球のボールは弾むので、ボールをたたき付ければ足に自信を持つ自分にとっては有利」と、大学では硬式野球から軟式野球に転向。昨年秋から1年間は主将としてチームを牽引しました。及川さんは身長155cmと小柄ですが、「野球をするうえで不利な点は何もありません。ストライクゾーンが狭くなるので相手投手は投げにくくなるし、小回りがきくので守備もスムーズに処理できます。有利な点しか見つかりません。」と話し、今回の代表選出についても、「自分のセールスポイントは足なので走塁や守備範囲の広さを見て欲しい。」と話しています。



## 杜の都全日本大学女子駅伝に

10月25日(日)に第27回杜の都全日本大学女子駅伝が開催され、東北学連選抜チーム代表として本学陸上競技部の志賀愛香さんと東川陽子さん(共に体育学科3年)が出場しました。東北学連選抜チームの総合タイムは2時間21分08秒で、志賀さんは2区(6.6km)を24分03秒、東川さんは5区(4.0km)を14分39秒で杜の都路を駆け抜けました。

### 東川陽子さん、志賀愛香さん

昨年よりも速いタイムを出しましたが、全体のレベルが上がっているため順位は昨年よりも悪くなってしまい、全国の地区の代表との差はまだ大きいと感じました。

来年度の新入生にはスピードのある選手が入学予定なので、学年を超えて互いに刺激しあい、チームでモチベーションをあげ、来年は仙台大学チームとして出場できるように頑張りたいです。



写真は志賀愛香さん

## 東京在住のボートファンから漕艇部宛のお手紙

東京在住のボートファン(無記名)の方から漕艇部宛にお手紙と今年のインカレの写真が届きました。文面から察するところ、差出人の方は男子エイトに特に関心が高いようで、強豪チームの中でも仙台大学へ大きな期待をかけて下さっているようです。漕艇部の阿部監督は「たいへん勇気付けられる。差出人は大会に足繁く通っているあの方でしょうね。」と、だいたいの察しがついているようです。

漕艇部は創部以来多くの方々に応援していただいております。これまでも何度か大会の様子を頂戴しているそうです。また、ここ柴田町でも練習中に「がんばって」と手を振りながら応援してくれる町民の方々が多く、部員の励みになっています。

このお手紙と写真は漕艇部の寮に飾られています。



<手紙の内容の一部>

来年の8月のインカレまでに男子エイト種目で5分50~55秒をコンスタントに出せる実力をつけてもらい、9月の全日本選手権でファイナルに進んで、全国のボートファンを熱狂・感涙させてください。

## 第14回 新体操演技発表会を11月29日に開催

年に1度、仙台大学ジュニア新体操教室に通うこども達(約100名)の演技を保護者に発表する「新体操演技発表会」を11月29日(日)に開催いたします。一般の方も観覧できますので、どうぞ足をお運び下さい。発表会には幼児から小学校6年生で構成する「ジュニア新体操教室」のこども達の他、競技会に出場する小中学生で構成の「仙台大RGJ」、仙台大学新体操競技部、仙台大学男子新体操同好会が参加します。

全日本インカレ第3位の仙台大学団体チームや賛助出演にて全日本クラブ団体選手権第3位のチームとトップレベルの演技も披露されます。今回は夢と希望に満ちた「輝き」をテーマに発表会を開催いたします。ジュニア達の可愛い演技が楽しみです。



# Monthly Report

Vol.43 広報室

平成21年12月25日発行

## 目次:

|                        |   |
|------------------------|---|
| 韓国体育大学校強化合宿            | 1 |
| 現代GP                   | 2 |
| 就職ガイダンス<br>ライブ・ランニング授業 | 3 |
| 国際交流                   | 5 |
| 札幌近郊同窓会<br>高校会         | 6 |
| 感謝状                    | 7 |
| エコ川柳・標語募集<br>ルブル       | 8 |
| 学生の活躍                  | 9 |

## 韓国体育大学校の柔道女子チームが本学で強化合宿開催



12月17～24日の日程で、韓国体育大学校柔道女子チーム25名が本学で強化合宿を行いました。韓国体育大学校と本学は、昨年3月に国際交流協定を締結し、今年2月には本学から柔道部19名が同大学校を訪問して合同強化合宿を行うなどして交流を図っています。

18日(金)には韓国体育学院柔道部を代表して程鉉澤(チョンヒョン)監督と韓国ナショナル強化指定を受けている李貞銀(イジョン)選手が柴田町の滝口町長を表敬訪問しました。懇談でチョン監督は「韓国体育大学校と仙台大学の選手が国際大会の決勝で対戦できるように、互いに頑張りたい」と話されました。

23日には合宿の締めくくりとして交流試合(10人戦)が行われ、熱戦が繰り広げられました。県内の柔道関係者や、朴澤学長をはじめとする教職員が見学に訪れました。同日には歡送迎パーティーが学生食堂で執り行われ、合宿の慰労と今後の両大学の活躍を祈念し、交流を深めました。なお、この会ではこの度(株)GANBAXより提供いただいた本学の「Welcome party」と「Farewell party」の幕も初めて披露されました。

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



## 現代G P『地域密着型の健康づくり支援システムの構築』最終報告会



12月13日(日)にホテル原田inさくら(柴田町内)において現代G P『地域密着型の健康づくり支援システムの構築』の最終報告会が開催され、関係した学生、教職員、この事業に参加した柴田町の方、合わせて約200名が参加しました。

報告会の第1部では、早稲田大学の岡浩一郎先生による基調講演「これからの地域における健康づくりと今後の課題 大学の役割と行政の役割」を行い、東京都や新潟県で実施したモデル事業を例に、「地域の健康づくりに地域住民・行政・大学の連携が欠かすことはできない」などの話がありました。

第2部では、橋本学科長が事業の3年間を振り返り、「学生は地域の方々と共に学ばせていただきありがとうございました。学生が地域社会にとけ込む事で地域の活性化につながり、高齢者の方も運動を続ける活力となったのではないかと思います。大学・町・高齢者の3者にとって良い事ばかりで、今後もこの事業を続けて行きたいです。」と報告しました。

その後、健康づくり運動サポーターが来場者と共に「楽しい運動」を行い、これまで培ったスキルを披露し、盛会のうちに終了しました。

## 第3回健康づくり運動サポーター認定証書授与式



12月3日(木)にA棟大会議室において第3回健康づくり運動サポーター認定証書授与式が執り行われ、取得者一人ひとりに朴澤学長から認定証書が手渡されました。今回認定されたのは初級17名と中級4名の延べ21名で、これまでの累計取得者は初級が81名、中級が15名となりました。

今年度は新型インフルエンザの影響により、健康講座が延期になったり、予定していた学生が参加できなくなったりなど、実習がスムーズに進まず、取得が遅れています。しかし、21年度内には現在受講中の学生たちは、取得できるように進めているところです。認定書を受け取った学生の中には4年生も多く、朴澤学長が「就職先でも是非、この資格を生かしてよい仕事をして欲しい」と訓示されました。

## 第4回 現代G P「健康づくり運動サポーター養成事業」大学・地域評価委員会



12月3日(木)にA棟大会議室において現代G P「健康づくり運動サポーター養成事業」の第4回大学・地域評価委員会が開催され、健康づくり運動サポーター事業の実施状況・認定状況・プログラムの履修状況の報告と、決算報告がなされました。委員の方々からも積極的にご意見や提言を頂戴し、たいへん有意義な会となりました。

また、委員会から3月中旬に総括となる大学・地域評価委員会の開催要望があり、実施する事になりました。

## 第3回就職ガイダンス



11月10日(一般企業系)ならびに12月1日(公務員系)の2日にわたり、第3回就職ガイダンスが開催され、3年生(2年生のキャリアプランニング学生含む)総計約400名の参加がありました。

神奈川県横浜市と愛知県名古屋市の小学校教員採用試験に合格し、合格者名簿登載を受けた千葉智美さん(体育学科4年)からは、「勉強を習慣づける事が大事」と、毎朝1時間の早朝ランニングの後に勉強をしていた事経験に基づく話がされ、「図書館に行くと友達が勉強していることが、自分の焦り・勇気となった、4年生になってからは部活と勉強を両立し、辛かったが、最後の大会(トライアスロン)で満足の行く成績をおさめることができ、就職の面でも合格者名簿に登載され、最高の結果を出す事ができました。皆さんも自分の目標に向かって頑張ってください。」と話がありました。聴講した学生も、就職戦線が厳しい状況の中で内定・採用試験に合格をした4年生の話聞いて就職活動への意識を高めているようでした。

## 企業が提案する「ライフプランニング授業(体験学習)」を、仲野・柳研究室合同ゼミで実施

～ グループごとに仮想家族をつくり人生設計の疑似体験 ～



12月17日、A301演習室において仲野研究室と柳研究室の学生ら18名が体験学習「ライフプランニング授業」を体験しました。

まず、6～7名で1グループ、計3グループ(男女&両ゼミ混合)にわかれ、人生設計のプロフェッショナルであるライフプランナー\*が講師となり、グループに1名のライフプランナーが加わり、将来の家族計画を想定し、将来実現したい計画や夢をシミュレーションソフトを使用しながら検証しました。

家族が増えるごとに教育費が増加したり、旅行などの資金計画の必要性や万が一への備えなど、グラフ化された収支の未来予想図に、真剣な眼差しで取り組む姿が見られました。

今回、ライフプランニングの授業はソニー生命保険㈱が社会貢献の一つとして行っている人生設

計の体験学習で、現在全国の中学校や高校、大学あわせて100校を超えて実施展開している授業だそうです。同社の長谷川さんが仲野教授と知人(スペシャルオリンピックス日本・宮城：テニスプログラムのコーチ仲間)であることから、研究室の学生らの将来設計のヒントになるであろうと、学生のキャリアプランニングのひとつに繋げることを目的に開催したものです。この様子は宮城テレビの取材を受け、同日の「OH!バンデス」で放映されました。

\*ライフプランナー・・・ソニー生命保険㈱の登録商標





## スポーツ栄養セミナー開催



12月8日にB300教室において第8回スポーツ栄養セミナーが開催され、運動栄養学科の学生約130名が参加しました。今年は江崎グリコ株式

会社の吉谷佳代氏を講師に招き「スポーツサプリメントの研究開発の現場における管理栄養士としての仕事」という演題で講演していただきました。吉谷氏はスポーツサプリメントの研究開発をしながら、管理栄養士としてトップアスリートに食事とサプリメントの指導もされている方です。講演ではお菓子の製造工程、サプリメント開発の魅力や苦労話、選手への食事やサプリメント指導などの説明がされた後、学生へのメッセージとして、「学生時代はインプット（知識を貯める）し、社会に出た時にアウトプット（知識を活かす）しなければなりません。社会に出た時のために学生の内に多くの事にチャレンジし、知識をたくさん蓄えて下さい。」とのアドバイスをいただきました。

## 管理栄養士国家試験「第1回受験者激励会」を開催



試験に臨む卒業生が母校・仙台大学に集い「受験者激励会」が開催された。

朴澤学長からの激励に続き、東京アカデミー小田嶋講師による「国家試験の動向」について講義がなされた。合格のための直々のアドバイスがあり、真剣に聞き入っている参加者たち。さらに、管理栄養士に合格した卒業生による体験談では、運動栄養学科1期生の櫻井敬子さんと佐藤亜樹さんが心のこもった体験談を披露した。実体験が参加者の心に響いている様子が感じられた。参加者からの質問も積極的に展開され、一つ一つの質問に対して、アカデミー小田嶋講師と合格者二人の率直な返答がなされた。

参加した受験生は意気軒昂に闘志を燃やして、その場をあとにした。

< 仙台大学管理栄養士国家試験「合格修練会」 >

## 平成21年度 仙台大学教職員親睦会総会・忘年会



12月4日に平成21年度仙台大学教職員親睦会総会・忘年会がホテルメトロポリタン仙台において開催され、法人本部からは小島専務理事をはじめ星常務、斎常務理事のご出席をいただき総勢134名が参加する盛大な会となりました。

総会において、年次活動報告および会計報告(中

間)が行われた後、続いて忘年会が開催されました。今年度の催しとしては、本学卒業生である吉田葵衣さん(体育学科卒)のフラメンコのグループ「Lotus(ロータス)」を招き、マリンバ・ピアノ・フラメンコのコンサートが行われました。吉田さんは明成高校から進学し、本学を卒業後、本場スペインへフラメンコ留学し本場の舞台上で経験を積み重ねられました。音楽とフラメンコの共演に魅了された忘年会となりました。

## 上海体育学院から党委書記の虞麗娟氏はじめ5名が来訪



12月10日～12日の日程で、上海体育学院から党委書記の虞麗娟氏はじめ5名が来学しました。11日に行われた国際交流大学間会議では、

今後の両大学の交流について積極的な意見交換がなされました。この他、施設見学や宮城県内の観光を行い、日本文化にも触れていただきました。

同学院と本学は、平成14年5月に国際交流協定を結び、研究生を受入れるなどして交流を図っております。平成20、21年には中国国費留学生として本学から学生2名が派遣され同学院で知識を深めています。

### 今回の来訪者

虞麗娟（党委書記）、陳曉峰（学長室長）、陸愛云（図書館長）、金銀日（通訳）、毛倩（国際交流処長補佐）

## 国際交流会館(2010年4月完成予定)地鎮祭



来年4月に船岡南倉庫跡地に開所する国際交流会館の地鎮祭が12月6日(日)に執り行われ、法人本部から小島専務理事と星・齋常務理事、本学から朴澤学長はじめ佐藤副学長、森国際交流センター長、佐々木事務局長、管理課の丸谷課長と鈴木職員が参列しました。国際交流センターは、外国人留学生の寮室を39部屋有する3階建てで、海外からの来賓の宿泊施設としても利用が予定されています。

## 喫煙所から禁煙指導室へ



～非喫煙者に害を与えない、学生に禁煙を押し測るための試み～

分煙を目的として、学内に喫煙所2箇所（B・C棟間、第一体育館北側）に囲いが設置されました。これまでは枠がなかったために喫煙所付近の広範囲で喫煙する姿が見られました。今後は、分煙のため、囲いの中での喫煙をよろしくお願いします。また、名称を禁煙指導室として、学内での禁煙を押し進めていくそうですので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。



## 札幌近郊同窓会



12月5日（土）に札幌近郊同窓会がホテルポールスター札幌（札幌市内）で開催され、本学からも朴澤学長、同窓会会長の鈴木省三教授、副会長の半澤和茂さん、穴戸教授が出席し、本学の近況を報告するなどして交流を深めました。

開催地が北海道札幌であるにもかかわらず80名もの参加を頂き、北海道支部の本学への期待と同窓生生の結束の固さが感じられ、大変ありがたい同窓会開催でありました。

## 仙台大学高校会



11月28日（土）にホテル白萩（仙台市青葉区）において、第8回仙台大学高校会が開催されました。仙台大学高校会は、仙台大学の卒業生で、県内の高等学校に勤務する管理職・体育教員並びに講師で組織された会です。

当日は高校会から32名と本学から13名の計45名が参加し、滝川雅啓会長（利府支援学校教頭）より冒頭の挨拶があり、引き続き、福岡梓教諭（古川学園高校・硬式野球部監督）から秋季高校野球宮城大会優勝報告・阿部由晴教諭（常盤木学園高校・女子サッカー部監督）から大会史上初となる全日本女子ユースサッカー選手権3連覇報告などが行なわれました。また、本学からは朴澤理事長・学長から大学の現況報告、佐々木事務局長兼入試創職室長から同窓生教員推薦制度への協力依頼などが行なわれました。大学と同窓生教員との連携強化が確認され、盛会裏に終わりました。

# YOSAKOIソーラン部JANBARI! 宛に御礼状が届いております



平成21年11月27日

仙台大学 学生支援室長 殿

角田市立金津中学校  
校長 吉川 隆行

よさこい指導について（お礼）

晩秋の候、貴職におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、この度は、よさこい部の学生の皆さんに「南中ソーラン節」の踊りを基本からわかりやすく教えていただき、過日、行われた文化祭では、練習の成果を發揮し、元気に踊ることができました。心より感謝申し上げます。当日はアンコールの声がかかるほど会場からたくさん拍手をもらい、生徒にとって大きな自信になりました。

つきましては、生徒のお礼状並びに写真を送付させていただきます。学生の皆さんによりしくお伝えいただけますようよろしくお願い申し上げます。

角田市立金津中学校  
2学年 担当 大槻 節子  
TEL 0224-63-1143

学生の皆さんへ

この間は、お世話になりました。学生の皆さんのおかげで、深山祭も素晴らしいものになりました。

初めは、みんなも「まじょ」な「ソーラン節」だったので、皆さんが丁寧に教えてくれたので、たくさんの方々の歓声や拍手がとても気持ちよかったです。

本当にありがとうございました。

私達は「ソーラン節」も本当に大好きになりました。もちろん、よさを1から10まで教えてくれたのは学生の皆さんです。

今度は「角田文壇学校」との交流会で「ソーラン節」を踊ります。少しでも喜んでほしいと思います。他にも「ふるさと祭り」やイベントで、踊りたい人も出てきています。

これからも楽しく、優しく教えてくれたおかげで、この「ソーラン節」大切にしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

金津中学校 2年生 一同より

Greetings  
© 2009 Greetings Inc. All Rights Reserved.  
Copyright is a registered trademark of Greetings Inc.

# スポーツマネジメント実習・「生涯スポーツ指導実習」で活動した学生と担当教員の馬場先生に対して御礼状が届いております

No.2

馬場先生のご指導のおかげだと思います。さわやかな態度で子ども達に接しておられました。私も十年ぶり位の登山でしたが、皆様のおかげで何とか頂上までたどりつきました。その時に撮影させていただいた写真が仕上がりましたので、お届けいたします。冬休みになると思いますが、4人の皆様にお渡しさせていただきます。お忙しいところ、すみませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。皆様が指導員を目指していららるとうが良かったです。きっと素敵な指導員になれることでしょう。またお会いできることを楽しみにしております。本業ながら、先生のご健康と、貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。御礼が届いてすみませんでした。どうぞよいお年をお迎え下さいませ。

宮下 真奈子  
12月31日

No.1

12月になり、寒さの感じられる今日このごろでございます。突然、お手紙をさせていただきます。御無礼をお詫言させていただきます。

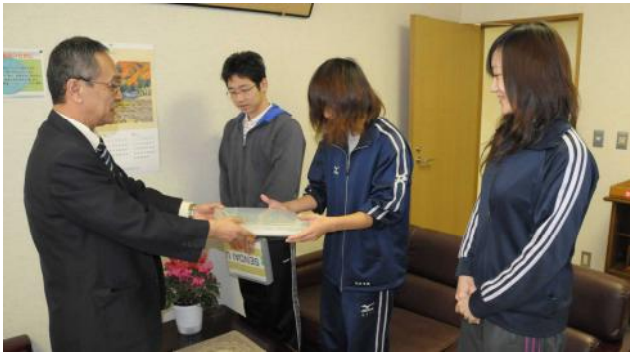
9月17日に、仙台少年の家で貴大学の皆様にご大変お世話になりました。衆岳登山の際、体調をくずした男の子が1名おりました。そのとき、高北良啓さんが頂上から藪までつぎまわり、つきまわして下さいました。また、水俣から、小山真男さん、五十嵐 毅さん、土屋 裕晴さん、4名の皆様が荷物を持って下さり、励ましの声をかけて下さり、何となく全員無事に登山を終えることが出来ました。保護者の小林と、私の二人では、とても大変だったと存じます。

学友さんは、後半には皆様ののおかげで笑顔で下山することが出来ました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。





## エコ川柳・標語 募集について



学生のゴミ捨てに関する意識改革をすることを目指し、ゴミ捨てマナーを守ること、エコロジーとマナーアップをめざし、地球温暖化防止プロジェクトチームと題した事務局が中心となって提案し、エコ（特にゴミ）についての川柳・標語、今後のキャンペーン名を教職員・学生に募集しました。

応募総数62通の作品は、プロジェクトチームにより下記のとおり選出されました。応募された皆様、ご協力ありがとうございました。選出された方々には、賞品として仙台大学オリジナルグッズが送られました。



佐藤佳代子さん 藤澤里緒さん 高橋英美さん 外川 晋さん

### キャンペーン名 優秀賞

「GREEN SPORT & CLEAN SPORT」（中房敏朗教授）

優秀作品 「捨てちゃうの？ ゴミとマナーと思いやり」（佐藤佳代子さん・学生支援室）

佳作 「ばれなきゃいいゴミのポイ捨てだめだよ」（高橋英美さん・運動栄養学科1年）

「まあいっか！ それが重なりゴミ大学」（藤澤里緒さん・運動栄養学科1年）

「そのゴミをあなたは部屋に捨てますか」（外川 晋さん・運動栄養学科1年）

「見ないふりしないで 未来の教師たち」（広報室）

「見ているよきみの教え子 未来から」（広報室）

今後は、ポスターなどに掲示し学生らに呼びかけていく予定です。

< 仙台大学地球温暖化防止プロジェクトチーム >

## 栗木一博教授も執筆した宮城県教育委員会発行『最新の研究による「ルルブル」のすすめ』



栗木一博教授も執筆した『最新の研究による「ルルブル」のすすめ』（宮城県教育委員会発行）が県内の小学校で配られ、宮城県のHPにも掲出されています。 <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/ruruburanpanfu.pdf>

成長期の子供たちに大切な生活習慣が身に付くよう、各家庭で取り組むためのヒントや解説がわかりやすく紹介されています。小さいお子さんがいるご家庭では是非、ご活用下さい。

「ルルブル」とは・・・宮城県が推進している

しっかり寝ル・きちんと食ベル・

よく遊ブで健やかに伸びル元気な子

## 田中美衣さんが柔道GP青島大会(中国)、東アジア大会で金メダル



柔道部の田中美衣さん(体育学科4年)が、女子柔道63kg級日本代表として11月28日に中国・青島で行なわれた「柔道グランプリ青島大会」、12月12日(土)に香港で行われた東アジア大会に出場し、両大会で金メダルに輝きました。

柔道には今年からポイント制が導入され、田中さんは現在420ポイントで世界ランキング7位となっています。来年1月16、17日にランキング15位以内の選手だけで争われる2010ワールドマスターズ(韓国開催)への出場が決まっています。

### -63 kg IJF World Ranking List

updated 13th Dec 2009



| Ranking | Nation | Continent | PO           | IJF ID | FAMILY NAME | Given name  | Score | Wrestling | Judo | Sambo | Wrestling | Judo | Sambo | Wrestling | Judo | Sambo | Wrestling | Judo | Sambo | Wrestling | Judo | Sambo |     |
|---------|--------|-----------|--------------|--------|-------------|-------------|-------|-----------|------|-------|-----------|------|-------|-----------|------|-------|-----------|------|-------|-----------|------|-------|-----|
| 1       | JPN    | JUA       | 081380000461 | 102872 | UENO        | Yoshie      | 1480  | 500       | 300  | 300   | 200       | 180  | 180   | 1480      | 300  | 200   |           |      |       |           |      |       |     |
| 2       | NED    | EUJ       | 081320000401 | 100761 | WILFFOORDSE | Ellenbeth   | 640   | 300       | 120  | 100   | 60        | 60   | 218   | 752       | 40   | 60    | 120       | 36   |       |           |      |       |     |
| 3       | SLO    | EUJ       | 081220000464 | 100841 | ZOLNIR      | Linda       | 580   | 200       | 180  | 100   | 60        | 40   | 224   | 604       |      |       | 40        | 24   | 60    | 180       | 200  |       |     |
| 4       | GER    | EUJ       | 081360001700 | 101106 | MALZAHN     | Claudia     | 576   | 300       | 200  | 40    | 36        |      | 336   | 576       |      |       |           |      | 36    |           | 300  | 40    | 200 |
| 5       | FRA    | EUJ       | 081240000807 | 102174 | EMANE       | Gervilve    | 560   | 200       | 120  | 120   | 60        | 440  | 500   |           |      |       |           |      |       | 120       | 60   |       | 200 |
| 6       | NED    | EUJ       | 081320000261 | 100216 | EMSPER      | Anika       | 500   | 180       | 120  | 80    | 60        | 518  | 584   |           |      | 60    |           | 40   | 8     |           | 120  | 60    | 180 |
| 7       | JPN    | JUA       | 081300000168 | 111404 | TANAKA      | MIKI        | 430   | 200       | 120  | 100   |           | 320  | 420   | 100       |      |       |           |      |       |           |      |       | 200 |
| 8       | ISR    | EUJ       | 081360001804 | 102601 | SCHLESINGER | Allie       | 412   | 200       | 72   | 60    | 60        | 20   | 120   | 432       |      |       |           | 20   | 72    | 60        |      | 60    | 20  |
| 9       | RUS    | EUJ       | 081240000208 | 104630 | KOVAL       | Vera        | 400   | 120       | 108  | 100   | 60        | 12   | 180   | 400       | 12   | 120   |           |      | 108   |           |      |       |     |
| 10      | FRA    | EUJ       | 081260000464 | 102736 | PELONZI     | Marjelle    | 400   | 300       | 60   | 40    |           | 400  | 400   |           |      |       |           |      |       | 40        | 300  |       |     |
| 11      | JPN    | JUA       | 081300000900 | 102133 | KOHA        | Naomasa     | 390   | 180       | 120  | 60    |           | 360  | 360   | 180       |      |       |           |      |       |           | 60   |       | 120 |
| 12      | GER    | EUJ       | 081310000108 | 105607 | AHRENZ      | Claudia     | 340   | 120       | 60   | 60    | 60        | 180  | 376   | 60        |      |       |           |      | 40    | 28        | 60   |       | 120 |
| 13      | CHN    | JUA       | 081310000108 | 111517 | LI          | Meiling     | 340   | 180       | 100  | 40    | 20        | 40   | 340   |           |      |       |           |      |       |           |      |       | 100 |
| 14      | CRO    | EUJ       | 081300000108 | 100835 | MERONVIC    | Marijana    | 292   | 120       | 100  | 72    |           | 120  | 292   | 120       | 100  |       |           |      |       |           |      |       |     |
| 15      | JPN    | JUA       | 081300000108 | 102460 | TAKIMOTO    | Ayumi       | 280   | 180       | 100  |       |           | 180  | 280   |           |      |       |           |      |       |           |      |       |     |
| 16      | FRA    | EUJ       | 081300000107 | 105620 | POL         | Kerri-Laure | 280   | 100       | 80   | 40    | 40        | 40   | 280   |           |      |       |           |      |       |           | 60   | 40    | 40  |
| 17      | MGL    | JUA       | 081220000804 | 100998 | MUNKHZAYA   | Tendevsuren | 236   | 100       | 72   | 60    | 4         | 0    | 236   |           |      |       |           |      |       |           |      | 4     | 100 |
| 18      | ISR    | EUJ       | 081360000208 | 103813 | GEIS        | Yarden      | 208   | 100       | 80   | 16    | 12        | 80   | 208   |           |      |       |           |      |       |           | 16   | 100   | 80  |
| 19      | KOR    | JUA       | 081380000104 | 106107 | KIM         | Ja-Young    | 196   | 80        | 60   | 36    | 20        | 60   | 196   |           |      |       |           |      |       |           |      |       | 20  |
| 20      | KOR    | JUA       | 081310000104 | 111711 | JOUNG       | Da-yeon     | 176   | 100       | 60   | 36    |           | 36   | 176   |           |      |       |           |      |       |           |      |       | 60  |
| 21      | SEN    | AJU       | 700004       |        | SEY         | Fary        | 180   | 180       |      |       |           | 0    | 180   |           |      |       |           |      |       |           |      |       | 180 |

国際柔道連盟HPより

## 亀山耕平の体操ワールドカップ派遣が決定



来年3月2～10日に行われる体操のワールドカップシリーズモントリオール大会に、亀山耕平(体育学科3年)の派遣が決定致しました。

亀山は今年5月の「第43回東日本学生体操競技選手権大会」で種目別あん馬を制すると、11月の「第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会」でも種目別あん馬を制して優勝するなど、あん馬種目においては日本を代表する選手に成長しました。

1月25～31日のナショナル強化合宿を経て、初のワールドカップの地を踏むこととなります。世界大会での亀山の活躍にご注目下さい。

12月10日(木)には朴澤学長に優勝と、ワールドカップシリーズ出場決定の報告を行いました。

## OBの関口栄一選手が跳馬で金メダル

12月12、13日に行われた豊田国際体操競技大会において、関口栄一選手が種目別：跳馬で16.325(1回目：16.575、2回目：16.075)の高得点で優勝しました。



日本体操協会公式HPより



## 第14回 新体操演技発表会盛会裏に閉幕



1月29日(日)に第4体育館を会場にして第14回新体操演技発表会が行われ、ジュニア新体操教室に通う子ども達が日頃の練習の成果を披露しました。子ども達の保護者や一般の観覧者286名が見守る中、可愛らしくも堂々とした演技で開場を魅了しました。

また、本学の新体操競技と男子新体操同好会が参加して、このイベントに彩を与えました。

## DAN DAN DANCE & SPORTS 6th



1月23日(土)にえずこホールにおいてDAN DAN DANCE & SPORTS 6thが催されます。このイベントは踊る事を通して地域交流を図るイベントで、県南に活動拠点を持つダンスグループが出演を予定しており、本学からも新体操競技部をはじめ多くの学生が参加を予定しています。音楽や照明を効果的に使った迫力あるダンスは必見です。どうぞ来場下さい。

日程：1月23日(土) 14時(13時半開場)  
 場所：えずこホール<大河原町字小島1-1>  
 入場無料

## 平成21年度大学教育改革プログラム合同フォーラム

**平成21年度 高等教育の現場からの情報発信**  
**大学教育改革プログラム**  
**合同フォーラム** 参加無料

参加プログラム

- ☑ 大学教育推進プログラム
- ☑ 学生支援推進プログラム
- ☑ グローバルCOEプログラム
- ☑ 大学院教育改革推進プログラム
- ☑ 戦略的大学連携支援プログラム
- ☑ 国際化拠点整備事業
- ☑ 周産期医療環境整備事業
- ☑ 看護職キャリアシステム構築プラン
- ☑ がんプロフェッショナル養成プラン

会場：東京ビッグサイト  
 日時：1月7日(金) 13:00~17:00  
 1月8日(土) 9:00~17:00

http://www.Bunkyo21.org

1月7、8日に東京ビッグサイトにおいて「平成21年度大学教育改革プログラム合同フォーラム」が開催され、3ヵ年計画の最終年度となる本学も、現代GP『地域密着型の健康づくり支援システムの構築』ポスターセッションに参加することが決まりました。

このフォーラムは、文部科学省が国公立大学の大学教育改革を目的に選定された取組みが一堂に会し、積極的な意見交換や議論を交わすことで、その取組みの教育的財産の共有を図ることを目的としています。フォーラムは、「基調講演」、「職員向け講演」、「各プログラム別の分科会」及び選定された取組を紹介する「ポスターセッション」から構成されています。

なお、ポスターセッションは11時~16時半の時間で行われます。

詳細は(財)文教協会HPでご確認下さい。  
<http://www.bunkyo21.org/>

## (学) 朴沢学園 創立130周年記念企画展ならびに開放講座のご案内

### ～ 朴沢学園と宮城県文化振興財団が共催～

明治12年に松操私塾として創設された本学園、朴沢学園について、「公文書資料」「明治時代の教材」「卒業生作品」とともに、130年の歴史と実学の継承を広く宮城県民のみなさまにご紹介いたします。

今回の展示でも公開する「朴沢学園公文書資料集」は、全国的にトップレベルの公文書管理が整備されている宮城県公文書館、関係機関の協力を得て、国へ提出された開学願をはじめとする貴重な複製資料です。

また、同日程で開放講座が下記日程で開催されます。入場無料ですので、ご家族とともに是非ともお



|      |                          |                                                            |
|------|--------------------------|------------------------------------------------------------|
| 企画展  | 日時                       | 平成22年1月5日(火)～7日(木) (9:00～16:00まで)                          |
|      | 場所                       | 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)5F 501号室                              |
| 開放講座 | 1月5日(火)                  | 午前10:30～12:00 『日本の国のかたち』<br>午後13:30～15:00 『宮城のかたち』         |
|      | 6日(水)                    | 午前10:30～12:00 『奥の高野、霊場松島』<br>午後13:30～15:00 『華人政宗と仙台藩の国づくり』 |
| 講師   | 元宮城県図書館長、仙台大学客員教授 伊達宗弘先生 |                                                            |

## 第1回 仙台大学 S&Cワークショップ開催のご案内

1月9、10日に、仙台大学S&C研究会が、「子どもとトレーニング」に関するワークショップを開催します。講師には、ニュージャージー大学で教鞭を執っているS&Cのスペシャリスト、フェイゲンバウム博士を招聘します。教職員の皆さまも振るってご参加下さい。詳細はトレーニングセンターにお問い合わせ下さい。

### S&C(ストレングス&コンディショニング)コーチとは

アスリートをよりよいアスリートにするための身体的、精神的手助けをする職業。ウェイトやコンディショニングトレーニングはもちろんのこと、スピード&アジリティ、柔軟性のトレーニングや、体型改善、メンタルケアなど、多岐にわたる方法でアスリートが『勝つ』ためのサポートを行う。

|     |                                                  |
|-----|--------------------------------------------------|
| 日時  | 平成22年1月9日(土) 13:00～17:15<br>1月10日(日) 10:00～15:30 |
| 場所  | 仙台大学 B棟300教室、第一体育館                               |
| 受講生 | 学生・一般あわせて約200名(予定)                               |
| 内容  | 【講義】1. 子どもとストレングストレーニング<br>2. コーチのための1ダースのアイデア   |
|     | 【実技】1. 子どもとメディスンボールトレーニング<br>2. プライオでプレイ         |



まつばやしあつみ

## OBの松林篤美さんがアクロバットダンス・カンパニーG-Rocketsのメンバーとして年末のNHK紅白歌合戦の舞台に



今年3月に体育学科を卒業した松林篤美さん(在学中:体操競技部)が、年末のNHK紅白歌合戦で赤組の水森かおりさん(演歌歌手)のバックダンサーを務めるという情報を、小西准教授から頂きました。

松林さんが所属するアクロバットダンス・カンパニー「G-Rockets」は、かつて体操選手や新体操選手などとして活躍した女性たちが、その驚異的な身体能力から繰り広げられるバク転

や宙返りなどのアクロバットと、ジャズ・ヒップホップ・モダンバレエなどのダンスを融合させ、アクロバットダンスという新カテゴリーを築きあげ、エンターテインメント界に新風を巻き起こしています。( <http://www.g-rockets.jp/> )

今回初めて水森かおりさんから「G-Rockets」に依頼があったそうで、紅白歌合戦では16人のメンバーと共に出演するそうです。

出演予定時刻は19時30分頃ということで、年末を楽しみに待ちましょう。

松林篤美さんのブログ紹介

<http://ameblo.jp/70a80/>



# Monthly Report

Vol.44 広報室

平成22年1月29日発行

## 目次:

|                        |    |
|------------------------|----|
| 小室希さん(院2年)<br>冬季五輪出場決定 | 1  |
| 龍仁大学と国際交流<br>協定締結      | 2  |
| 岩手・宮城内陸地震<br>の被災者義援金   | 3  |
| 楽天選手が本学で低<br>酸素トレーニング  | 4  |
| S&Cワークショップ             | 5  |
| 130周年企画展               | 6  |
| 学生・サークル関連              | 7  |
| 明成バスケ部全国制<br>覇         | 10 |

## 小室希さん(大学院2年)がバンクーバーオリンピック 日本代表決定



小室 希選手(大学院2年)が、今年2月にカナダで開かれるバンクーバーオリンピック女子スケルトン日本代表に決定しました。

小室さんは本学入学と同時にスケルトン競技をはじめ、偉大な先輩方に続けとトレーニングを重ねて大学3年からW杯に参戦、同シーズンの全日本選手権を制しています。

今シーズンも全日本選手権を3年ぶりに制し、W杯でも第7戦で自己最高成績の11位に入るなど調子を上げています。本番のバンクーバーでは大舞台に強い小室さんの活躍に是非ご期待ください。

バンクーバーオリンピックには、同窓生の越和宏選手(所属:システック)、鈴木寛選手(所属:マネックス証券)、土井川真二選手(所属:日本レストランシステム)も代表に決定しました。



こし かずひろ  
越 和宏選手  
仙台大学17回生  
スケルトン  
五輪3度目の出場



すずき ひろし  
鈴木 寛選手  
仙台大学26回生  
ボブスレー  
五輪4度目の出場



どいわしんじ  
土井川真二選手  
仙台大学32回生  
ボブスレー  
五輪2度目の出場

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

## バンクーバー五輪出場の小室 希さん・越 和宏さん・鈴木寛さん・土井川真二さんへの応援メッセージをお寄せください

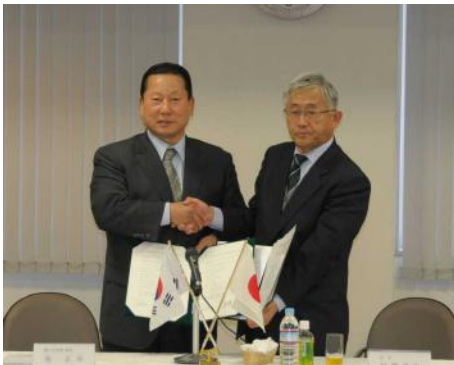
仙台大学HPから、現役オリンピック選手となった小室さん、本学OBの越さん、鈴木さん、土井川さんへのメッセージを募集しています。

仙台大学から熱いメッセージを是非送りましょう!  
<http://www.sendaidaigaku.jp/event/olinpic.html>

Monthly Report 1

ヨンイン

## 韓国龍仁大学と国際交流協定締結



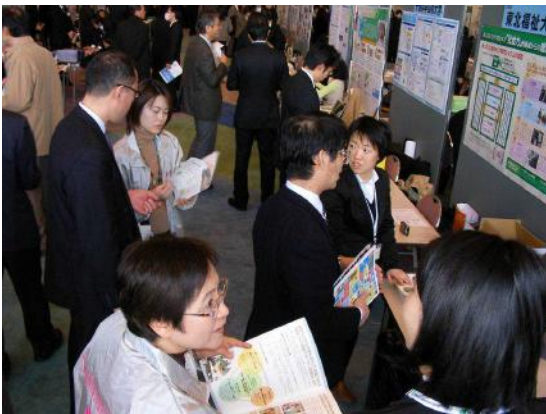
1月21日に龍仁大学（韓国）から金正幸（キムジョンヘン）総長をはじめ6名が来学し、調印式、施設見学を行いました。調印式では、金総長と朴澤学長が両大学間の国際交流に関する協定書に調印をし、研究分野での教員間交流、交換留学、共同事業等について話しあわれました。

## 瀋陽師範大学が来学



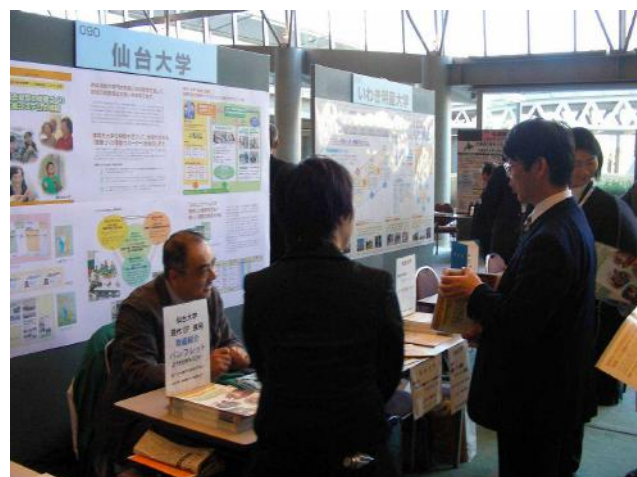
1月27日（水）に平成20年5月から国際交流協定を締結している瀋陽師範大学（中国）から、夏敏（シャーミン）副学長をはじめ4名が来学し、両大学の今後の国際交流についての協議及び施設見学を行いました。

## 文科省主催：大学教育改革プログラム合同フォーラムへ出展



写真提供：地域健康づくり支援センター

1月7、8日に文部科学省主催の「平成21年度大学教育改革プログラム合同フォーラム」が東京ビックサイトで開催され、教育改革を目的に選定された国公立大学の取組みが一堂に会しました。本学の現代GP『地域密着型の健康づくり支援システムの構築』もポスターセッションのブースを設けました。質問も多く、関係教員・新助手が他大学の関係者等と積極的な意見交換を行いました。また、他大学の取組を見ることが出来たことは、新たなGP獲得に向けて貴重な情報収集の場となりました。





## 栗原市長へ 仙台大学から岩手・宮城内陸地震の被災者義援金



栗原市長へ義援金を手渡し

仙台大学ボランティアセンターは、社会貢献活動の一環として、昨年に引き続き、去る11月の‘大学祭・スポーツフェスティバルin柴田’において 岩手・宮城内陸地震の被災者の方々を支援する目的でチャリティーバザーを行いました。教職員や学生、また、地域の方々の多くの協力を得て大盛況となりました。チャリティーバザーの売上金は募金と合わせ101,556円、これを仙台大学義援金として、栗原市の佐藤 勇市長へお渡ししてまいりました。

後日、栗原市よりお礼状が届きましたので、皆様にご報告と感謝のお礼を申し上げます。

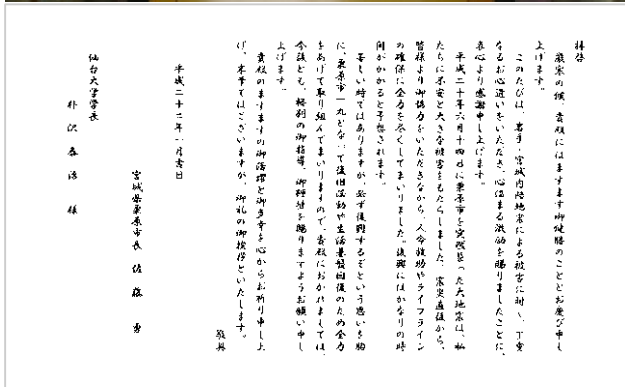
被災地は、ハード面の復旧は少しずつ進んでいますが、個人の生活再建のめどにまで至っていない、心のケアが必要との事で、継続した大学の支援に大変感謝していますとの事でした。

ボランティアセンターは今後も、災害に向けた支援活動を継続していきたいと思っております。

ご支援くださいました皆様、ありがとうございました。

今後とも、ご協力をお願いします。

仙台大学 ボランティアセンター  
大山 さく子 庄子幸恵



## エコキャップ活動に賛同 学生の皆さんありがとう

～ クリスマスの こころ温まるちょっとしたニュース ～



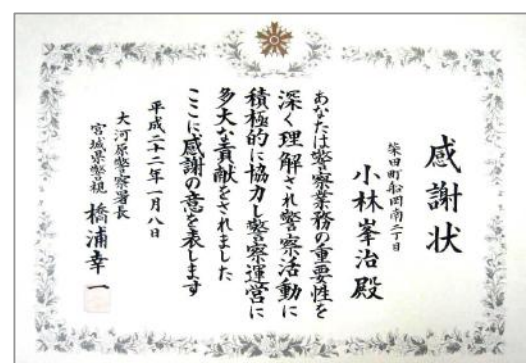
12月24日、KMCH(クラブハウス)の「エコキャップ協力ボックス」の場所に、柴田町指定のゴミ袋に一杯のキャップが置かれていました。これまでもレジ袋に入ったキャップがボックスの中に入っていたことが何度もあったそうですが、これだけの数のキャップが置かれていたことは初めての事。集めてくれた学生の行動に嬉しさと驚きを感じています。

どの学生、サークルなのか？と心当たりを思い浮かべるも、この運動の趣旨を理解している学生が少なくないことを改めて認識させられた出来事です。

## 大河原警察署から感謝状

本学では学生課が中心となり、学生が放置した自転車を軽トラックに載せて大学に持ち帰る活動や、他人の敷地内や駐車禁止区域への駐車・駐輪の対応、また全学をあげての春と秋の交通安全運動を行っています。

この地道な活動が認められ、仙台大学の代表として学生課の小林職員が大河原警察署より感謝状をいただきました。



かわぎし つよし

にしむら わたる

## 楽天野球団の川岸 強選手と西村 弥選手が本学で低酸素トレーニング



東北楽天ゴールデンイーグルスの川岸 強選手が1月21 - 27日に、西村 弥選手が1月11 - 15日と26 - 28日にかけて、本学の常圧低酸素室を利用して低酸素トレーニングを行いました。

プロ野球選手が低酸素トレーニングを取り入れるのは珍しいことであり、このトレーニングは、血液の酸素運搬能力の向上や筋肉の酸素消費能力を改善し、基礎体力を向上させる効果が期待できます。

両選手は 標高2500メートルと同等の酸素濃度（約15.4%）に制御された低酸素室に宿泊、次の日の午前中に低酸素状態の中でエルゴメータを用いたトレーニングを行い、動脈血の酸素飽和度や心拍数などのデータを測定、午後はクリネックススタジアムでトレーニングというサイクルで行いました。

今回のトレーニングに至ったのは、川岸、西村両選手が愛用しているハーフスパッツがGANBAX社の製品であり、その研究に高橋弘彦教授と内丸 仁講師が携わっていることが縁となり実現に至りました。

両選手とも低酸素トレーニングの効果は体で感じているようで、川岸選手は「キャンプ中盤にな

ると疲れが溜まってきて、だるくなるのですが、今はそれ以上のだるさです。この低酸素トレーニングを導入したことで基礎体力が向上し、キャンプでその効果が表れる事を確信しています。今後もオフシーズンには先生方の協力を得て、またお世話になりたいです。」と話し、西村選手は「1回目の低酸素トレーニングの後に沖縄合宿に行きましたが、体がものすごく軽く感じてよく動け、低酸素トレーニングの効果を実感しました。高橋先生や内丸先生からは専門的な話が聞けるので、アドバイスを受けながら今後も低酸素トレーニングを取り入れて行きたいです。」と話ししており、二人とも納得のいくトレーニングとなったようです。

なお、川岸選手はトレーニングや測定に連日協力してくれた学生達に感謝の意を表し、4月のKスタでの試合に皆さんを御招待くださるそうです。

さらに今回は、高橋教授と内丸講師がGANBAX社と共同で新しく開発したトレーニング用と就寝用のロングスパッツが両選手に手渡されました。

（東北楽天ゴールデンイーグルスHPより）

川岸 強選手



投手

右投げ右打ち

出身:神奈川県

背番号51

桐蔭学園高校 駒沢大 トヨタ自動車

04中日 07楽天

30才

西村 弥選手



内野手

右投げ両打ち

背番号66

沖縄県出身

沖縄尚学高校 東京情報大学 06ドラフト

26才



## 第1回仙台大学S & Cワークショップについて

平成22年1月9日と10日に「第1回仙台大学S&Cワークショップ」を開催した。

講師は米国ニュージャージーから「子供とスポーツトレーニング」の世界的権威Faigenbaum博士を招聘し、9日には「子供とストレングストレーニング：運動回数よりも大事なもの」、「コーチのための1ダースのアイデア：FUNダメンタル基礎知識」の2つの講義を、10日には「子供とメディシンボールトレーニング」、「プライオでプレイ」の2つの実技を行った。

参加者は仙台大学生に加え、外部からはNSCAジャパン会員、大学近隣の専門家などの参加があり、講義には200名以上、実技にも150名ほどの参加者があった。

Faigenbaum博士は子供とトレーニングの研究では世界をリードする科学者で、現在は米国ニュージャージーのThe College of New Jerseyにて教鞭をとられている。大学での指導のほかにも、近隣の学校にて子供を対象に運動トレーニングを実践しており、博士の地元地域のみならず、米国全土の体育授業内容改善に大いに貢献をされている。また彼の研究内容は世界中で注目を受け、毎年数カ国の専門団体から招待を受けて講義をされている。



今回のワークショップのメインピックも彼の専門である「子供とスポーツトレーニング」に関するもので、東北唯一の体育大学で、将来は体育教員や運動指導員を目指す学生の多い本学において「第1回仙台大学S&Cワークショップ」には最適の講師であった。

講義に対する受講者の反応もよく、若い人体のスポーツトレーニングに対する反応の特殊性、今までタブーと見受けられていた「子供とウェイトトレーニング」のポジティブな関連性、そして大人よりも繊細な体を持つ子供に「正しい」運動プログラムを与える重要性など、受講者が持つ既存の知識や経験にとって「改革的」な授業内容となった。



講師のFaigenbaum博士も仙台大学での講義を大変楽しみ、そして手ごたえのあるものと感じてくださったようで、「今回のワークショップを経て、1人でも多くの人々が真剣に『子供とスポーツトレーニング』に取り組み、実践してくれるれば、このワークショップは成功で、もしその中で1人でも将来私と同じ研究者を目指す人材が出てくれば、このワークショップは大成功だ」と話された。

今回のS&Cワークショップは本学にとっても、そして私にとっても初めての経験であり、様々な本学内外関係者にご迷惑をおかけしつつ、このイベントの準備を行った。

それらの方々に対しては、この場を借りて心からお礼を申し上げたい。

準備段階、また開催中においても、いくつかの問題が発生し、どうにかやりぬいた感があるのも否めないため、もし来年度以降も継続することが可能であるならば、今年の経験を踏まえ、よりよいイベントにできるようにしたい。

< 情報提供：新助手 加賀洋平 >



## 朴沢学園創立130周年記念 企画展・開放講座



1月5～7日に東京エレクトロンホール宮城を会場に「朴沢学園創立130周年記念企画展・開放講座」が開催され、公文書資料・明治時代の教材・卒業作品の展示及び客員教授の伊達宗弘先生

による講座が4回にわたって行われました。企画展に144名、開放講座には167名の来場を頂き、歴史ある資料を懐かしげに見ている来場者の姿がありました。



## 教育実習前指導でOBから在校生へアドバイス



1月14日(木)にB300教室において「教育実習前指導」OB講演会が開催され、教員免許取得を目指す3年生約300名が参加しました。「教育実習前指導」は、教育実習に挑む在校生に対して、現役教員として活躍しているOBから、教育実習で気をつける点や、気構えなどを指導してもらうもので、毎年開催されています。

今年、岩沼市立岩沼北中学校の安宅康晴先生

(平成17年度体育学科卒)と、石巻市立相川小学校の養護教諭の大坪奈央先生(平成19年度健康福祉学科卒)を招いて、在校生にアドバイスしていただきました。

安宅先生からは大事な3つのポイントとして「50分という限られた授業時間で生徒に何を伝え教えたいかを何度もイメージすること」、「指導教官の授業を参観して、生徒の注目を引くテクニックや指導のポイントを学び取ること」、「生徒と年齢に近いが、教員としての自覚を持って行動すること」と話し、「勉強させていただいている」という気構えで教育実習に望んで欲しい」とのアドバイスがありました。聴講した学生達は教員という目標に向かって、意識を高めたようでした。



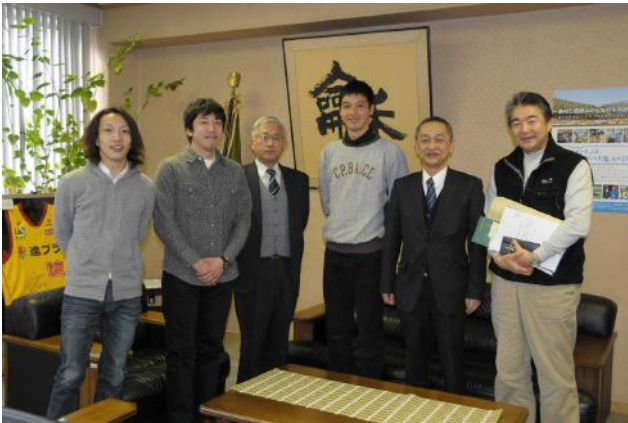
## シニアカレッジ閉講式



12月26日(土)に平成21年度シニアカレッジ閉講式が開催され、朴澤学長から受講生一人一人に認定証が授与されました。今年度は「地域スポーツ指導者コース」と「介護予防指導者コース」の2講座を開講し、延べ18名が認定を受けました。認定者は今後、地域でのスポーツ・介護指導の活躍が期待されます。



## 国費留学生一時帰国 ～学長・事務局長へ近況報告～



中国に国費留学生3名が冬休みを利用して一時帰国し、1月26日(火)に朴澤学長、佐々木事務局長に元気な姿を見せに来てくれました。

訪れたのは東北師範大学の日野晃希さんと金井弘順さん、上海体育学院の笹井善仁さんです。

近況を伝えるメッセージを頂きましたので紹介します。

**日野晃希さん（東北師範大学大学院1年）**

「1年半という折り返し地点なので、更に充実した留学生活を送ることができるよう楽しみながら頑張ります。まだ慣れない大学院生活です。クラスメートとコミュニケーションを取ることができるよう、3月から頑張ります。」

**笹井善仁さん（上海体育学院大学院1年）**

「1年半過ぎて大学院の授業に入り、辞書にはない専門用語に困っています。修士論文もスタートしたので、読み・書き・会話を一段と楽しく頑張ります。」

**金井弘順さん（東北師範大学2年）**

「中国の言葉や文化にだいぶ慣れ、授業内容も理解できる部分が増え、毎日の生活を楽しめるようになってきました。来学期からは新しい事にもチャレンジし、仙台大学の単位取得にも力を入れたいと思います。」

## ハワイ語学研修参加学生に奨学金



1月13日(水)に昨年8月にハワイ州立大学第1回語学研修(「NICE」プログラム)に参加した

山口有映さん(体育学科2年)、安部翔子さん

(体育学科1年)、高橋悠さん(スポーツ情報メディア学科2年)に、朴澤学長から奨学金が手渡されました。これは、学生達があらかじめ学内で決まったルールに基づき審議した結果、ある一定以上の生成績を修め、ハワイ州立大学で取得した単位を本学の単位と振り替えられることが決まったことから、すでに支払っていた講義料の一部が返還されたものです。

高橋さんは3月から3週間、カヤニ応用科学大学への短期留学が決まっており、2月からは森教授の元で留学にむけた英語の勉強をする事になっているそうです。他の2人も語学の意欲が強く各々の目標に向かって勉強を続けているそうです。

## ベガルタ仙台の細川淳矢選手よりユニフォーム寄贈

本学OBでJリーグベガルタ仙台の細川淳矢選手(平成18年3月卒)が1月20日(水)に来学し、ご自身のユニフォームを大学に寄贈されました。細川選手には以前にもユニフォームを頂いており、どちらも学長室に展示してあります。

細川さんは「今シーズンはJ1の舞台で戦えるので注目度も増している。レギュラーに定着できるように頑張ります。」と今シーズンにかかる想いを熱く話して下さいました。



## 管理栄養士国家試験対策 合宿講座を開催



真剣に講義を聴く参加者たち



シダックスからは合格へ激励の特別メニュー

仙台大学として第1回目となる合宿講座が1月10日・11日に開催にされ、運動栄養学科卒業生9名が全国から集いました。

合宿した卒業生からは「一人だけの勉強と違い、周りに人がいることでお互いに触発しあう雰囲気の中で集中して勉強に取り組めた」「（講義に対して）わかりやすい説明、得点力アップに直結する内容でとても良かった」「やる気を強くすることができた。」等々の感想が寄せられました。

夜間開放された”学習室”には深夜2時近くまで勉強に励むメンバーも。参加者同士の向学心に満ちた合宿講座となりました。

< 仙台大学管理栄養士国家試験「合格修練会」 >

## 仙台大学漕艇部応援団新年の集い



1月23日（土）にサンシャイン青葉を会場に「仙台大学漕艇部応援団新年の集い」が開催されました。この会には昨年、一昨年と埼玉県戸田市で開催された全日本大学選手権大会に、応援団を組織して駆けつけていただいた柴田町内に住む有志約70名が参加し、大学からも朴澤学長ら6名が参加しました。

会の中では、これまでの活動に関する説明や、柴田町にボート協会を設立する計画があることなどが報告されました。また、漕艇部や学内のクラブの活躍に期待する声が多く、町全体が大学の活動を応援してくれていることを実感しました。

なお、ボート協会設立の計画は今回の集いを機に一気に具体性を増し、3月には設立総会が開催される予定になっています。

みつお

## 漕艇部の西村光生さんが「日本スポーツ賞」を受賞



漕艇部の西村光生さん（体育学科2年）が、本年度の「日本スポーツ賞」を受賞しました。この賞は読売新聞社が主催して1951年から行われている権威ある賞で、1年間においてスポーツで秀でた選手あるいは団体を称えるものです。

西村さんは昨年7月にチェコで行なわれた「U23世界選手権」に日本代表として出場。軽量級舵手なしフォアで銀メダルを獲得したことが評価されクルーのメンバーである三村選手（日本大）、田中選手（早稲田）、中野選手（一橋）と共に「第59回日本スポーツ賞 競技団体別最優秀賞」を受賞しました。



## 柔道 田中美衣さんがマスターズ大会第3位



各階級の世界ランキング上位16名で争う「ワールドマスターズ2010」が1月16、17日に韓国のスウォンで開催され、女子63kg級ランキング7位の田中美衣さん（体育学科4年）も出場しました。

田中さんは1、2戦を一本勝ちで勝利しましたが準決勝で韓国のコ・ジャヨン選手に技ありを奪われ、敗退、第3位という結果でした。田中さんは大会前から今大会で優勝した世界ランキング1位の上野順恵選手（三井住友海上火災保険）との対戦を熱望していただけに、対戦が叶わず本人にとって悔やまれる結果だったようです。しかし、今大会は、国際柔道連盟（IJF）が昨年導入した世界ランキング制に伴って新設された大会で、世界選手権大会の次に格付けされている権威ある大会です。世界ランキング上位者が集う中で、表彰台に上った事は素晴らしい結果といえます。

## 田中美衣さんが日本学生支援機構（JASSO）顕彰授与



田中美衣さん（体育学科4年）の柔道での功績（ユニバーシアード大会団体優勝・個人準優勝、GPチユニス大会準優勝など）が認められ、日本学生支援機構（JASSO）「平成21年度優秀学生顕彰事業」の優秀賞に選考されました。1月12日（火）に朴澤学長から優秀学生顕彰・記念品・奨励金が手渡されました。

この賞は、日本学生支援機構（JASSO）が21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として「優秀学生顕彰事業」を行い、学術・文化・芸術・スポーツ活動の4分野において、社会貢献活動で優れた業績を挙げた学生・生徒を顕彰し、奨励金を授与しています。今年度、スポーツの分野では大賞5名、優秀賞13名、奨励賞18名が選考されています。田中さんの受賞は昨年の奨励賞に続いて2度目です。

## DAN DAN DANCE & SPORTS 6th



1月23日（土）に新体操競技部を中心とする実行委員会が主催するDAN DAN DANCE & SPORTS 6thがえずこホール（大河原町）で開催されました。仙南地区を中心に活動しているダンスチーム29組（298名）が日頃の練習の成果を披露しました。本学からは新体操競技部、プレイキン同好会、応援団・チアリーディングチーム、（講義）ダンス履修学生などが演技を披露しました。また、映像撮影や受付など裏方として学生スタッフ43名（ボランティア含む）やスポーツ情報マスメディア学科が多数かかわりました。140名の来場者に足を運んでいただき、盛会に終了しました。

## 祝 明成高バスケ部 創部5年目での全国制覇



年末に東京体育館で行われた全国高校選抜優勝大会（ウィンターカップ）において、明成高校男子バスケットボール部が創部5年目での全国制覇の偉業を成し遂げました。

ヘッドコーチを務める佐藤久夫准教授は仙台高校を全国2連覇に導いた名将。2005年に本学に着任と同時に高大連携事業の一環として立ち上げた明成男子バスケットボール部のヘッドコーチに就任し、創部2年目のウィンターカップでベスト8に入り、強豪校の仲間入りを果たしました。

福岡第一高校との決勝戦には本学園関係者をはじめ仙台市の奥山恵美子市長や、創部時に尽力された鈴木三雄前常務理事も応援に駆けつけてくださり、熱い声援を送っていただきました。

全国制覇を祝して、1月20日（水）には江陽グランドホテルで祝勝会が開催されました。

なお、全国制覇や、県知事・市長表敬訪問の話題は各紙で掲載され、テレビ局でも大きく取り扱われました。



# Monthly Report

Vol.45 広報室

平成22年2月26日発行

## 目次:

|                       |   |
|-----------------------|---|
| バンクーバー五輪が<br>閉幕       | 1 |
| ハワイ大スクーリング<br>山形県教と調印 | 2 |
| スポーツ賞                 | 3 |
| 青年海外協力隊<br>体操競技部2名躍動  | 4 |
| 柔道部の活躍                | 5 |
| 漕艇部祝勝会<br>CO-Aピック     | 6 |
| ネクタイ新発売<br>ブログ紹介      | 7 |

## バンクーバーオリンピックが閉幕

～ 2014年ソチへと希望をつむぎ ～



日本時間の3月1日、17日間に渡る全ての競技を終え、バンクーバーオリンピックが静かに幕をおろしました。

スケルトン競技に出場する小室希選手(大学院2年)・越和宏選手(本学17回生)を応援しようと2月19日、20日 KMCH大会議室において開催した本学初のパブリックビューイングには小室選手の最初の滑走予定時間には、約150名ものチアガールを含む学生・教職員が大声援を送り10社(テレビ局4社、新聞6社)もの報道陣が詰めかけ、固唾を呑みました。これはNHKがインターネットで配信しているリアルタイムの映像を、同協会に正式に了解を得た上で大型スクリーンに投影し、実現したものです。

大変残念なことに小室選手の失格、越選手が20位という結果ではありましたが、オリンピックの雪辱は次のオリンピックで果たすべく、4年後のソチを見据えさらなる希望へと夢をつむぎます。

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

### 【競技結果】

| 氏名                            | 競技種目        | 結果  |
|-------------------------------|-------------|-----|
| 小室 希選手(院2年)                   | 女子スケルトン     | 失格  |
| 越 和宏選手(17回生)                  | 男子スケルトン     | 20位 |
| 鈴木 寛選手(26回生)                  | 男子ボブスレー2人乗り | 21位 |
| 鈴木 寛選手(26回生)<br>土井川真二選手(32回生) | 男子ボブスレー4人乗り | 21位 |

## 海を越えて輝く学生達 Winter 2010

～ハワイ州立大学スクーリングピギナーズコース終了～



2月17日～22日(4泊6日)、ハワイ州立大学(UH)において、小西先生をリーダーにAT(アスレティック トレーニング)スクーリングのピギナーズコースが実施されました。

2003年12月から始まったこの取り組みは、「ピギナーズ」と「アドバンス」を合わせると今回で10回という節目を向かえ、参加した全7名の学生(体育学科2年生男子4名、女子3名)は、最初にUHの学生と英語でのコミュニケーションを図り、次に全米で唯一、アスレティックトレーナーを各公立高校に置くことを義務化しているハワイ州にて公立高校を訪問。実際にATC(アメリカ公認アスレティックトレーナー資格)として働いている方々の活躍を目の当たりにしました。



UHのATルームで働く本学の卒業生、鈴木のぞみさんらとの「座談会」では、本学初のATCとなった同先輩や、遠隔授業を指導下さっている金岡友樹氏他より、ハワイでの苦労談及び英語をマスターする方法など、体験者ならではの貴重なお話しに積極的な質問が飛び交いました。

最終日には、UHの女子バスケットチームとルイジアナ工科大学の公式試合に際し、コート内で2時間も前から選手のトリートメントのため準備に参加、さまざまな手伝いをさせていただき、頭も体もフルに使うスクーリング内容に学生達は体当たりで臨みました。

なお、この試合は、日本でも昨今活発になってきている「乳がん撲滅運動」(The American Cancer Society and Breast Cancer)に協力をする意味を込め、主催者より事前に選手や観客は何か「**ピンク**」(同運動のシンボル)の物を身につける声掛けがなされるなど、会場となったUHスタンシェリフセンターは、同運動に賛同する人達の**あたたかい「ピンク」**で埋め尽くされました。このように学生達は、スポーツが競技だけではなく文化や地域を支え、時には病に苦しむ方々への支援にもなりうる価値あるものだという事を、改めて学びとったようです。



参加した学生の一人である川田諒(かわた りょう)君は「見るもの、聞くもの全てに驚き、学ぶ意欲が多いに湧きました。事情が許せば是非アドバンスコースにも加わり鈴木先輩のような素晴らしい方々に接することで、もっともっと自分の可能性を広げていきたいです。」と目を輝かせています。間もなく学生達による「報告会」も開催されるそうで、それぞれの成果が発表されると共にスクーリングの11回目実施に向け、自由闊達な意見が交わされることでしょう。

## 山形県教育委員会と本学が協力協定



山形県教育委員会と本学は、スポーツの振興と競技力向上に関する活動、研究を推進することを目的として相互協力協定

を締結しました。

山形県が取り組んでいるスポーツタレント発掘事業「YAMAGATA ドリームキッズ」の中で、子供たちの体力測定データの分析や育成プログラムの策定・実施などで協力していきます。

2月9日(火)に山形県庁で行われた調印式では、山形県教育委員会の山口常夫(やまぐちつねお)教育長と朴澤泰治(ほうざわたいじ)学長が協定書に調印を行い、山口教育長は「トップアスリートの活躍は県民に喜びと活力を与えてくれる。協定の締結はたいへん心強い」と期待を込めて話され、朴澤学長は「仙台大学の持っている資源を提供し、隣県同士協力し合ってスポーツの振興、若い有望な人材の育成に寄与したい」と述べました。

この様子は、山形県のテレビ局や新聞社から取材を受け、大きく報道されました。



## 平成21年度 宮城県スポーツ賞

2月13日(土)に平成21年度宮城県スポーツ賞がホテル仙台プラザ(仙台市内)で行われました。オリンピックやそれに準ずる大会で好成績を収めた人に送られる「特別功績賞」は全部で8個人に贈られ、本学からは西村光生さん(体育学科2年)と田中美衣さん(体育学科4年)、OBの大元英照さん(漕艇部・アイリスオーヤマ)が受賞しました。「功労賞」も本学関係では4個人2団体が受賞しました。

| 選手名・団体名           | 所属サークル | 大会名                    | 結果  |
|-------------------|--------|------------------------|-----|
| 西村光生<br>(体育学科2年)  | 漕艇部    | U23世界ボート選手権<br>舵手なしフォア | 第2位 |
| 田中美衣<br>(体育学科4年)  | 柔道部    | ユニバーシアード大会<br>女子63kg級  | 第2位 |
| 大元英照<br>(平成18年度卒) | 本学OB   | ボート全日本選手権<br>男子ダブルスカル  | 優勝  |

| 選手名・団体名             | 所属サークル | 大会名                          | 結果 |
|---------------------|--------|------------------------------|----|
| 石原夏海<br>(体育学科4年)    | 漕艇部    | カヌースプリント選手権<br>女子カヤックペア1000M | 優勝 |
| 佐藤寛大<br>(体育学科3年)    | 陸上競技部  | 日本学生陸上対校選手権<br>男子やり投げ        | 優勝 |
| 小室 希<br>(大学院2年)     | B・S・L部 | 全日本選手権<br>女子スケルトン            | 優勝 |
| 亀山耕平<br>(体育学科3年)    | 体操競技部  | 全日本学生体操選手権<br>種目別あん馬         | 優勝 |
| 仙台大学漕艇部             |        | 全日本大学選手権<br>男子舵手付きフォア        | 優勝 |
| 明成高校男子バスケット<br>ボール部 |        | 全国高校選抜優勝大会                   | 優勝 |

## 平成21年度 柴田町スポーツ表彰式

2月24日(水)に槻木生涯学習センターにおいて柴田町スポーツ表彰式が行われ、「栄誉賞」2個人、「功績賞」8個人3団体が受賞しました。

受賞者代表謝辞では漕艇部の西村光生さん(体育学科2年)が「今回の賞を受賞できたのは、監督や仲間、周囲で支え、応援してくれた方々のおかげです。来年もこの賞が頂けるように精進していきたい。」と今後のさらなる活躍を誓いました。



| 氏名                | サークル | 大会名                    | 結果  |
|-------------------|------|------------------------|-----|
| 西村 光生<br>(体育学科2年) | 漕艇部  | U23世界ボート選手権<br>舵手なしフォア | 第2位 |
| 田中 美衣<br>(体育学科4年) | 柔道部  | ユニバーシアード大会<br>女子63kg級  | 第2位 |

| 個人 | 氏名    |          | サークル   |
|----|-------|----------|--------|
|    | 氏名    | 所属       |        |
| 個人 | 延味 由起 | (体育学科4年) | 陸上競技部  |
|    | 佐藤 若菜 | (体育学科4年) |        |
|    | 斉藤 大輔 | (体育学科4年) |        |
|    | 佐藤 寛大 | (体育学科3年) |        |
|    | 亀山 耕平 | (体育学科3年) | 体操競技部  |
|    | 宗像 陸  | (体育学科2年) |        |
|    | 小室 希  | (大学院2年)  |        |
| 団体 | 五味奈津実 | (体育学科1年) | 柔道部    |
|    | 体操競技部 |          | 新体操競技部 |
|    | 漕艇部   |          |        |

## 青年海外協力隊として2名の学生が海外に渡ります



村橋綾子さん



齋藤まりさん

2名の学生が、来春から青年海外協力隊として2年間外国に渡り、国際貢献活動に参加します。

村橋綾子さん(体育学科4年)

女子ソフトボール部で主将を務めた村橋綾子さんが青年海外協力隊員として南米ペルーに渡り、ソフトボールの指導・普及・ナショナルチーム強化・現地指導者へのアドバイス等を行います。

昨夏、宮城県内で行われたインカレの補助をしていた村橋さんは、青年海外協力隊として活動した経験を持つ審判の方と出会い、現地での体験談を聞くうちに次第に興味を深めていったそうです。教員を目指している事から、この活動を通じて人間的な成長を目指すとともに中学校から取組んできたソフトボールで貢献したいと話しています。

齋藤まりさん(運動栄養学科4年)

障害者スポーツサポート研究部 Co - A c t . の

齋藤まりさんが青年海外協力隊としてマレーシアに渡り、障害者スポーツの普及・発展の使命を受けてマレーシアの各施設を巡回します。

マレーシアでは比較的動ける軽度障害者の間ではニュースポーツ等が盛んに行われているようですが、中等度・重度障害者についてはスポーツに慣れ親しむ環境が整っていないそうです。齋藤さんは他に派遣されている仲間と共に、マレーシア内の施設を巡回してニュースポーツやレクリエーションの指導・提供を行います。齋藤さんは中学時代から国際平和・国際協力に興味があり、パラオ介護予防教室で青年海外協力隊の方との出会いや、青年海外協力隊としてトンガで活動している高校の先輩の影響から活動を身近に感じ、志願したそうです。

2人共、2年間日本を離れる不安を抱く事もあるそうですが、互いに「他国であっても国際貢献という同じ意識で頑張っている仲間がいることが心強いし、支えになります。」と語り、「励ましあって、自分達のできることを一生懸命やります」と話しています。

2人は4月から約2ヶ月の研修を経て、それぞれの活動に加わります。

仙台大学のスポーツ・フォア・オール精神で、海外においてもますますの活躍を期待したいと思います。

## 体操競技部の2名がパシフィックコースト・クラシックで躍動

～日本チーム団体戦2連覇へおおきく貢献 種目別でそれぞれ優勝、3位に～



石原 大さん(右)、  
宗像 陸さん(左)

日本体操協会の男子U21強化指定を受けている体操競技部の宗像陸さんと石原大さん(共に体育学科2年)が2月20日に米国オークランドで開催された2010パシフィックコースト・クラシックに

日本代表として出場し、日本チームの団体戦2連覇に貢献しました。この大会は21歳以下で競われる大会で、宗像は昨年に続く優勝メンバーとなりました。

種目別においても、宗像さんが得意の跳馬で優勝、床では宗像さんと石原さんが共に同得点で3位となりました。

宗像 陸さん

昨年は小さなミスが出てしまったが、今年は落ち着いて納得のいく演技ができました。

今大会の成績で満足することなく、4月に開催される全日本選手権で上位入賞が果たせるように今後の練習に取り組んでいきたいです。

石原 大さん

国際大会が初めてだったので緊張しましたが、自分の持てる力を出し切るだけ心掛けました。日本と違う環境で戦えたことは自信にもつながると思うので、よい経験ができました。

~~~~~  
なお、3月5 - 7日にはモントリオール(カナダ)で開催される体操ワールドカップシリーズに亀山耕平さん(体育学科3年)が出場します。あん馬で日本のエースにまで成長した亀山さんの金メダル獲得に期待しましょう。  
~~~~~



## 田中美衣さんが柔道のW杯ブタペスト大会で銅メダル



2月13、14日に柔道のワールドカップ・ブタペスト(ハンガリー)大会に女子63kg級日本代表として出場した田中美衣さん(体育学科4年)は、3位となりました。

3試合を全て一本勝ちで勝ち進んだ田中さんですが、準決勝では強引に仕掛けた技を返され「技あり」を奪われ敗れました。3位決定戦では内股で一本勝ちをおさめ、今後につながる大会となりました。

なお、田中さんは翌週の2月20、21日に行われたグランプリ・デュッセルドルフ(ドイツ)にも出場し、雪辱を期しましたが、5位という結果に終わりました。

## 柔道部の有賀享子さんが東北代表としてハワイ遠征へ



柔道部の有賀享子さん(体育学科3年)が全日本学生柔道連盟主催のハワイ海外遠征に東北代表として選出され、女子チームの監督を務める南條和恵監督と共に3月3-10日の日程で渡航する事が決まりました。ハワイでは副キャプテンを務め、対外試合の他、国際交流を図ります。

## 韓国光栄女子高等学校柔道部が本学で合同合宿実施



2月18-27日の日程で、韓国の光栄女子高等学校の柔道選手13名と指導者2名が来学し、

本学柔道部と合同合宿を行っています。光栄女子高等学校は全韓国大会の団体戦で数回の優勝、個人戦においても3名のチャンピオンが所属している強豪です。

また、玄淑姫(ヒュン・スクヒ)監督はアトランタ五輪で銀メダルを獲得した実績を持ち、同階級の南條和恵監督とも複数回対戦されたそうです。今回の合宿に至ったのは玄監督が本学で韓国体育大学校との合同練習の話や、外国人指導者の李コーチの大学の先輩に当たることもあり、現役時代から親交のある和恵監督に連絡が入り、受け入れる事が実現しました。

望んだ以上の練習環境での、「是非次回もお願いしたい」と話されているそうです。

## 柔道部優勝祝賀会



1月31日にパレスへいあん（仙台市内）において柔道部優勝祝賀会が行われました。今年度は、全日本柔道連盟シニア強化選手として田中美衣さん（体育学科4年）が数多くの国際大会に出場し、ユニバーシアード大会での団体・金、個人・

銀をはじめ、グランプリ大会やワールドカップでもメダルを獲得して世界ランキング7位となりました。世界のトップ選手16名で争うマスターズ大会でも銅メダルを獲得するなど、世界の田中へと成長し、インカレにおいても田中さんが63kg級で優勝、五味奈津実さん（体育学科1年）も52kg級で3位となるなど、柔道部全体のレベル向上が図られた年となりました。

さらに嬉しい事は続き、祝勝会当日に宮城県武道館行われた全日本選手権宮城県予選会（体重無差別）において田中さんと仲田直樹新助手が本学初のアベック優勝を果たし、嬉しさが倍増する会となりました。

祝勝会には大学関係者や柔道部OB・OG、柔道関係者あわせて約100名の参加があり、盛会裏に終了しました。

## 漕艇部優勝祝勝会



1月30日、ホテルメトロポリタン仙台を会場に漕艇部主催の「優勝祝勝会」が開催されました。当日は柴田町関係者、大学関係者など約85名が出席し、全日本大学ボート選手権、全日本選手

権での優勝の報告や、U-23世界選手権で日本ボート史上初の銀メダル獲得をもたらした西村光生選手（2年）などの紹介がなされました。

会の中で来賓の我妻柴田町議会議長からは「大学に掲げられている垂れ幕などで漕艇部の活躍は目覚ましいと感じていた。これからのますますの活躍に期待したい」という言葉をいただきました。また、朴澤学長からは「この春に柴田町ボート協会が設立される予定である。漕艇部の活動に対して理解していただいている方々のためにもぜひインカレエイトでの優勝を期待する」との挨拶がありました。

当日の出席者の中には漕艇部OB・OGの姿も多くあり、後輩や教職員との久しぶりの再会に話も弾んでいる様子でした。部員もインカレでの優勝という悲願達成のために気持ちを新たにしている様子でした。

## 第26回CO-Aピック



2月14日(日)に障害者スポーツサポート研究部CO-ACT.のイベント「CO-Aピックポッチャ大会」が本学で開催されました。CO-Aピックは高齢者・障害者へのニュースポーツの機会提供と健常者にもニュースポーツを広め、障害者への理解を深めてもらう事を目的に開催されているイベントです。11月に行った前大会では、新型インフルエンザの影響もあって参加者は減少しましたが、今大会には約150名の出席を得、賑わいました。横山宗平さん（健康福祉学科2年）は「参加者の方が楽しかったと直接聞いた事が励みになり、今後も続けて行きたいと思いました。」と話していました。



## ネクタイ4柄が新販売になりました



仙台大学グッズの一つであるネクタイ（2種類）が完売し、新しく4種類（各50本）をつくり販売しております。絹100%素材で価格は4,000円です。タカトモスポーツで販売（春休み期間中は休館のため学生支援室で販売）しておりますので是非お買い求め下さい。なお、3月中旬には2,500円のポリエステル100%素材のネクタイ4種類も入荷予定です。

仙台大学オリジナルグッズプロジェクトチーム（P/T）を発足し、学内の承認のもとで仙台大学グッズを製作予定です。今後もより良い大学グッズを製作しますので、皆様のご提案等がありましたらプロジェクトチームメンバー（千葉勝彦、川村昭宏、土生佐多、三浦伸二、石森靖明）にお声掛け下さい。

## 楽天・川岸 強選手ブログ紹介 ～低酸素トレーニング～



東北楽天ゴールデンイーグルスの川岸 強選手がブログを始め、1月末に本学で行なった低酸素トレーニングが掲載(2/25更新)されています。

<http://plaza.rakuten.co.jp/kawagishi51/diary/>

## 蔵王アストリアホテル ブログ ～スキー～



スキーの様子の一部がアストリアホテルのブログにUPされました。ページ下の方の「スタッフの気ままブログ」に掲載されています。

<http://www.zaoastraea.com/>

# Monthly Report

Vol.46 広報室

平成22年3月30日発行

## 目次:

|                   |   |
|-------------------|---|
| 東北リコー(株)と締結       | 1 |
| 平成21年度卒業式         | 2 |
| 学生表彰              | 4 |
| 現代GP学習成果発表会       | 5 |
| 健康福祉研究会<br>体力自己管理 | 6 |
| スポーツシンポジウム        | 7 |
| 国際交流会館(仮称)<br>引渡し | 8 |
| スクーリング報告会         | 9 |

## 東北リコー(株)と健康指導協力に関する提携



柴田町に所在する東北リコー(株)と本学は3月18日、「健康増進支援協力覚書」を締結しました。東北リコー(株)社員の健康管理(特にメタボ対策)という課題に、身体活動をベースとしてスポーツや高齢者の健康維持・介護予防などの研究と指導者養成を行ってきている仙台大学のノウハウを提供します。

調印式はA棟大会議室で行われ、東北リコー(株)の敦賀博社長が「今回の締結は、地域における心身の健康に関する多面的な産学連携活動の第一歩ともいえるのではないかと考えている」と挨拶しました。朴澤泰治学長は「次の社会を形成する世代層にも仙台大学の資源を活用していただいて、地域社会の健康を構築する第一歩が踏み出せる」と述べました。

今後、本学から東北リコー(株)に定期的に講師と学生を派遣し、ノルディックウォーキングやボーンエクササイズ(骨を鍛える)などの指導と、メンタルヘルスに関する講演などを行う予定。学生も指導現場に派遣することで、即戦力としての指導者の育成につながることから、東北リコー(株)だけに止まらず、柴田町内の各事業所とも提携し、町民の方々の健康増進メタボ対策に寄与することで地域貢献を積極的に推進したいとしています。

なお、この締結式は日本経済新聞社と河北新報社で紹介されました。

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

### 広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



## 平成21年度卒業式

～ 仙台大学10,000人目の卒業生～



3月20日(土)に第2体育館において「第40回回体育学部卒業証書・学位記授与式並びに第11回大学院学位記授与式」を挙し、体育学部475名(体育271名、健福125名、運栄79名)の卒業生と大学院27名の修了生が学び舎を巣立ちました。昭和42年に体育学部体育学科の単科大学として開学してから43年。今年度は朴沢学園130周年の節目の年でもありました。この第40回卒業証書授与式で卒業生数1万人を越えました。

**証書番号10000の卒業証書を手にした、健康福祉学科 金沢優佑さん**

### 【大学での思い出】

福祉の勉強と、好きなサッカーをしたかったこともあり、仙台大学健康福祉学科に入学し、今日卒業を迎えました。大学時代の思い出深いものといえば、様々に経験させていただいた「実習」です。丸森ロイヤルケアセンターや和風園、大河原社会福祉協議会などの実習を通じ、「介護」の現場に直接足を運んで経験したことで、やりがいを感じましたし、将来の目標が定まったように思います。



将来は、社会福祉士の資格を取得し、ソーシャルワーカーとして働くことを目指します。実績を重ねるために、卒業後4月から仙台富沢病院で介護職として勤務します。

### 【次に続く後輩たちへ】

特に伝えたいことは、「実習」は、辛いと思うこともあるかもしれませんが、でも乗り越えていけば達成感や、得られるものは大きいはずです。私も卒業の日を迎え、途中で諦めなくて良かったと思っています。皆さん、頑張ってください。

後輩による手厚い祝福



卒業式記念パーティー



大学院謝恩会



各賞受賞者は以下の通り

【日本介護福祉士施設協会会長賞】

たかぎ よしえ  
高木 快枝

【全国栄養士養成施設協会会長賞】

かたあか ゆい  
片岡 由維

高木快枝



片岡由維



【学生表彰】

田中美衣



佐藤若菜



<理事長特別賞>

| 氏名   | 主な成績               |                 |           |
|------|--------------------|-----------------|-----------|
| 田中美衣 | 第25回ユニバーシアード大会柔道競技 | 女子団体<br>個人63kg級 | 優勝<br>第2位 |

<学長賞>

| 氏名     | 主な成績                |                             |           |
|--------|---------------------|-----------------------------|-----------|
| 田中美衣   | 第25回ユニバーシアード大会柔道競技  | 女子団体<br>個人63kg級             | 優勝<br>第2位 |
| 山下 聡史  | 2007アメリカンズカップ国際大会   | スケルトン                       | 第13位      |
| 寺尾 直希  | 第62回全日本学生体操競技選手権    | 団体総合                        | 第3位       |
| 天野 裕章  | 第62回全日本学生体操競技選手権    | 団体総合                        | 第3位       |
| 今田 保則  | 第62回全日本学生体操競技選手権    | 団体総合                        | 第3位       |
| 山田 千裕  | 第61回全日本学生新体操競技選手権   | 団体総合、種目別：フープ、<br>種目別：リム×ロープ | 第3位       |
| 千葉 智美  | 2008ITU世界デュアスロン大会   | 女子の部                        | 第6位       |
| 久留 聡子  | 第29回全日本軽量級選手権大会     | 舵手つきクワドルブル                  | 優勝        |
| 齋藤 裕輔  | 第47回全日本新人選手権大会      | エイト                         | 優勝        |
| 菅井 竜介  | 第86回全日本選手権大会        | 舵手なしフォア                     | 優勝        |
| 粕谷 健太郎 | 第86回全日本選手権大会        | 舵手つきフォア                     | 優勝        |
| 赤津 龍男  | 第47回全日本新人選手権大会      | エイト                         | 優勝        |
| 石原 夏海  | 平成21年度日本カヌースプリント選手権 | カヤックペア1000m                 | 優勝        |
| 斉藤 大輔  | 2009日本学生陸上競技個人選手権   | 三段跳び                        | 優勝        |
| 佐藤 若菜  | 第78回日本学生陸上競技対抗選手権   | ハンマー投げ                      | 優勝        |
| 延味 由起  | 2009日本グランプリ静岡国際大会   | やり投げ                        | 第2位       |
| 佐瀬 一晃  | 第78回日本学生陸上競技対抗選手権   | 棒高跳び                        | 第3位       |



## 平成21年度 学生表彰



平成21年度学生表彰式が3月5日(金)にKMCH大会議室で開催され、朴澤学長より6団体、8個人にスポーツ功労賞が贈られました。

| 個人     | 主な成績              |                |
|--------|-------------------|----------------|
| 板垣 沙織  | 全日本学生柔道体重別選手権大会   | 78kg超級 ベスト8    |
| 五味 奈津実 | 全日本学生柔道体重別選手権大会   | 52kg級 第3位      |
| 佐藤 寛大  | 日本学生陸上競技対校選手権大会   | 男子やり投げ 優勝      |
| 亀山 耕平  | 全日本体操競技団体種目別選手権大会 | 種目別あん馬 優勝      |
| 宗像 陸   | 全日本学生体操競技選手権大会    | 種目別ゆか 第2位      |
| 上村 昌志  | 日本学生スプリットライズ選手権大会 | 第4位            |
| 小沢 まり  | アメリカンズカップ国際大会     | 女子スケルトン 第12位   |
| 西村 光生  | U23世界選手権          | 軽量級舵手なしフォア 第2位 |

| 団体           | 主な成績                               |            |
|--------------|------------------------------------|------------|
| 漕艇部          | 全日本軽量級選手権大会<br>男子舵手なしフォア、女子舵手つきダブル | 第2位        |
|              | 全日本大学選手権大会<br>男子舵手つきフォア            | 優勝 他、多数入賞  |
|              | 全日本選手権大会<br>女子舵手なしペア               | 第2位 他、多数入賞 |
|              | 全日本新人選手権大会<br>男子エイト                | 優勝 他、多数入賞  |
| 新体操競技部       | 全日本学生新体操競技選手権大会<br>団体総合            | 第3位        |
|              | 全日本新体操競技選手権大会                      | 第7位        |
| 体操競技部        | 全日本学生体操競技選手権大会<br>団体総合             | 第4位        |
| 柔道部          | 全日本学生柔道優勝大会<br>女子団体5人制             | ベスト8       |
|              | 全日本学生柔道女子選抜優勝大会<br>女子体重別7人制        | ベスト8       |
| アメリカンフットボール部 | クラッシュボウル                           | ベスト8       |
| 男子バレーボール部    | 全日本大学ビーチバレーボール選手権大会                | ベスト8       |

## 学校支援ボランティア感謝状贈呈式について



3月19日(金)にA棟大会議室において、平成21年度学校支援ボランティア感謝状贈呈式が行われました。小・中学校での学習支援や部活動支援などを行った学生に仙台市・柴田町・岩沼市の教育委員会担当者から感謝状が贈呈されました。今年度表彰を受けたのは、仙台市34名、柴田町9名、岩沼市2名の合計45名です。

受賞後に学校支援ボランティアを代表して学生

4名が感想を述べ、仙台市立郡山中学校で学習支援を行った植田 麻季さん(健康福祉学科4年)は、「郡山中のボランティア相談員として週1回相談室に待機し、そこに来る生徒の話聞くのが主な仕事でした。相談室に来るのは、クラスや部活動に居場所がない生徒達で、その中には不登校の生徒もいました。そんな彼らと他愛のない話や、簡単なゲームをしてコミュニケーションを取る事で、相談室に来た時は表情が暗く、泣いていた生徒達が徐々に明るくなっていく事にたいへん喜びを感じました。不登校だった生徒が教室登校できるようになったという嬉しい出来事もありました。私の力は小さなものですが、相談室に来る生徒達にとっては大きな存在だったのかもしれない。学校支援ボランティアを通して、言葉の重みとコミュニケーションの大切を感じることができました。4月からは社会人ですが、言葉を大切にして生活していきたいと思います。ありがとうございました。」と感謝の弁を述べました。

## 現代GP - 健康づくり運動サポーター学習成果発表会



3月18日(木)にホテル原田(柴田町内)で現代GPの健康づくり運動サポーター学習成果発表会が行われました。柴田町民43名と大学地域評価委員の前で、学生13名がこれまで磨いてきた成果を披露しました。参加者の多くは仙台大学転倒予防教室に参加され、学生を温かく見守ってきてく

ださった方々です。学生たちはお礼の気持ちをこめて司会進行、健康講話、楽しい運動指導を行い、終始和やかで楽しそうな雰囲気でした。大学地域評価委員の中には、初めて学生の活動をご覧になった方もおり、学生の指導に高い評価をいただきました。

懇親会では滝口柴田町長が「柴田町は今後も仙台大学と協力して支援していきますので、町民のみなさまもぜひ健康づくりを続けてますます元気な町にしていましょ。」と挨拶されました。その後、学生たちは町民と思い出や苦労話をしながら交流を深めました。

また、発表会当日には、「資格認定証授与式」と「第5回大学・地域評価委員会」が開催され、「資格認定証授与式」では上級2名、中級4名、初級7名に認定証が学長より手渡されました。「第5回大学・地域評価委員会」では平成21年度及び事業がスタートしてからの3年間についての実績報告がなされ、来年度もこの事業を継続していくことが確認されました。





## 第5回健康福祉研究会を開催



第5回健康福祉研究会が、3月22日（木）仙台ガーデンパレスにおいて開催されました。健康福祉研究会は、健康福祉学科の学生、卒業生、教員および関連の方々等相互の学習研鑽の場として毎年開かれています。これまで、介護、福祉や教育（福祉科、特別支援）などについて学んできましたが、今回は近年、介護予防等でますます注目されている「健康運動指導士」をテーマとしました。約200人が参加し、卒業生3名による事例報告や特別講演を通して、健康運動指導士への理解を深めました。

研究会でははじめに、小松正子教授から健康運動指導士をとりまく状況や仙台大学卒業生の健康運動指導士がメタボリックシンドローム特定保健指導や運動療法等の現場で活躍していることが報

告されました。次に、健康運動指導士として現場で活躍している卒業生の咲間優氏（坂総合クリニック運動療法センターメディカルフィットネス“のびのび”、健康福祉学科1期生）、北村綱為氏（三重県鈴鹿回生病院健康増進課、健康福祉学科7期生・大学院スポーツ科学研究科8期修了生）、國分裕子氏（栃木県健康倶楽部、健康福祉学科8期生）から、生活習慣病への運動療法の実践報告が具体的かつ詳しい内容で発表されました。



最後に特別講演として、（財）健康福祉事業団・仙台市健康増進センター健康増進課健康長寿係長の入江徳子氏から「大学に求められる健康運動指導・介護予防の人材育成」のお話をいただきました。この中では、健康運動指導士に求められることとして「運動指導技術だけでなく、相手の体調・気分などの変化を“感じる力”が大切」と強調されました。



研究会は「介護予防と健康運動指導士の関わりが良くわかった」「卒業生が大いに活躍していることがわかり良かった」などと全般に好評で、学生からも「現場実習にすぐにでも行きたくになりました」などの感想が寄せられ、研究会開催の意義を感じられるものとなりました。

## 体力自己管理システム運用開始



文部科学省採択事業である「ICカードを利用した栄養・健康・体力データの自己管理システム」が3年目となり、栄養・健康に引き続いて「体力データ自己管理システム」の運用が開始されました。体力測定機器は第三体育館1Fの体力測定室と形態計測筋力測定室に配置され、一種目からの測定、データ蓄積が可能です。学生がこのシステムを使って体力の自己管理に活用することが期待されます。

3月26日にはB.L.S部員が利用し、業者からの説明を受けながら一通りの体力測定を行いました。

## スポーツシンポジウムを開催

競技力向上には何が必要か ～頂点への道を検証する～



3月1日(月)に仙台市、河北新報社、本学主催でさんだいメディアテークを会場にスポーツシンポジウム「競技力向上には何が必要か～頂点への道を検証する～」を開催し、約300名の来場がありました。

第1部の基調講演では、気仙沼市出身のスポーツジャーナリスト生島 淳氏に「強くなる

ために、何をすべきか」と題して講演いただきました。バンクーバー冬季五輪の男女フィギュアスケートで好成績を残した日本代表選手たちを例に「強くなるためには競争力、インフラ整備、経済力、卓越した指導者が必要だ」と訴えました。

第2部のパネディスカッションでは、仙台89ERS球団代表の中村彰久氏、マーティ・キーナート副学長(特命事項担当)、佐藤久夫准教授が「競技力向上には何が必要か」に関して指導者のあり方などについて意見交換を行いました。

キーナート副学長は「選手を励ますか、怒るかはバランスが大切。監督や指導者は心理学者にならないといけない。怒る時は他の選手が見えないところで注意し、説明する。チームメートの前では恥をかかせないことが重要。」と指摘。佐藤准教

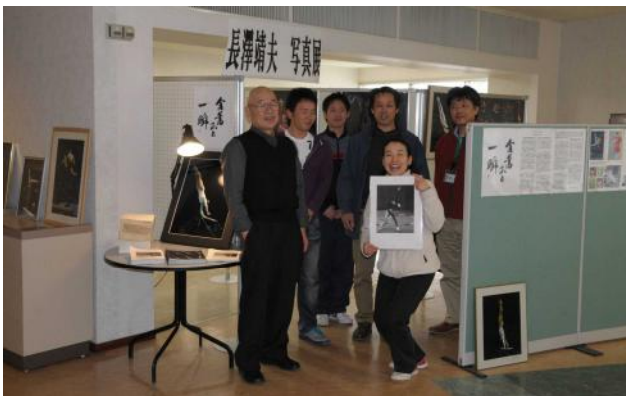


授は、創部5年目の明成高校男子バスケットボール部を全国制覇に導いた経験を踏まえ「競技力向上には、選手への強い要求は避けて通れない。選手はそれに応えようと練習するうちに普通になる。」と話しました。

中村氏は「組織の他に周囲の環境が重要。できるだけ多くの人に色々な形で参加してもらおうチームになることが大事。」と述べられました。



## 長澤教授が写真展開催 ～含蓄ある一瞬～



3月23 - 25日に学生食堂の一角を使って本学を3月末付で退官なさる長澤教授の写真展が開催されました。体操の世界選手権大会で撮影した素晴らしい写真です。選手として活躍していた長澤先生の若かりし時の写真もあり、大変興味深いものでした。

今回の写真展を開催するにあたり、長澤教授がこれまで撮ってこられた写真をまとめた冊子(写真集)を広報室でも頂いておりますので、写真展を見逃した方は是非、広報室までおいで頂き手にとってご覧下さい。



## 国際交流会館(仮称)が完成

昨年12月から着工していた国際交流会館(仮称)が完成し、3月25日に朴澤学長はじめ関係教職員立会いのもと引渡しが行われました。この建物は3階建てで寮室40部屋とゲストルーム4室を有しています。主に留学生と海外からの来賓の宿泊施設として利用されます。



多目的室



寮室



ゲストルーム



シャワー室



外観



調理コーナー



入館管理



玄関



ロビー

## ネクタイ4柄が新販売になりました

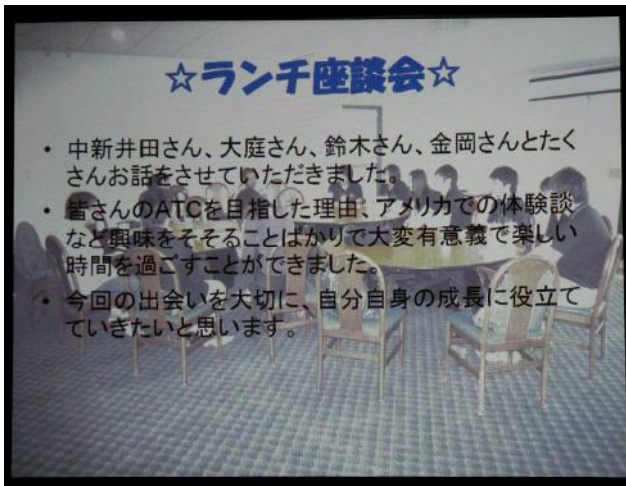


前回のマンスリーで新販売のネクタイ(絹100% 100% ¥4,000)4柄を紹介しましたが、学生向けのネクタイ(ポリエステル100% ¥2,500)4柄も新販売となりましたのでご紹介します。

タカトモスポーツで販売(春休み期間中は休館のため学生支援室で販売)しておりますので是非お買い求め下さい。

## 世界を身近に味方に 鉄は熱いうちに打て Winter 2010

### ～ハワイ州立大学スクーリングビギナーズコース報告会～



3月15日 第4体育館演習室にて、先月のMonthly Reportで紹介しました通り、ハワイ州立大学(UH)スクーリングビギナーズコースの「報告会」が開催され、朴澤学長、キーナート副学長、発表学生7名を初め、関係者約20名が出席しました。学生達は2月22日の帰国直後からこの日のために、現地で学んだことを整理し、パワーポイントや写真を駆使して、毎日プレゼンテーションの準備に励んできたそうです。



彼らが1番心に残ったものの一つとして、本学初のATCとなった鈴木のみさんや、遠隔授業を指導下させている金岡友樹氏他との「座談会」を上げ、「ハワイでは選手の

ために治療の一環として行った行為が逆に訴えられ、訴訟になったりするケースがあることを聞き、アメリカならではと驚いた」という感想を述べたりと、アスリートのケア一つをとってみても、日本とアメリカの仕組みに大きな違いがあることを学んだようでした。

また、朴澤学長から「リーマンショックを知っていますか?」と尋ねられ、その影響をUHや現地での様子から感じたかどうか?を質問をされると、「ルーズベルト高校を訪問した際、トレーニングルームで働いていたATCの方が、景気悪化の波を受け、勤務日数が減ったと言っていました」と答えるなど、アメリカの経済情勢がトレーナーの生活をも直撃する厳しさに、改めて気がついたそうです。

リーダーの小西先生からは、経験しただけではなく報告することが大切というコメントがあり、自分達が見て聞いて得た事柄を一過性のものに終わらせず、みんなで意見を出し合い、資料をまとめ、分かりやすく人前で発表する訓練もまた、スクーリングの貴重な学びと言えるでしょう。

最後に、キーナート副学長より、日ごろの英語の勉強がいかに大事であるか、ご自身が今でも日本語を学び続けている体験をまじえてお話があり、報告会は終了しました。



出席した学生の1人である体育学科1年の遠藤蓉子(えんどう ようこ)さんは「2年生になったら是非スクーリングに参加したいと思い、今日の報告会を楽しみにしていました。先輩に教えていただいた内容を参考に、次は自分がハワイ行きを実現できるよう、普段から勉強していきたいと思えます」と話していました。7年目を迎えるUHスクーリングの歴史は、学生達の意欲と熱い心に支えられ、後輩達へと受け継がれていきます。





## 大崎市スポーツ振興計画策定記念イベント ～フレンドリースポーツフェスティバル in 大崎～



### <イベント開催報告>

イベントのマネジメントは、仲野研究室でレクリエーションやイベントマネジメントをテーマに卒論に取り組んでいる学生、レクリエーション部の部員を中心とした学生の指導スタッフ19名と私の20名が担当しました。具体的な業務は、企画書の作成、イベントポスター作成、会場レイアウト、スケジュール、司会進行などです。当日体験していただいた主な種目は、4面バレーボール、パドルテニス、バグジー、シャフルボード、ネットパスラリー、バレーボール型・テニス型・バドミントン型・卓球型の軽スポーツなどです。

平成22年3月13日(土)に、上記のスポーツイベントが古川総合体育館にて開催されました。主催は大崎市教育委員会、共催は仙台大学です。大崎市では平成21年度に、22年から10年間のスポーツ振興基本計画を策定しました。その計画を策定するに当たり、同市の教育長と学長との間で策定に係るアドバイス及びイベント開催業務委託契約が交わされ、教員の仲野が業務を遂行いたしました。今回のイベント開催も、委託業務の一環として企画から運営までを仙台大学が担当させていただきました。また、受付の横にパネルが設置され、参加者に対して振興計画の内容やアンケート調査の分析結果、既存の総合型地域スポーツクラブなどが紹介されました。

参加者は、老若男女並びに障害のある方も含めて139名でした。当日参加として、地元の中学校の生徒さんたちが、部活の一環として顧問の先生と共に100名近く参加してくれたことで、イベントそのものが大いに活気付くと共に、学生スタッフとの楽しいコミュニケーションをもたらしてくれました。

イベントの内容とその目的は、市民の誰もが親しめるニュースポーツ及び軽スポーツを体験してもらうことで、スポーツをすること、体を動かすことの楽しさや喜びを啓発することにあります。その根拠は、市民の週1回以上のスポーツ実施率が29.2%と低い、児童・生徒の体格の平均値は全国的に観ても高い水準にあるが、一方で体力・運動能力は逆に低い水準にある、軽スポーツやアウトドアスポーツに対する市民のニーズが高いといった点にあります。

最後に、これから先、スポーツ振興基本計画が完了するまでの10年間、可能な限り大崎市のスポーツ振興のサポートをしていきたいと考えています。

(仲野隆士：大崎市スポーツ振興審議会アドバイザー)



## 第22回仙台大学バスケットボール・ワークショップ



このワークショップは平成元年からバスケットボールについて実践的研修を試みようとしたもので、バスケットボール部学生が大会運営全てを担当し、案内送付、会場やお弁当の手配、審判などの一切を行っています。今年も全国から男子37校、女子54校の参加をいただいています。

女子代表の大橋由実さん(体育学科3年)は「自分達が大会を運営する事で学ぶことは多いですし、このワークショップをきっかけに高校生が仙台大学に興味を持って欲しい。」と話しています。

3月25 - 31日に本学体育館や白石文化体育活動センターCUBE等を使用して第22回仙台大学バスケットボール・ワークショップが開催されています。

大会期間中はATルームの学生トレーナーが各会場に待機し、選手のケガに対する応急手当やアイシング・テーピングなどを行ないました。

## 亀山耕平さんがW杯シリーズ・モンリオール大会で鉄棒金メダル



体操競技部の亀山耕平さん（体育学科3年）が種目別で競われるW杯シリーズ・モンリオール大会に日本代表として出場し、鉄棒での金メダルをはじめ、エントリーした3種目全てで表彰台（あん馬／銅、つり輪／銅）に上がりました。

### 亀山耕平さん

初めての国際大会ということもあり、普段どおりの演技ができませんでした。内容に悔いは残りましたが、日本とは違う環境で演技する経験ができたことと、その環境下でも結果を残せたことには満足しています。今大会の結果を今後への自信にしたいと思います。

写真提供：鈴木良太新助手

## FLOOR BALL 同好会の2名が日本代表として世界学生選手権に



昨年4月に設立したFLOOR BALL（フロアボール）同好会から世界学生選手権日本代表に2名が選出されました。畑内一輝さん（健康福祉学科2年）と木村恭齊さん（体育学科1年）で、2人は5月12 - 16日にスウェーデン・ウメオでの大会に臨みます。

あまり馴染みの少ないフロアボールです

が、ユニバーサルホッケーに酷似した室内ホッケーです。日本でも全国各地にチームが結成され、地方大会・全国大会が行われています（大学生のみの大会はない）。北欧ではたいへんメジャーなスポーツで、世界選手権には約20ヶ国が参加しており、オリンピック種目になる可能性を秘めた競技です。

FLOOR BALL同好会を立ち上げた畑内さんは、中学校の時にユニバーサルホッケーの楽しさを知り、部活動で陸上競技に励む傍ら、高校2年生から八戸市にある地域のフロアボールクラブに所属していたそうです。フロアボールの魅力を大学でも広めようと、周囲の友達に声かけを行い、現在は1、2年生を中心に28名（男女比率は半々）が所

属しているそうです。しかし、フロアボールは試合中のメンバー交代が自由にできるため、男子20名、女子20名いることが理想となります。今年度は少人数ながらも秋の大会から仙台大学単独でチームを結成して東北大会に出場し、一般の部で男子は9位、女子は4位に入りました。日本選手権には東北代表選抜として男子4名と女子2名が選抜され、女子チームは4位という結果を残しました。2人は「世界選手権では日本代表、仙台大学の代表として頑張ってきます」と力強く語り、「同好会の方でも十分戦えるメンバーを募り、東北大会で上位入賞を目標にして頑張ります。そして学内にフロアボールを知ってもらい、部への昇格を認めてもらいたいです。」と話しています。

### フロアボールとは

ゲームは6人対6人で行われ（フィールドプレイヤー5人＋キーパー1人）。1チーム10～20名で構成され10～



20分前後半の間で、自由に交代できます。プラスチック製のスティックとボールを使用し、相手のゴールにボールを入れると1点となります。コートのはしらはフットサルとほぼ同サイズ。アイスホッケーと違い、激しいボディチャージや危険なプレイは禁じられています。



## 第29回縦の木会長杯争奪高校女子バレーボール大会、 第11回松本昌三杯女子中学生バレーボール大会を開催

3月21、22日に仙台大学縦の木会が主催する「第29回縦の木会長杯争奪女子高校バレーボール大会」と「第11回松本昌三杯女子中学生バレーボール大会」が第一・第二体育館、船岡体育館を会場にして行われました。仙台大学縦の木会は、本学バレーボール部同窓会の名称で、鈴木清和教授が会長を務めています。「縦の木会長杯争奪女子高校バレーボール大会」は、バレーボールの普及・OBの指導力向上・選手の技術向上を目標にスタートし、今年で第29回を迎えました。この大会は部活動の顧問あるいはコーチとして本学の卒業生（バレーボール部以外でも可）の集いとしており、「中学生の大会があってもいいのではないか」というOBの声を反映し、当時、本学で教鞭を取られていた松本昌三先生(国際審判員)に優勝杯を寄贈いただき「松本昌三杯女子中学生バレーボール大会」もスタートしました。年々、教員になるOBが増えると共に参加校も増え今年は中学校12校と高校7校の参加があり、盛会な大会となりました。

【高校の部 優勝】長岡大手高校（新潟県）

顧問：上村裕希先生（26回生：バレーボール部OB）



【中学校の部 優勝】田尻中学校（宮城県）

顧問：堀谷美姫子先生（8回生：陸上競技部OG）

